

507
154

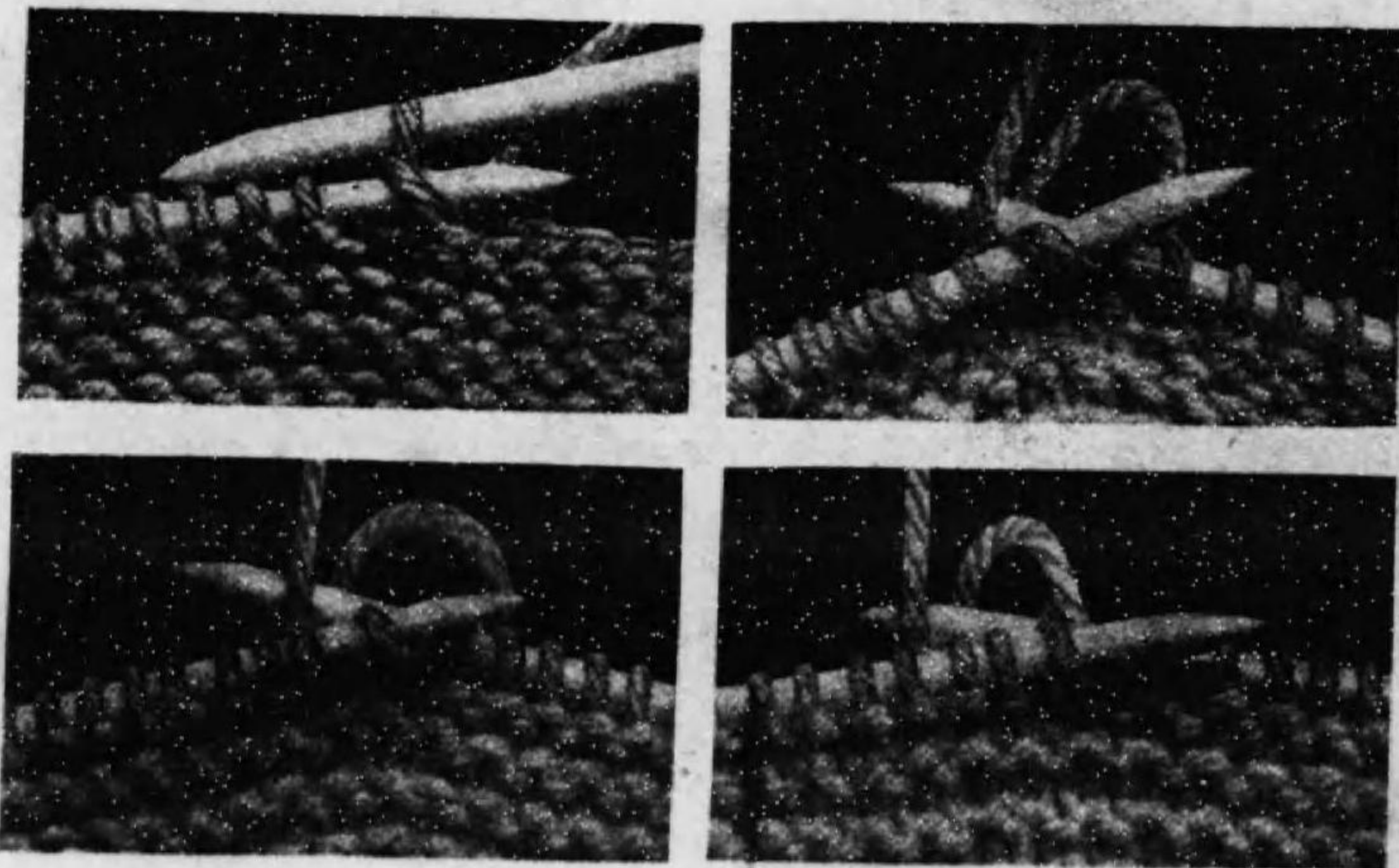
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5

始



編子高藤内

方仕の物編糸毛いし新



行發社聞新日每阪大

50/54



新しい毛糸編物の仕方

内藤高子編

大正
13. 1. 31
内交

はしがき

家族の男女老幼を問はず誰のためにも日常必要な毛糸編物の種類は大抵この小さな書中に蒐められてゐます。とりわけ幼児用の編物は足袋、靴下、股引から始めて帽子やジャケットは勿論、寝具、外套、ケープ、袖なし、チャンク、防寒具の類まで十五項四十種餘りもございます。併し女學生のためにも、青年の男子に向くものも、その他の大人のためにもそれ／＼適当な氣の利いたもの五十種以上を擇び入れて、家庭の手藝としての毛糸編物の種類は略網羅する事ができましたやうに思はれます。まづ目次を御覧になりまして、本書に何々があるかを知つて頂きますと御利用の上へ便利が増す事と存じます。試みに編んで見ること

新しい毛糸編物の仕方

目次

基礎編の仕方	………	8
編み方いろいろ	………	10
赤坊用靴足袋(三種)	………	13
ベビーセット(四種)	………	16
子供靴下(四五歳用)	………	20
男子用スリッパ	………	26
婦人用スリッパ	………	28
スカーフ(五種)	………	31
帽子(二種)	………	40

男子用スカーフ(三種)	五〇
ベビージャケット(三種)	五三
ベビーフード(二種)	五八
シャツ	六〇
一二歳用シャツ(短袖)	六三
幼児股引(一二歳用)	六四
ニーレギングス(二三歳用)	六六
子供用防寒具(三セット)	六九
コートミボンチット(四五歳用)	七五
パンチングセット	七九
コートミキヤップ(三四歳男児用)	八三

幼児スリップオーバー(二三歳用)	八八
小児スリップオーバー(四五歳用)	九一
フランクリン、スエーター(六七歳男児用)	九四
ベビーキン、スエーター(女児用)	九六
スーザン、スエーター	九八
ベデー、スエーター(八九歳用)	一〇〇
メー、スエーター(四歳より七歳まで)	一〇一
エリーナ、スエーター(十歳より十二三歳まで)	一〇五
クレストモント、スエーター	一〇七
サラナック、スエーター	一〇八
オザーク、スエーター	一〇九

マーセル、スーツ(六七歳男児用) …… : 113
 ファンシエ、パンツ(四五歳男児用) …… : 116
 フライン、スーツ及び帽子(六七歳女児用) …… : 119
 パベット、スーツ(八九歳女児用) …… : 123
 海水浴着(男女児用) …… : 126
 ヴィヴィ、ドレス(五六歳より十二歳まで) …… : 129
 アニタ、ドレス(六七歳用) …… : 131
 ボリアナ、スエーター(女學生用) …… : 134
 タム(女學生用) …… : 138
 リーダー、スエーター(中學生用) …… : 139
 ライデング、フード、ケープ(七八歳用) …… : 140

トリアノン、ベッドジャケット …… : 148
 ウエーヴェリー、ベッドジャケット …… : 150
 スエーター、スカーフ …… : 151
 モーニングサイド、スエーター …… : 154
 ダルトン、ヴェスト …… : 157
 ドニーブルーク、ヴェスト …… : 163
 ブラットスボルグ、スエーター …… : 165
 サーヴィス、スエーター …… : 170
 スポーツ、スエーター …… : 177
 レーキサイド、スエーター …… : 178
 シエルシア、スエーター …… : 182
 市松模様スエーター …… : 185

出来上りましたら先づ濕した布を平らに臺の上に延べ、その上に編んだものをよく形を整へながら置き、更に又濕つた布を置き、その上に一寸した壓石をのせて布の乾くまでそのまゝにすればよろしいのです。たゞ毛糸編ものに熱い火熨斗をかける事だけは禁物でございます。

毛糸をつなぎ合す場合には決して結び玉をつくりません、棒針で編むものでしたら新たに更ふべき糸を縫ひ針に通して二三寸手前から一二分の目で縫ひ、それから針をぬき、編棒にかけるのであります。鉤針の時には新しく更へる糸を左手に持つて、その上からかまはず二三寸編んでゆき、それから今までの糸を捨て、新たに更へます。

毛糸と編針の擇び方

毛糸の種類は外國製のものも和製のものも數へきれないほどありまして、どの糸が一番よろしいかといふ事は使ふ方々のお好みによる事でございますから申上げられませんが、舶來のものでしたら矢張りよく名の通つて居るフライシヤ、ミネルバ、コンビヤ、バタフライ等が一番多く使はれて居るやうです。近頃絹糸の混つたものもありますが、やはり暖かくもあり經濟的でもあるものは純毛に限ります。編針は普通セルロイド、木又は骨製の棒針と鉤針の二種で一番からだんく太くなり、十五番位まであります。金屬製の棒針は十番から二十番まであります。初めてのの方はなるべく参考書に示してある番號の針を使用される方が間違ひがありません。そしてお馴れになつてから各自適當なものを選ばれたら

よいと思ひます。

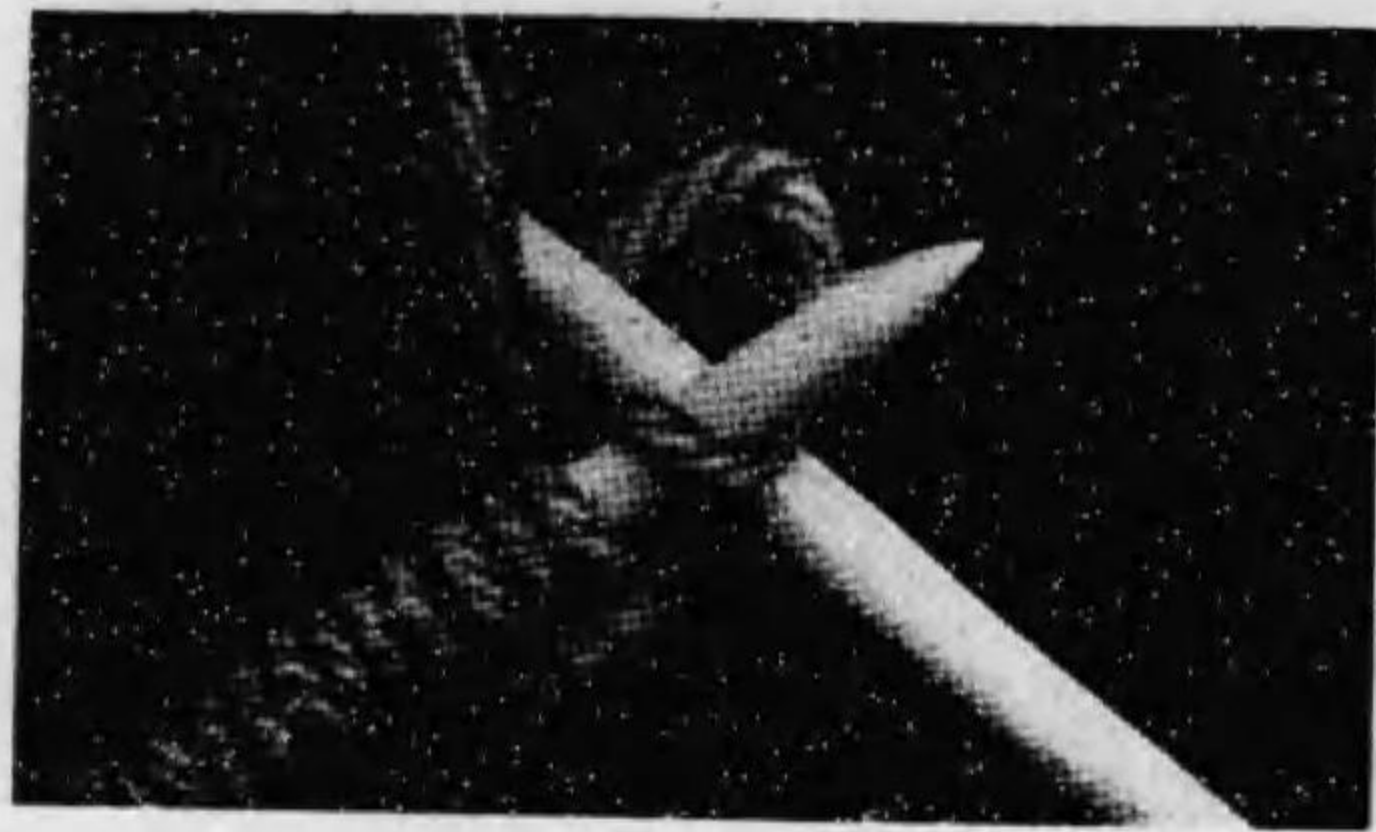
毛糸編もの洗濯と保存法

煮た立つた濃い石鹼水約一合にラツクスをテーブルスプーン一杯掻混ぜながら入れ、それに冷水を生ぬるくなるまで加へます。その中へ洗濯ものを漬け、軽く持ち上げては壓へ、殊に汚れた部分には石鹼水を幾度も通します、手で揉む事は大禁物です、汚れがすつかり落ちましたら微温湯で三度ほど濯ぎ、しぼらずに壓へるやうにして水をきり、シーツ類のやうな綿布の上に型を整へて置き、又その上に布を延べ、その上からあたゝかい位のアイロンをかけます。乾します時には決して竿にかけず、平たいものの上に置いて氣長に乾し上げます。

毛糸編もの類が不必要になりましたら快晴の日を選んで一日二日よく風を通し、新聞紙によく包んで、ナフタリンをござり入れてしまひます。入れものはブリキ張りのトランクが何よりよろしいやうでございます。

基礎編の仕方

目の作り方 [第一圖]



第一圖

第一圖は棒針で編む場合の目の作り方です。先づ初めに毛糸で輪を一つ作つて一本の棒にかけ、他の棒をそのわなに手前から通し、糸を下から上にとかけて、そのまゝ棒を引きぬき、それを初めの棒にかけます。次はそのかけた目に棒を通し、前のやうにして三番目の目を作ります、これを繰り返しながら望みだけの目数を作るのであります。

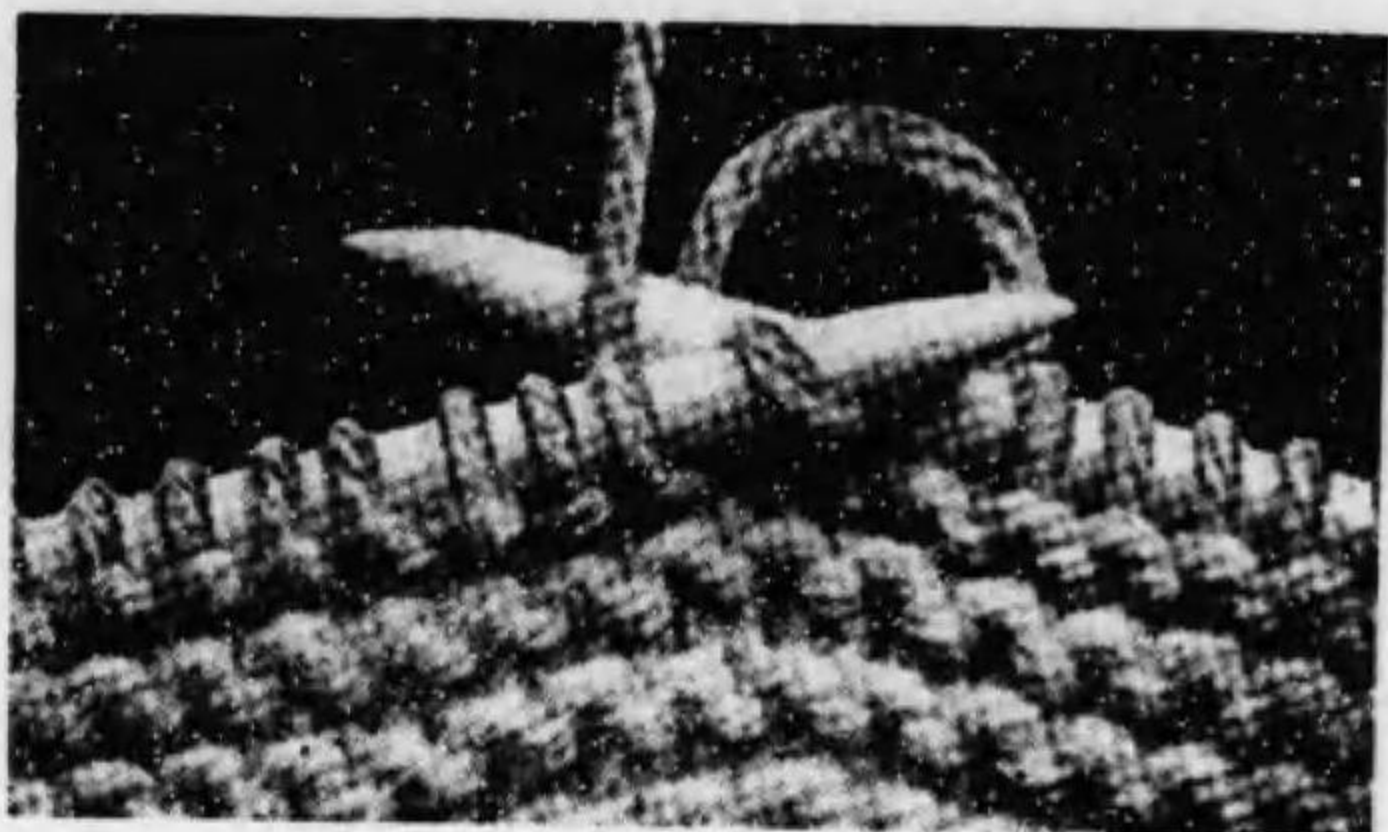
表あみの仕方 [第二圖]

望み通りの目数が一本の棒に揃ひましたら右手に他の編み棒を持ちそれを右端の目に手前から向へと通し、糸を下から上にかけて引きぬきます。これをつゞけて左手の棒の目をすつかり右手の棒にうつしてしまへばよろしいのです。

裏あみの仕方 [第三圖]

糸を右手の棒の手前にまはし、その棒を左の棒の最初の目に右から左へとつきさし糸を上から下へか

けて棒を逆手に抜きます。



第二圖



第三圖

目のふやし方 [第四圖]

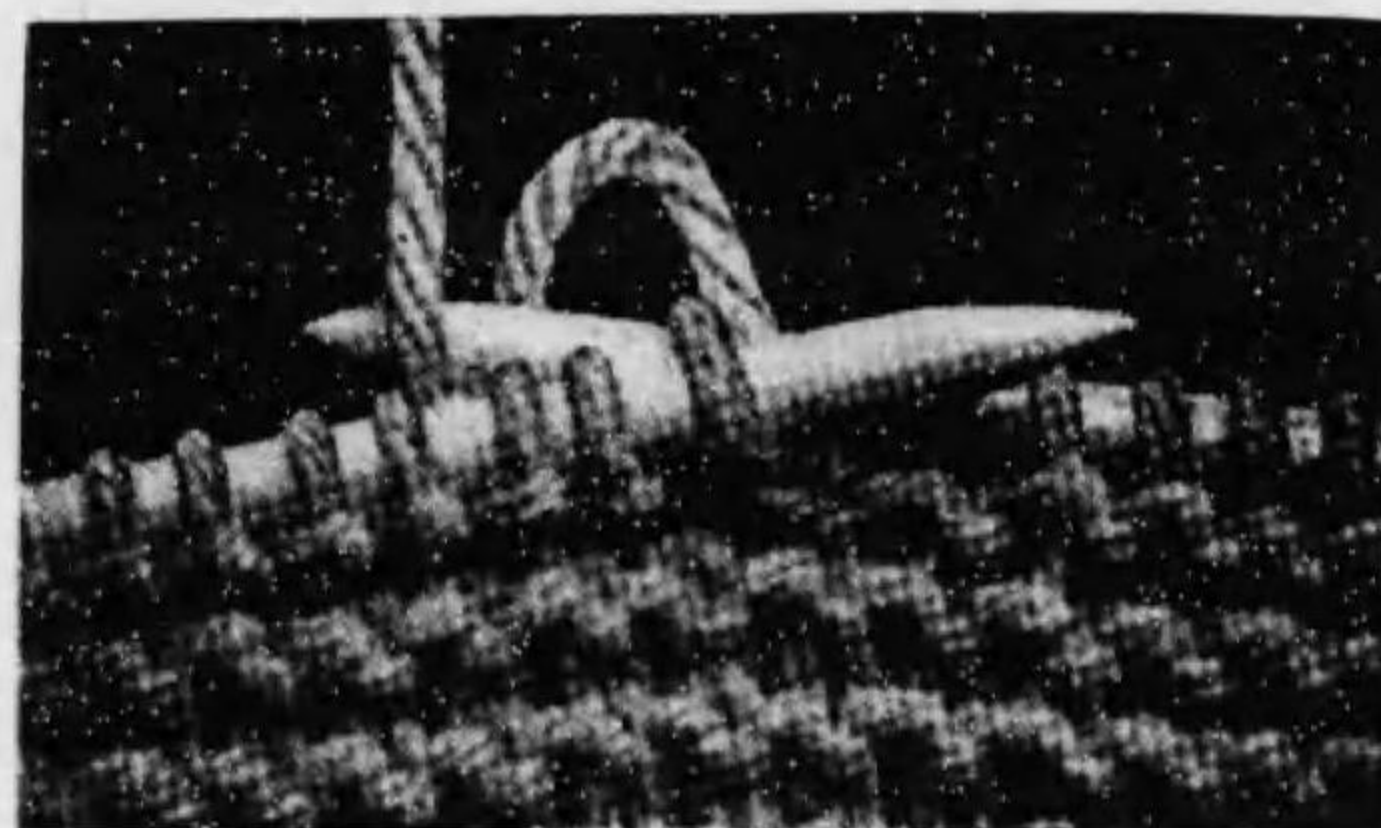
同じ目から表あみと裏あみを一個づゝ編んで二個とするか、又は表編ばかりを二個同じ目の最後からとつてもかまひません。

目の減し方 [第五圖]

二個の目を一緒に編みます。



第四圖

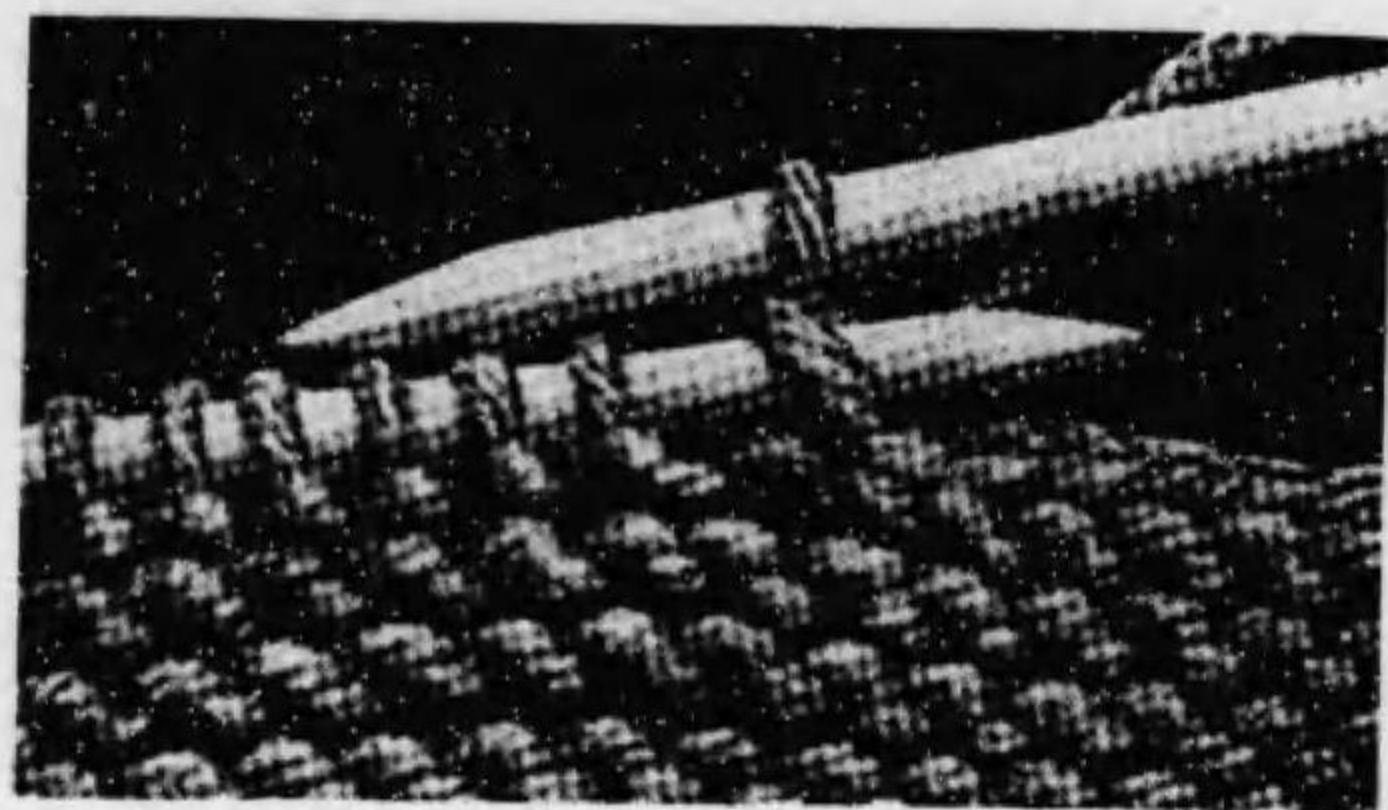


第五圖

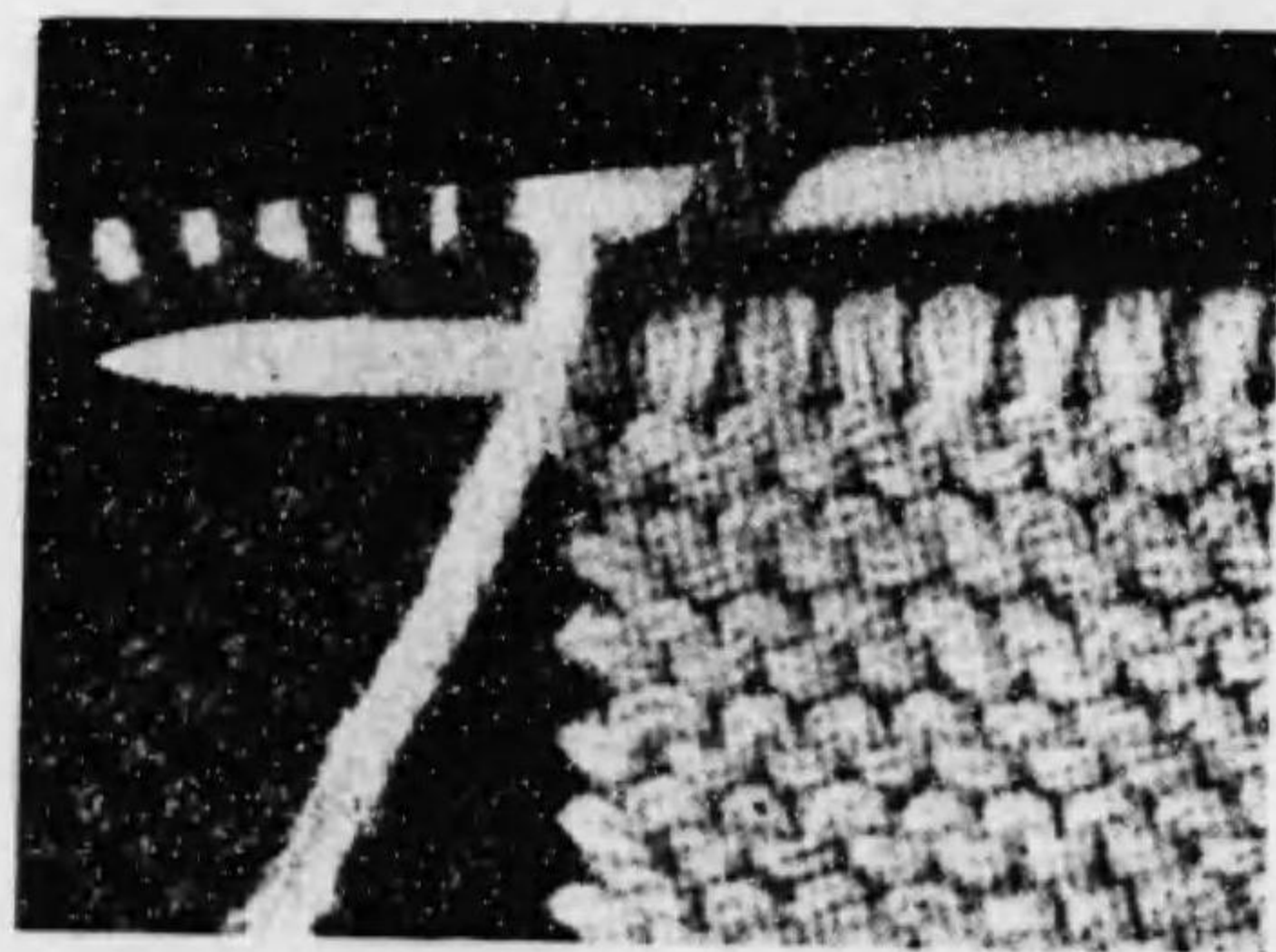
止め方

〔第六圖〕

一個の目をあますに棒にとり、次の目は編んでその上に前の編まずにはづした目をかぶせます。斯うして順々に編んで最後に一個だけ目が残りましたら糸を切り、その目に通しきゆつと引きます。止める時は餘ほど注意して糸をゆるめに使ひませんと、止めたあとが釣ります。



第六圖



第七圖

二色の糸を編む仕方

〔第七圖〕

白糸を望みの目数だけ編みましたら、そのまゝにして色糸をとり、左手に白糸を持ち、色糸を下から上にと手前の方にくゞらせて、色糸ばかりで編んでゆきます。糸は二色なら二個の別々の玉にして決して切りません。

くさりあみ

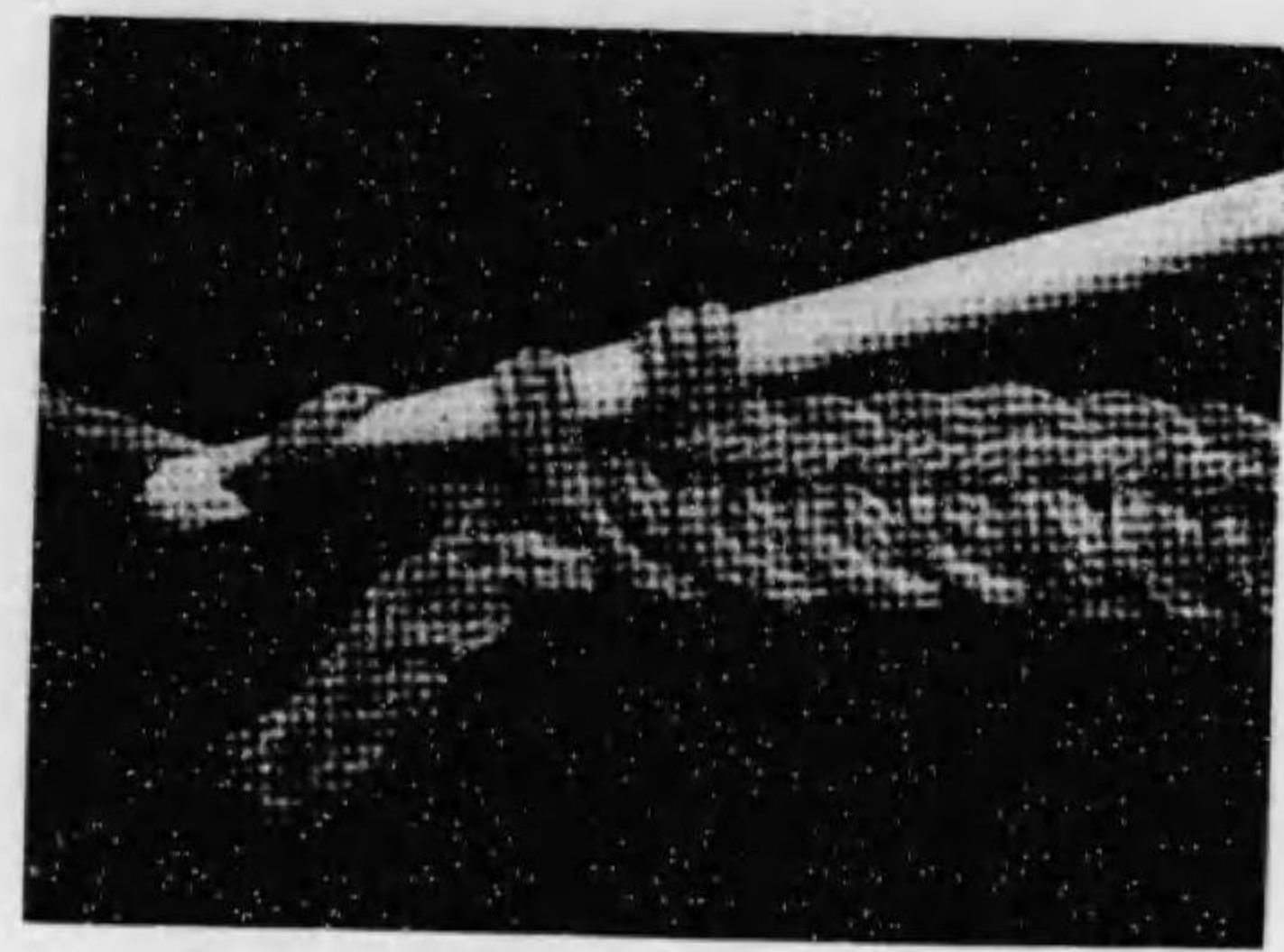
〔第八圖〕

第七圖までは棒針の編み方でしたが、第八圖からは鈎針の編み方です。最初手で一つわなを作りそれ

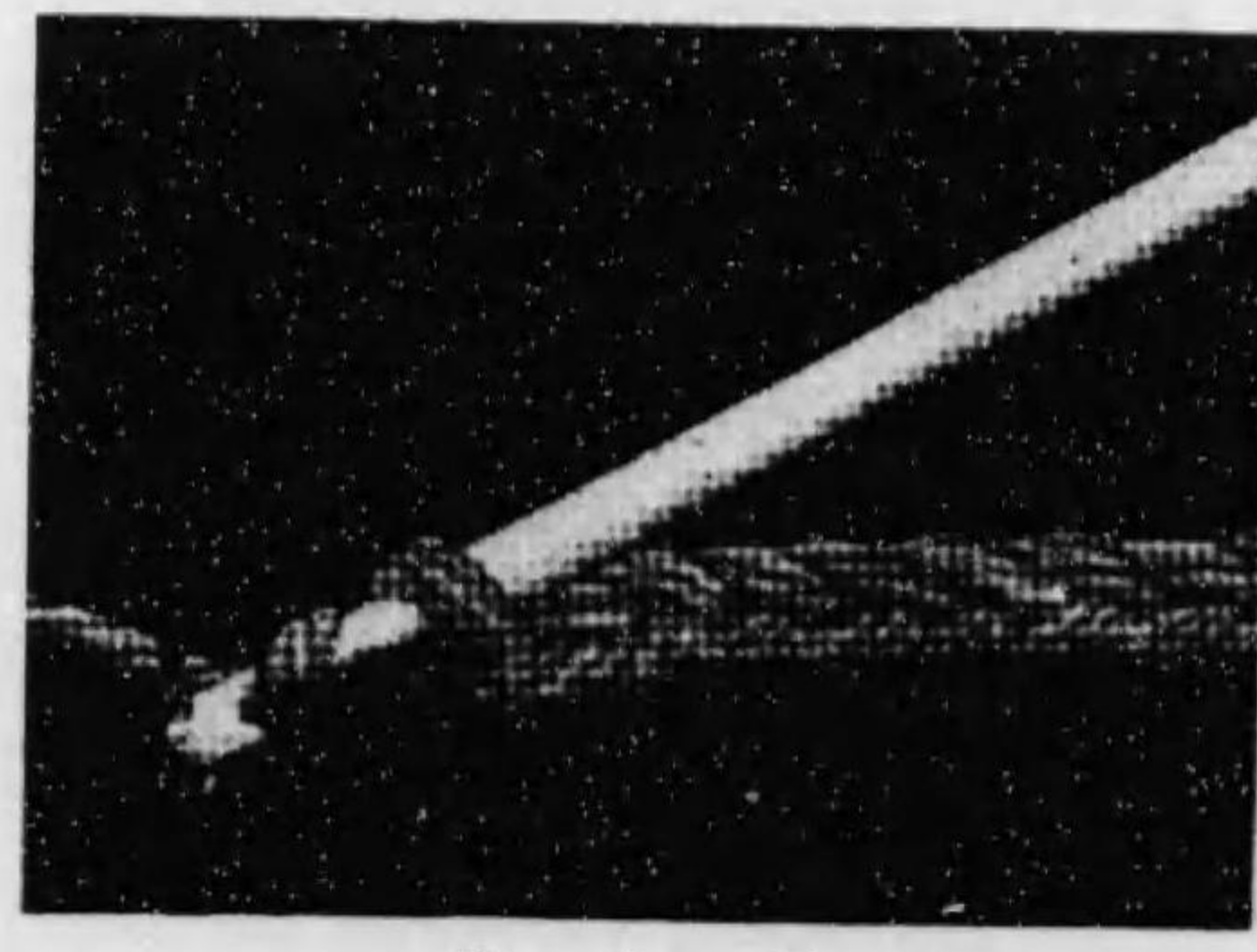
を編針にかけ、かぎに糸をかけては引きぬくのであります。

短か あみ [第九圖]

くさり編をいたしましたら最後の目はそのまゝ鉤にかけたなりすぐとなりの目に針を入れ、糸をかけて抜き二つの目とし、又針に糸をかけて二つの目を一緒にくぐらせます。



第八圖



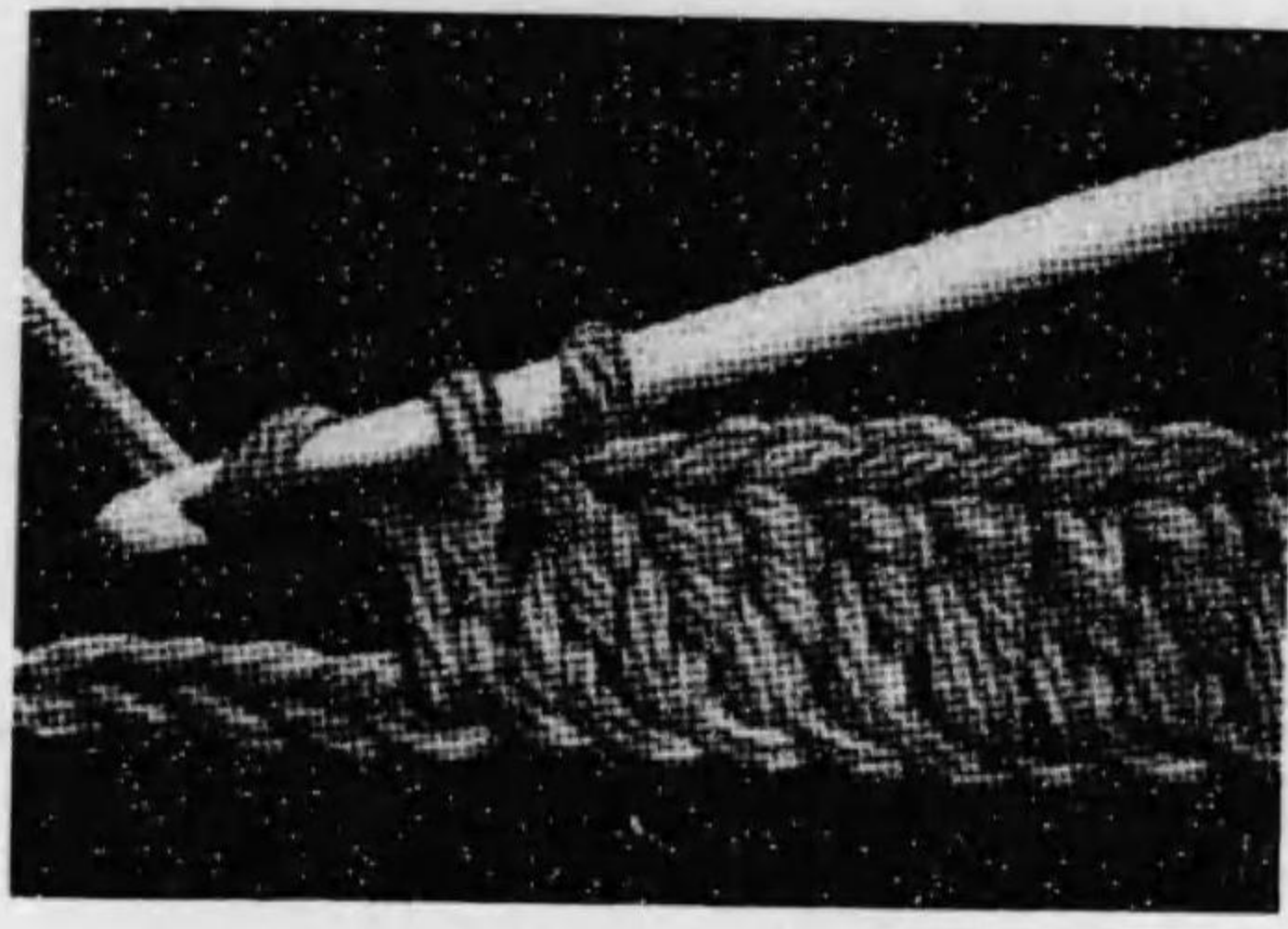
第九圖

長か あみ [第十圖]

くさりを編み、最後の目から三つ目の目に針に糸をかけてつきさし、糸を引きぬき、針に糸をかけて二つの目をくぐらせ、又かけて残りの二つの目をくぐらせます。

目の増し方 [第十一圖]

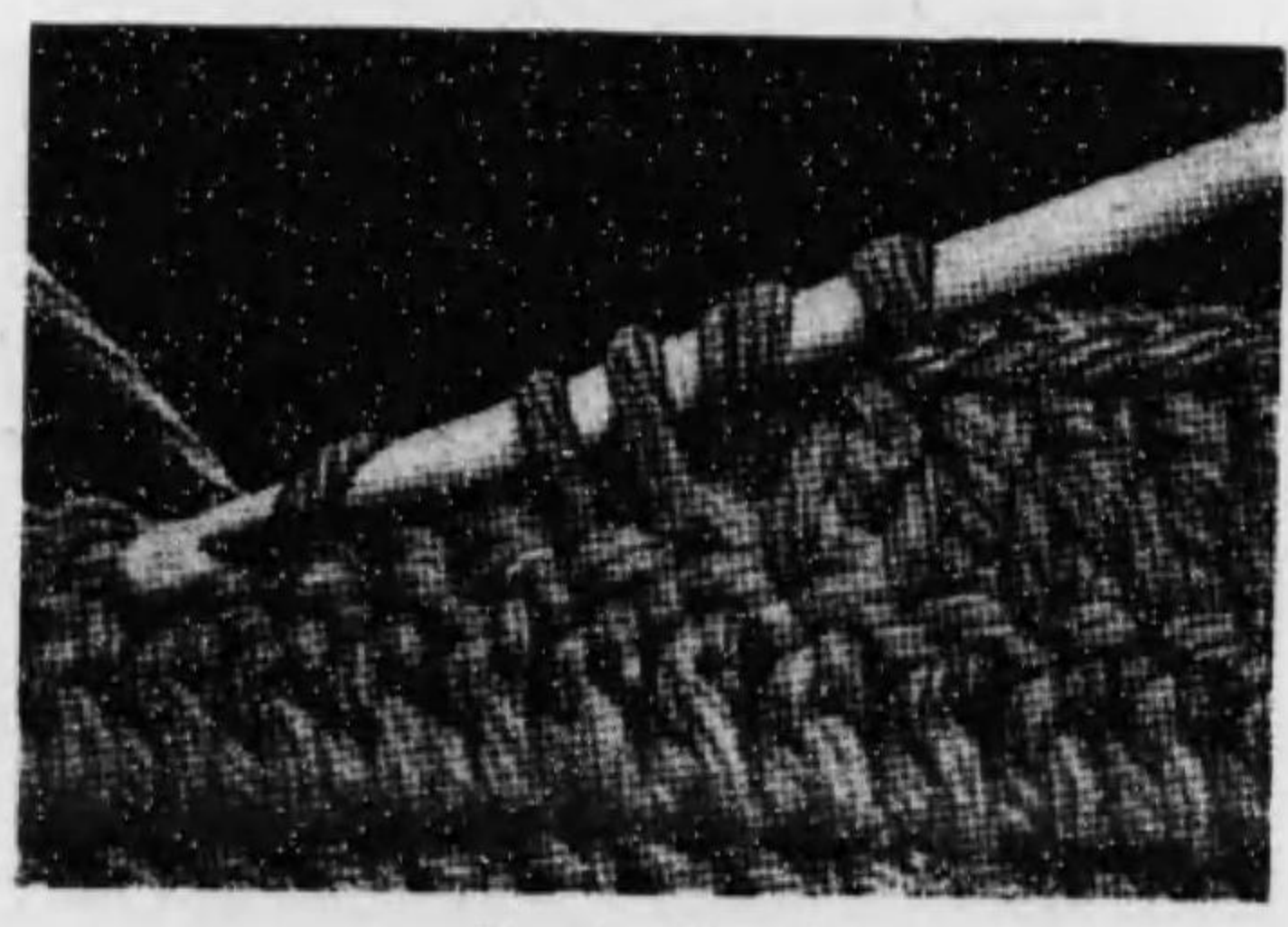
一つの目から二つの目を拾ふのです。



第十圖



第十一圖



第十二圖

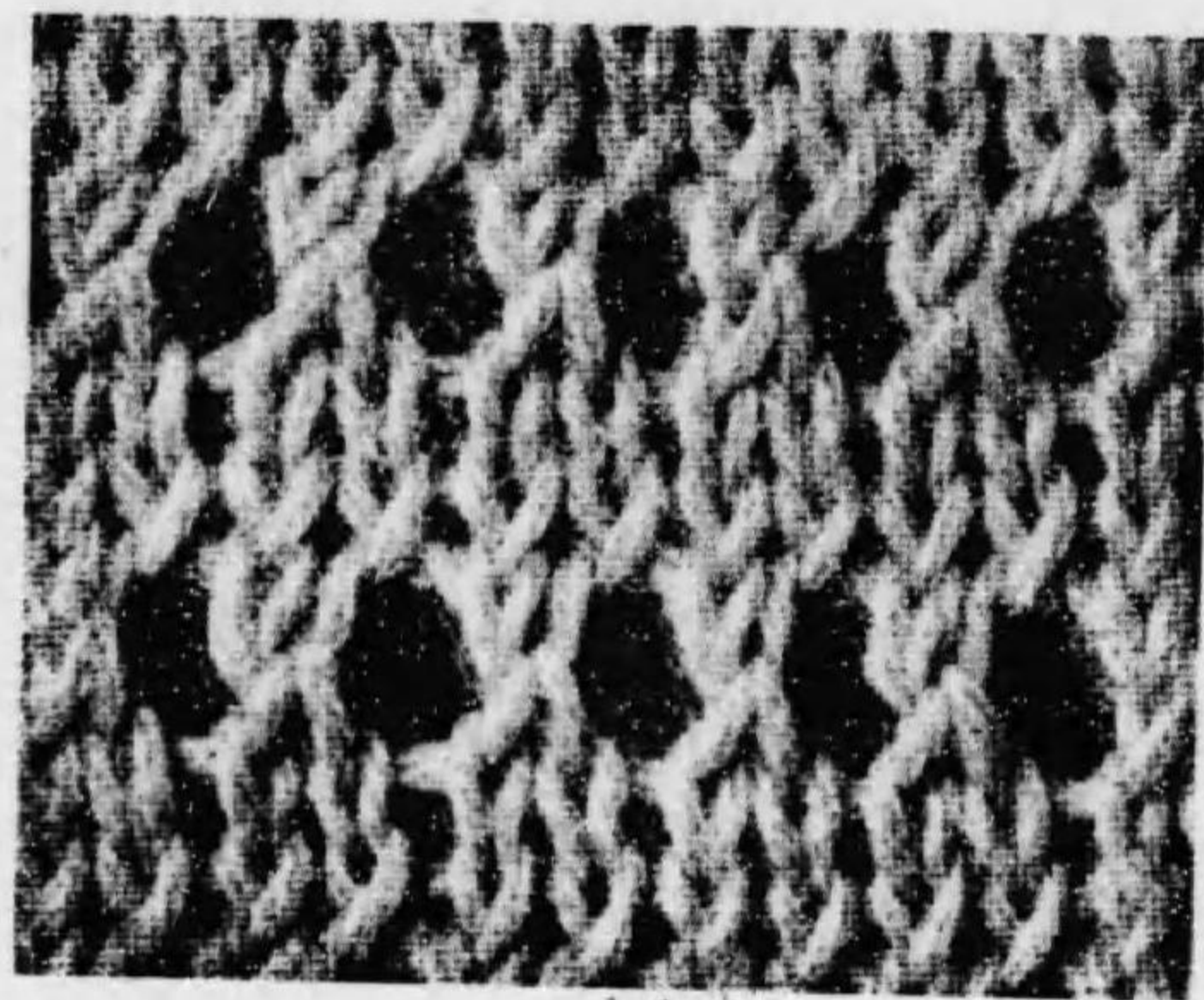
目の減し方 [第十二圖]

一つの目からわなを引き出したらすぐそのまゝ次の目からもわなを引き、二つ一緒にして一つの目にいたします。

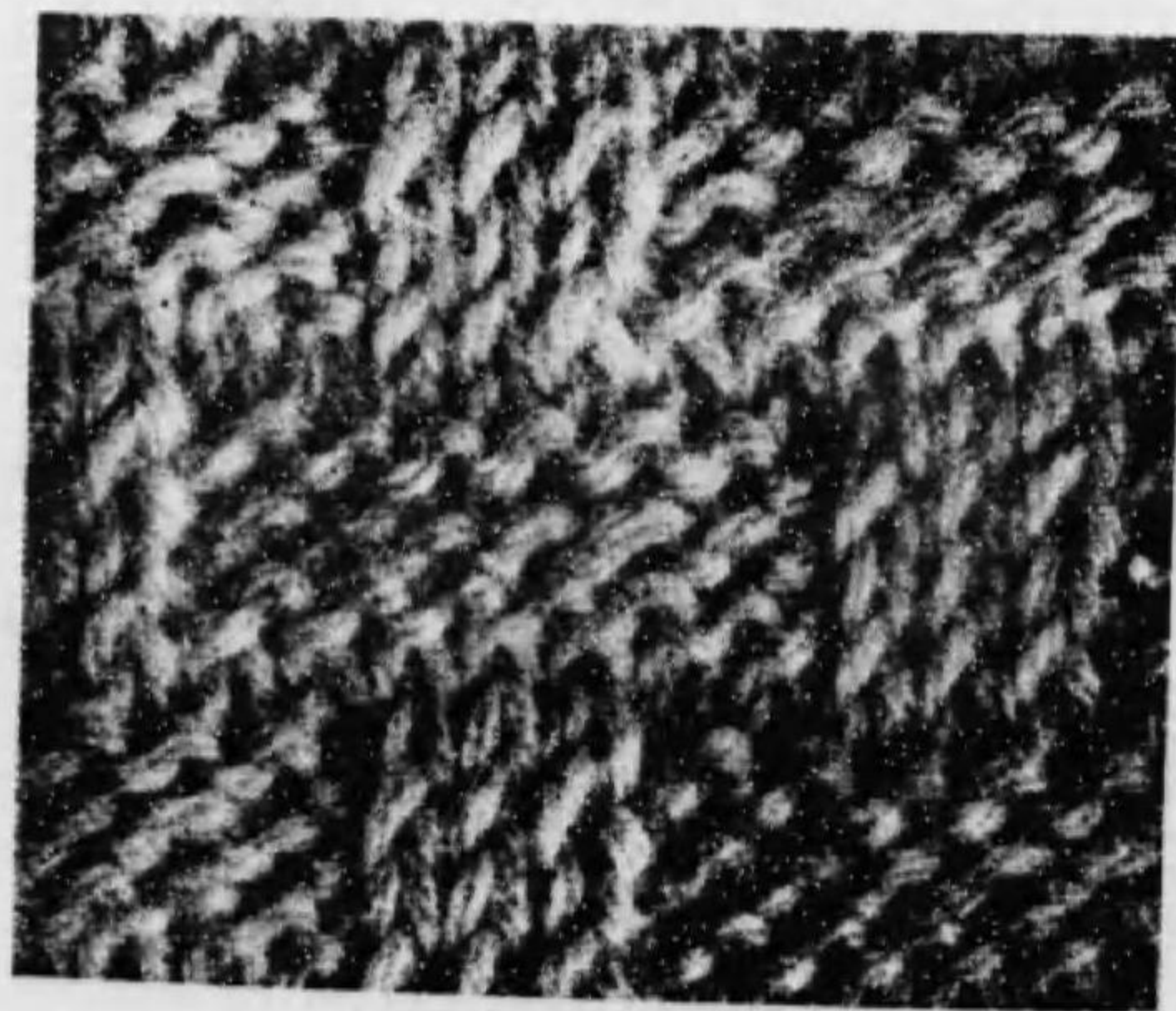
編み方いろいろ

レース スチッチ

望みだけの目を作り。最初の段は普通に編み、二段目は一目編んでから針に糸をかけて二つ目を一緒に



レース スチッチ



バスケット スチッチ

にとり、又糸をかけては二つ一緒にとります。三段目は裏編みを、四段目は表あみ、五段目は裏あみ、六段目になりましたら、二段目と同じ編み方をいたします。

バスケット スチッチ

目数は十の倍数に三を加へたものです。

第一段 表あみ三つ、裏あみ七つ、この段は表あみ三つで終るやうにいたします。

第二段 裏あみ三つ、表あみ七つ、この段は裏あみ三つで終ります。

第三段 第一段と同じ。

第四段 全部裏あみ。

第五段 裏あみ五つ、表あみ三つ、裏あみ七つ、表あみ三つ、裏あみ七つ、表あみ三つ、裏あみ七つを

くり返へし、表あみ五つで終ります。

第六段 表あみ五つ、裏あみ三つ、表あみ七つ、裏あみ三つ、表あみ七つをくり返へし、表あみ五つで

終るのです。

第七段 第五段と同じ。

第八段 全部裏あみ。

以上八段をくり返へします。

トライアングル スチツチ

目数は十の倍数に限りません。

第一段 表あみ九つ、裏あみ一つをくり返へします。

第二段 表あみ二つ、裏あみ八つをくり返へします。

第三段 表あみ七つ、裏あみ三つをくり返へす。

第四段 表あみ四つ、裏あみ六つをくり返へす。

第五段 表あみ五つ、裏あみ五つを。

第六段 表あみ六つ、裏あみ四つ。

第七段 表あみ三つ、裏あみ七つ。

第八段 表あみ八つ、裏あみ二つ。

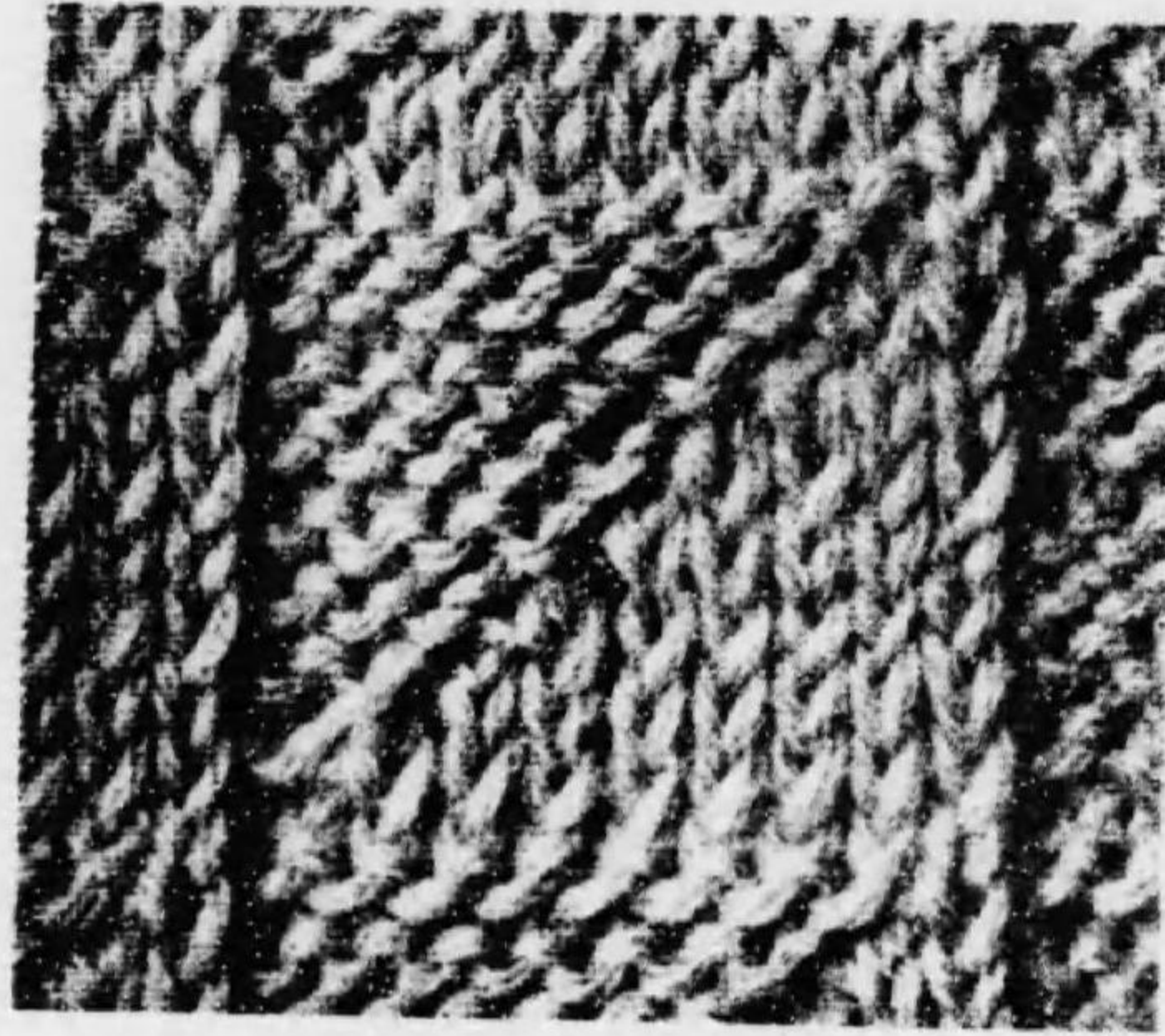
第九段 表あみ一つ、裏あみ九つ。

第十段 第九段をくり返へし、それから順々に第一段まで反対にかへります。

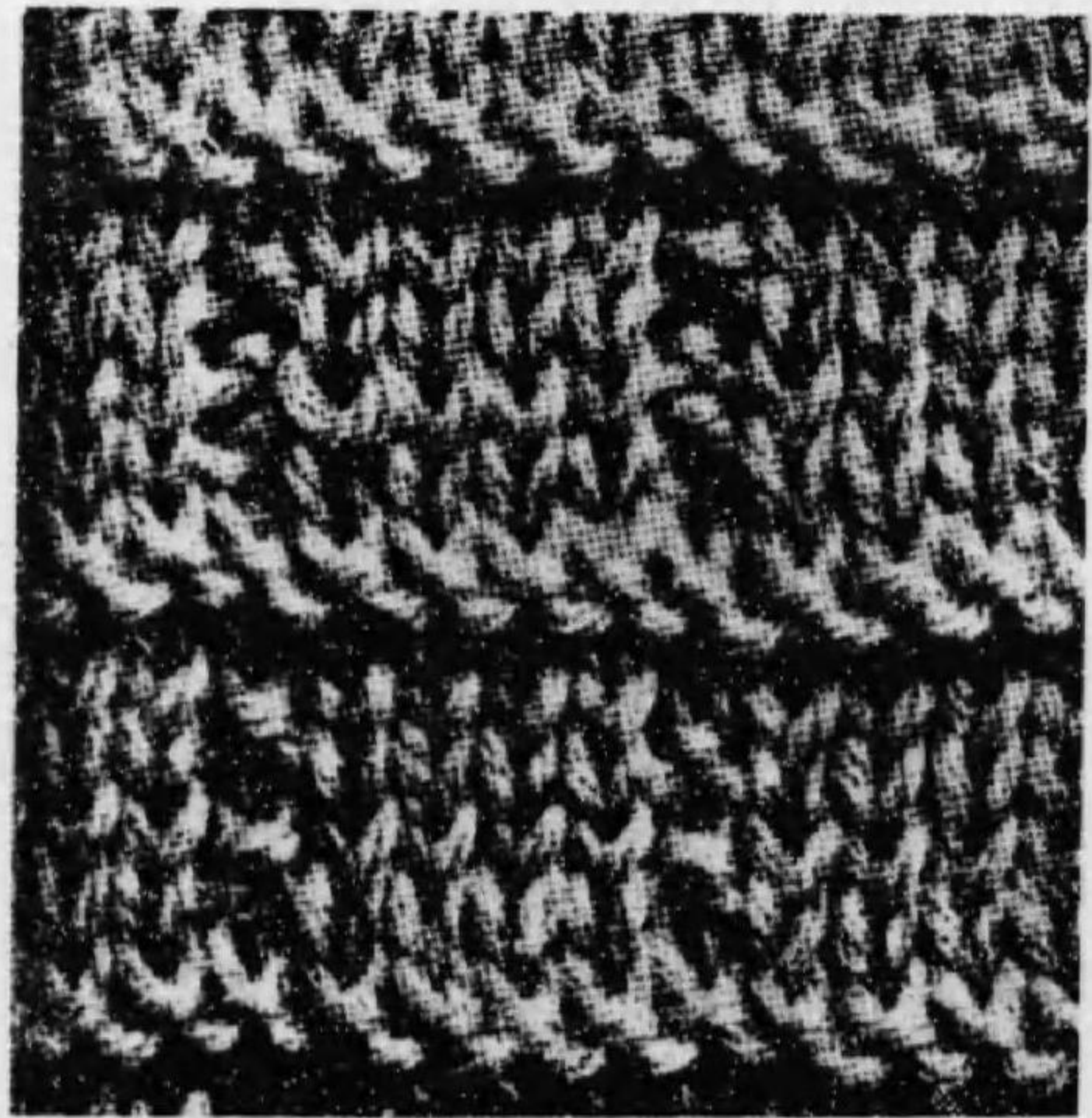
目数は五の倍数にいたしません。

第一段 裏あみ四つ、表あみ一つをくり返へす。

- 第二段 表あみ全部。
- 第三段 裏あみ四つ、表あみ一つをくり返へす。
- 第四段 第五段第六段 表あみ全部。



トライアングル スチツチ



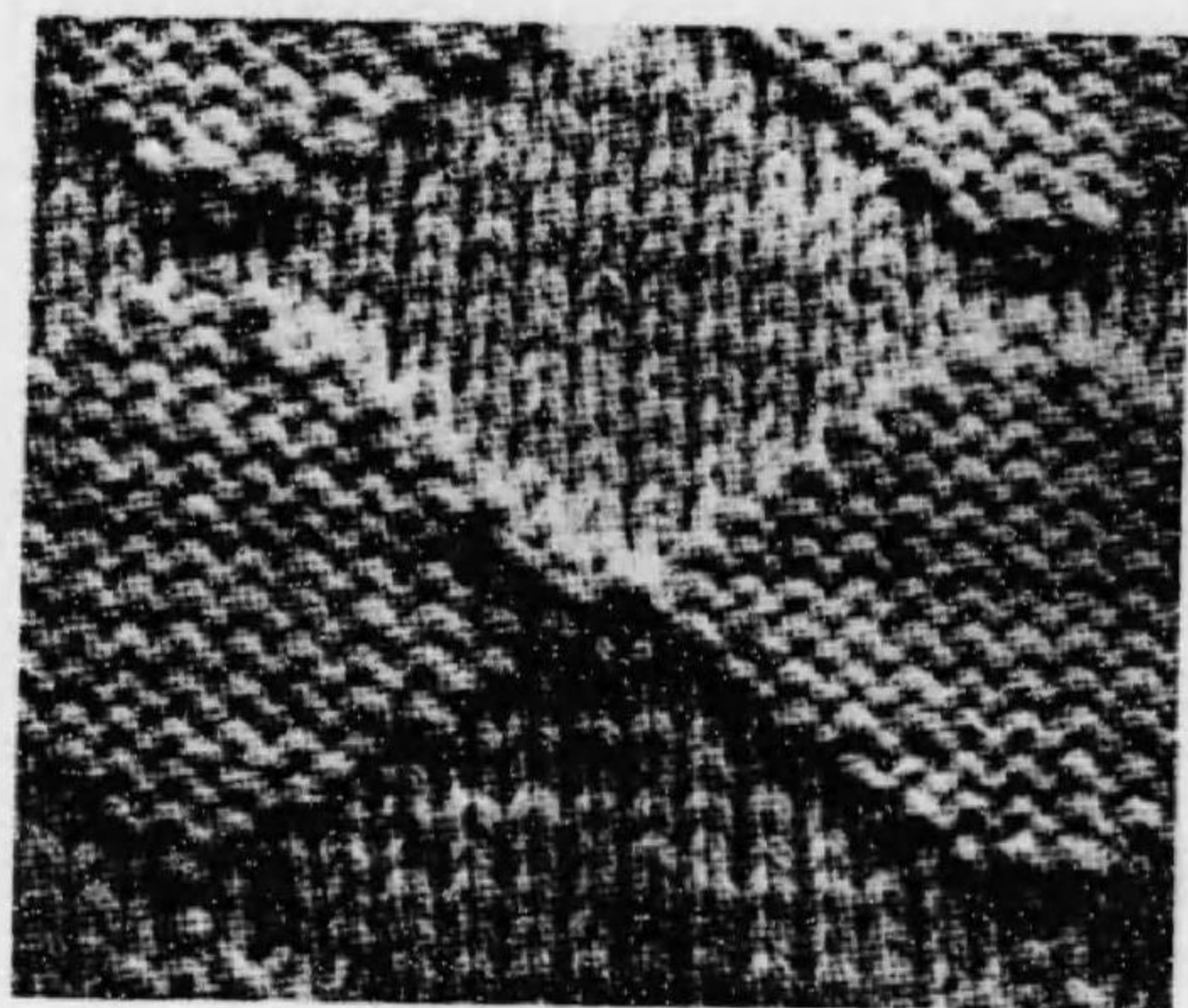
クロス パールド

ダイヤモンド スチツチ

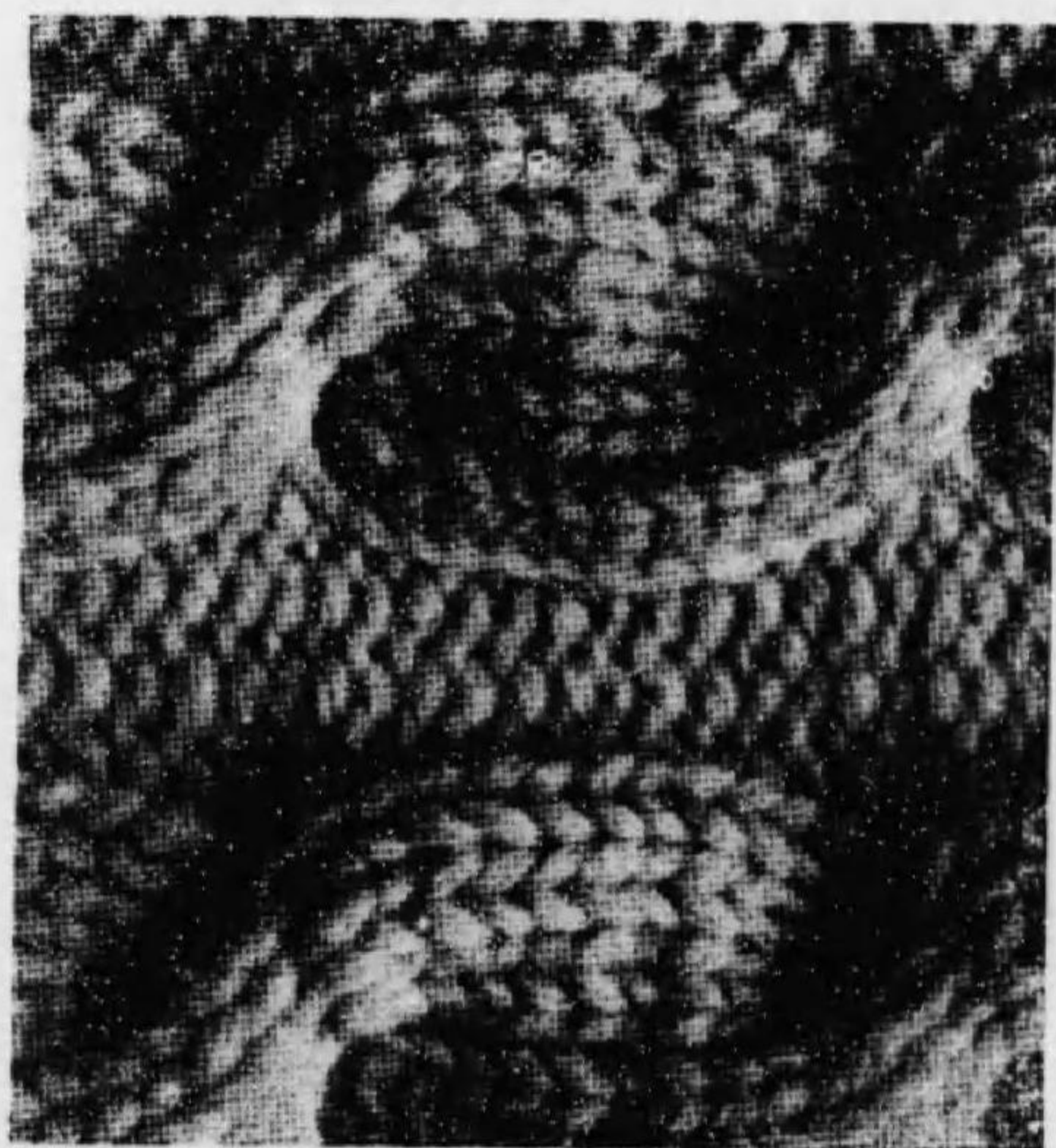
目数は十四の倍数です。

- 第一段 全部表あみ。
- 第二段 裏あみ十三、表あみ一つをくり返へす。
- 第三段 裏あみ一つ、表あみ十一、裏あみ三つ、表あみ十一、裏あみ三つをくり返へし、裏あみ一つで終ります。
- 第四段 表あみ二つ、裏あみ九つ、表あみ五つ、裏あみ九つ、表あみ五つをくり返へし、表あみ二つで終ります。
- 第五段 裏あみ三つ、表あみ七つ、裏あみ七つ、表あみ七つ、裏あみ七つをくり返へし、裏あみ三つで終ります。
- 第六段 表あみ四つ、裏あみ五つ、表あみ九つ、裏あみ五つ、表あみ九つをくり返へし、表あみ四つで終ります。
- 第七段 裏あみ五つ、表あみ三つ、裏あみ十一、表あみ三つ、裏あみ十一をくり返へし、裏あみ五つで終ります。
- 第八段 表あみ六つ、裏あみ一つ、表あみ十三、裏あみ一つ、表あみ十三をくり返へし、表あみ六つで終ります。
- 第九段 全部裏あみ。

第十段 第九段から反對に第一段まで編んでゆきます。



ダイヤモンド スチッチ



ルースケーブル スチッチ

- ルース ケーブル スチッチ
- 目数は二十四の倍数といたします。
- 第一段 裏あみ四つ、表あみ六つ、裏あみ四つ、表あみ六つ、裏あみ四つ、表あみ四つ。
- 第二段 表あみ四つ、裏あみ六つ、表あみ四つ、裏あみ六つ、表あみ四つ、裏あみ四つ。

以上二段を六度づつ都合十二段あみます。

第十三段 裏あみ四つ、三つを別の棒にうつし置き、次の三つを表あみ、別の棒にとり置いた三つを前に出して表あみをいたします。

第十四段 第二段と同じ。

第十五段 第一段から又始めます。

ウェーブ スチッチ

目数は八の倍数に一を加へたものとします、圖の説明は三十三の目です。

第一段 表あみ四つ、裏あみ四つ、表あみ四つ、裏あみ四つ、表あみ四つ、裏あみ四つ、表あみ四つ、裏あみ四つ。

第二段 裏あみ三つ、表あみ四つ、裏あみ四つ、表あみ四つ、裏あみ三つ、表あみ四つ、裏あみ四つ、表あみ四つ。

第三段 表あみ二つ、裏あみ四つ、表あみ四つ、裏あみ四つ、表あみ五つ、裏あみ四つ、表あみ四つ、裏あみ四つ。

第四段 裏あみ四つ、表あみ二つ。

裏あみ一つ、表あみ四つ、裏あみ四つ、表あみ四つ、裏あみ七つ、表あみ四つ、裏あみ四つ、表あみ四つ。

裏あみ四つ、裏あみ一つ。

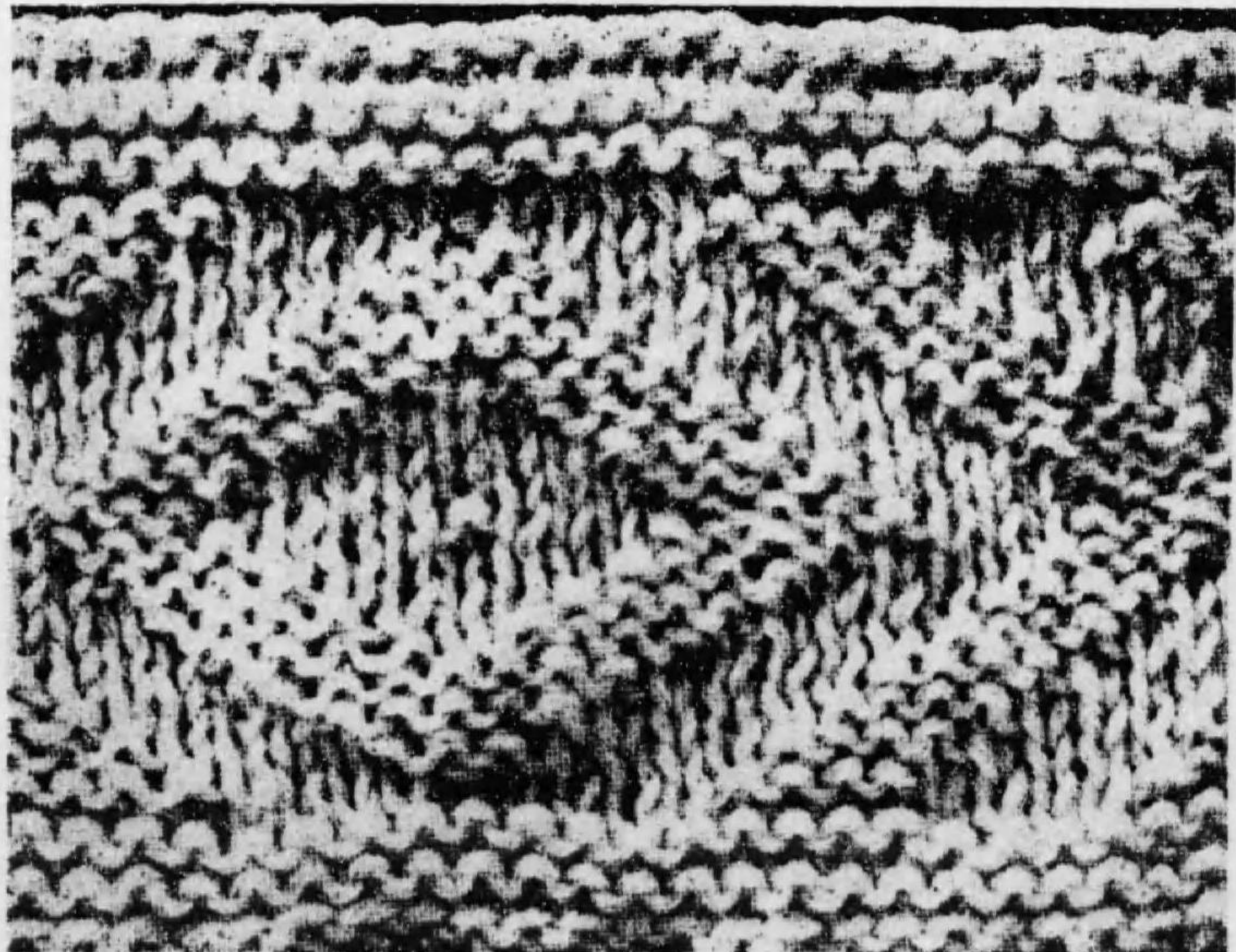
第五段 裏あみ四つ、表あみ四つ、裏あみ四つ、表あみ四つ、裏あみ一つ、裏あみ四つ、表あみ四つ、裏あみ四つ。

第六段 裏あみ三つ、裏あみ四つ、表あみ四つ、裏あみ四つ、表あみ三つ、裏あみ四つ、表あみ四つ、裏あみ四つ。

第七段 裏あみ二つ、表あみ四つ、裏あみ四つ、表あみ四つ、裏あみ二つ、表あみ四つ、裏あみ四つ、表あみ四つ。

第八段 裏あみ四つ、表あみ七つ、裏あみ四つ、表あみ四つ、裏あみ四つ、表あみ四つ、表あみ四つ、表あみ一つ。

第九段 裏あみ四つ、表あみ一つ、表あみ四つ、裏あみ四つ、表あみ四つ、裏あみ四つ、表あみ四つ、裏あみ四つ。



ウェーブスチッチ

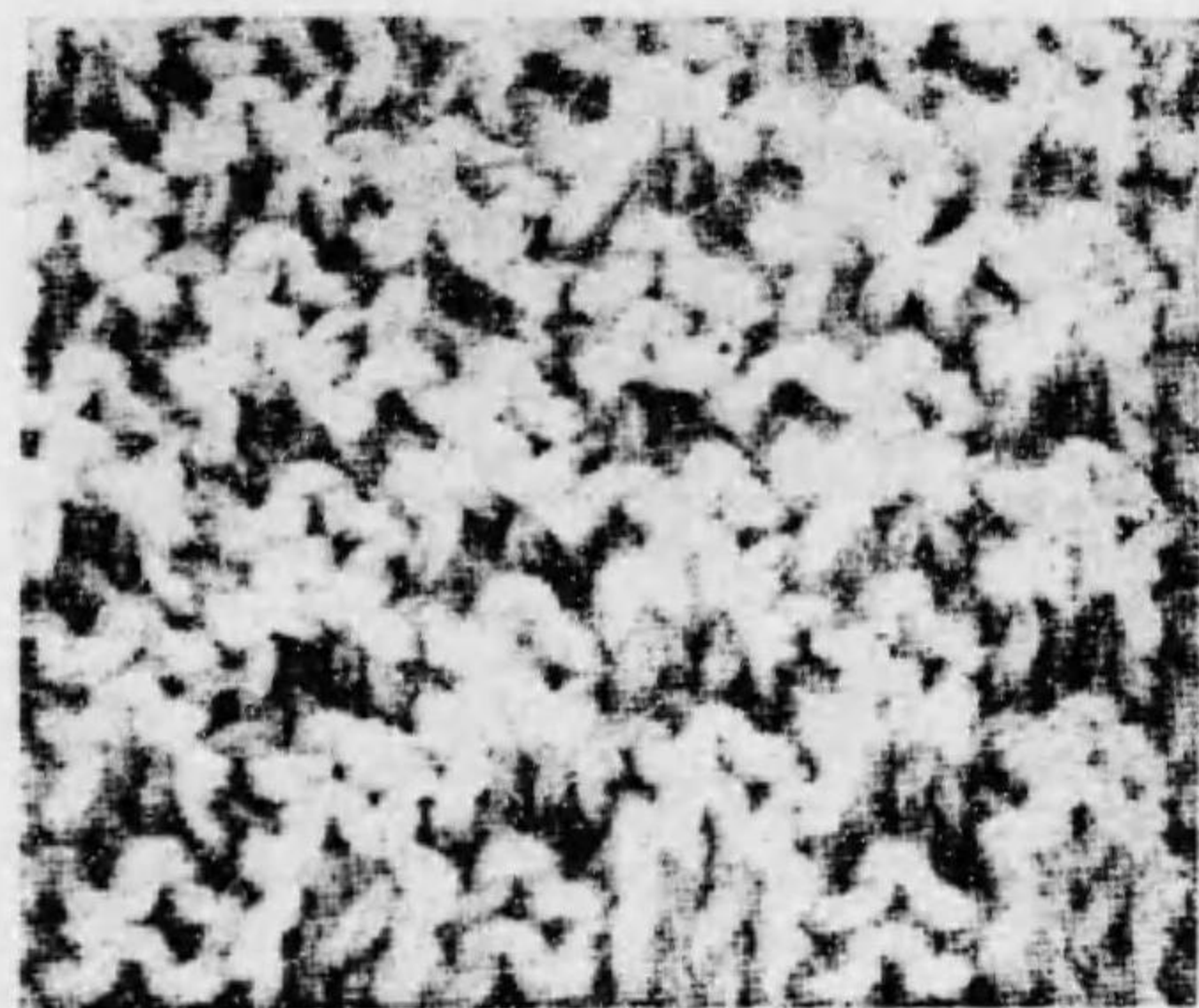
第十段 第八段から反對に第一段へと編みます。

ライス スチッチ

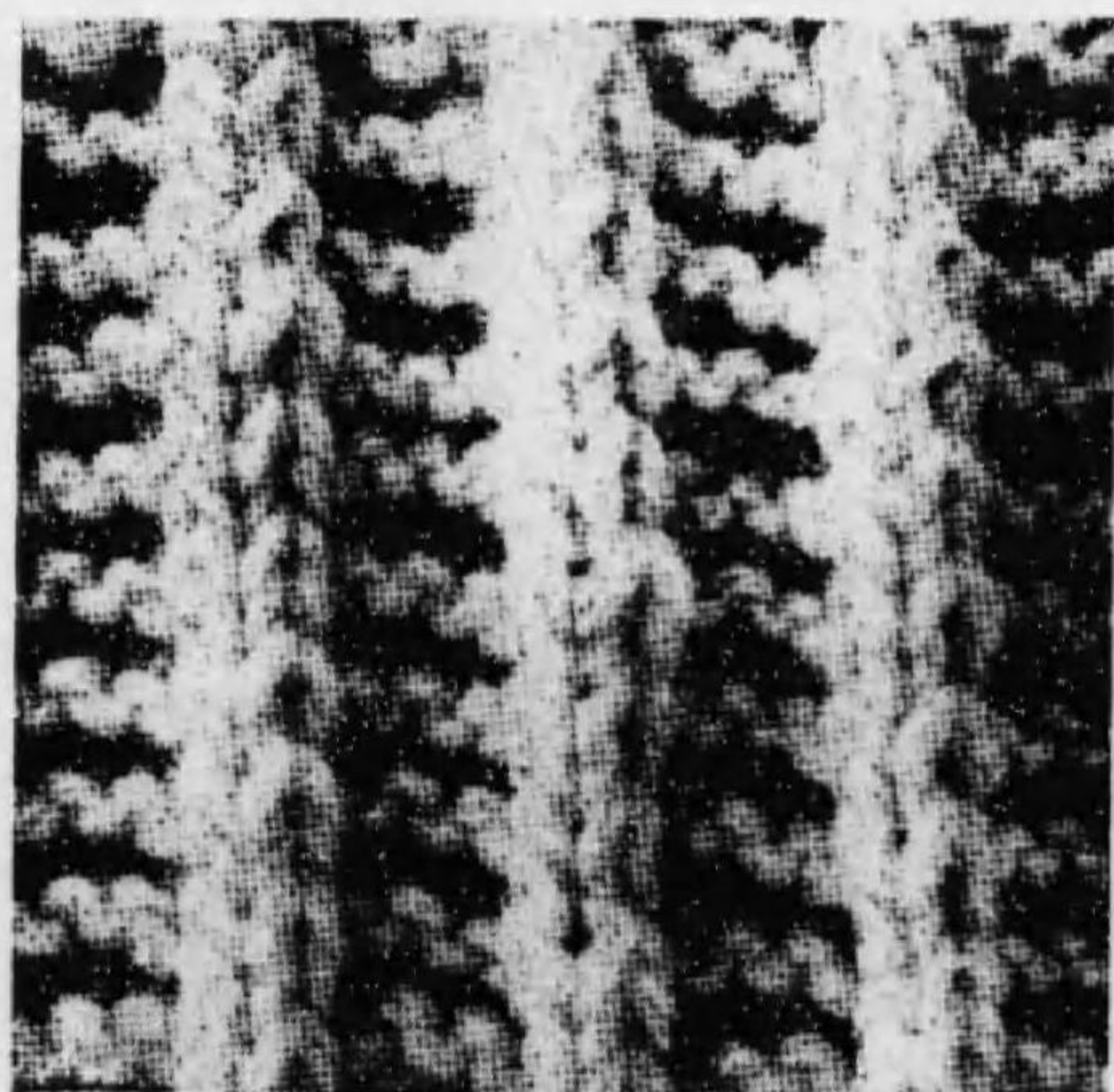
目数は四の倍数です。

第一段 表あみ二つ、裏あみ二つをくり返へします。

第二段 第一段と同じ。



ライス スチッチ



ラッフルリップ

第三段 裏あみ二つ、表あみ二つをくり返へします。

第四段 第三段と同じ

ラッフル リップ

目数は四の倍数に二を加へます。

第一段 表あみ二つ、裏あみ二つ、表あみ四つ、裏あみ二つ、表あみ四つ、裏あみ二つをくり返へし、

表あみ二つで終ります。

第二段 全部表あみ。

ブロック スチッチ

目数は八の倍数に一を加へます。

第一段 表あみ四つ、裏あみ一つ、表あみ七つ、裏あみ一つ、表あみ七つをくり返へし、表あみ四つで

終ります。

第二段 裏あみ三つ、表あみ三つ、裏あみ五つ、表あみ三つ、裏あみ五つをくり返へし、裏あみ三つで

終ります。

第三段 表あみ二つ、裏あみ五つ、表あみ三つ、裏あみ五つ、表あみ三つをくり返へし、表あみ二つで

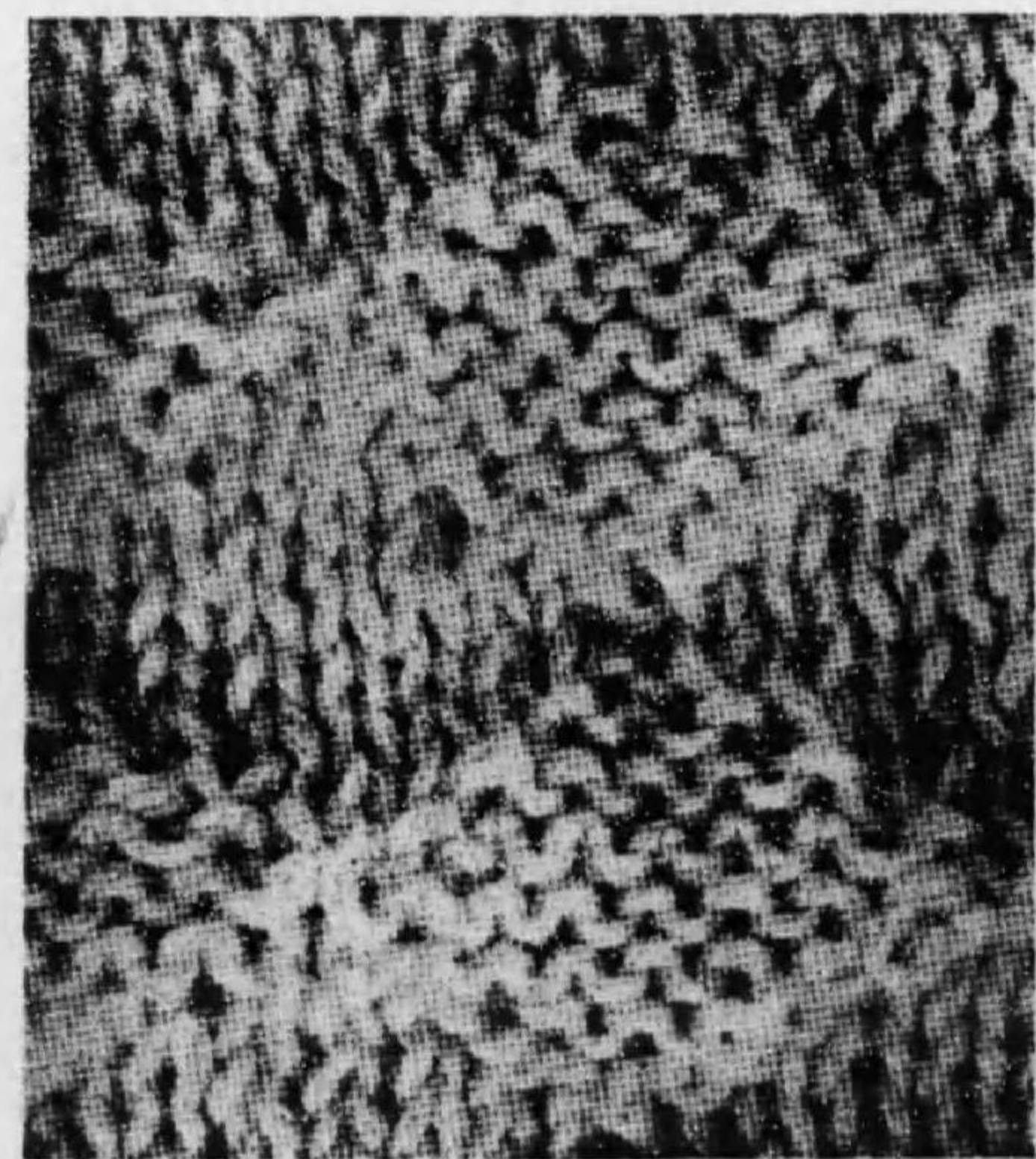
終ります。

第四段 裏あみ一つ、表あみ七つをくり返へします。
 第五段 全部裏あみ。
 第六七八九段 第四段から反対に第一段まで編みます
 第十段 全部裏あみ。

以上十段を一つの形として、これをくり返へすのであります。

ビーン スチッチ [鉤針編]

鎖あみをなし、二目置いて三つ目に針を入れ糸をかけて引きぬき、そのまゝ又糸をかけて同じ目に針を入れ、引きぬき、糸をかけて又入れ、引き抜くと都合六つのがわなが、針にかゝります、それを一ごきに引き一つくさりを編み、一目置いて同じ事をいたします。



ブロック スチッチ

クレージー スチッチ

望みだけの鎖あみをいたします。

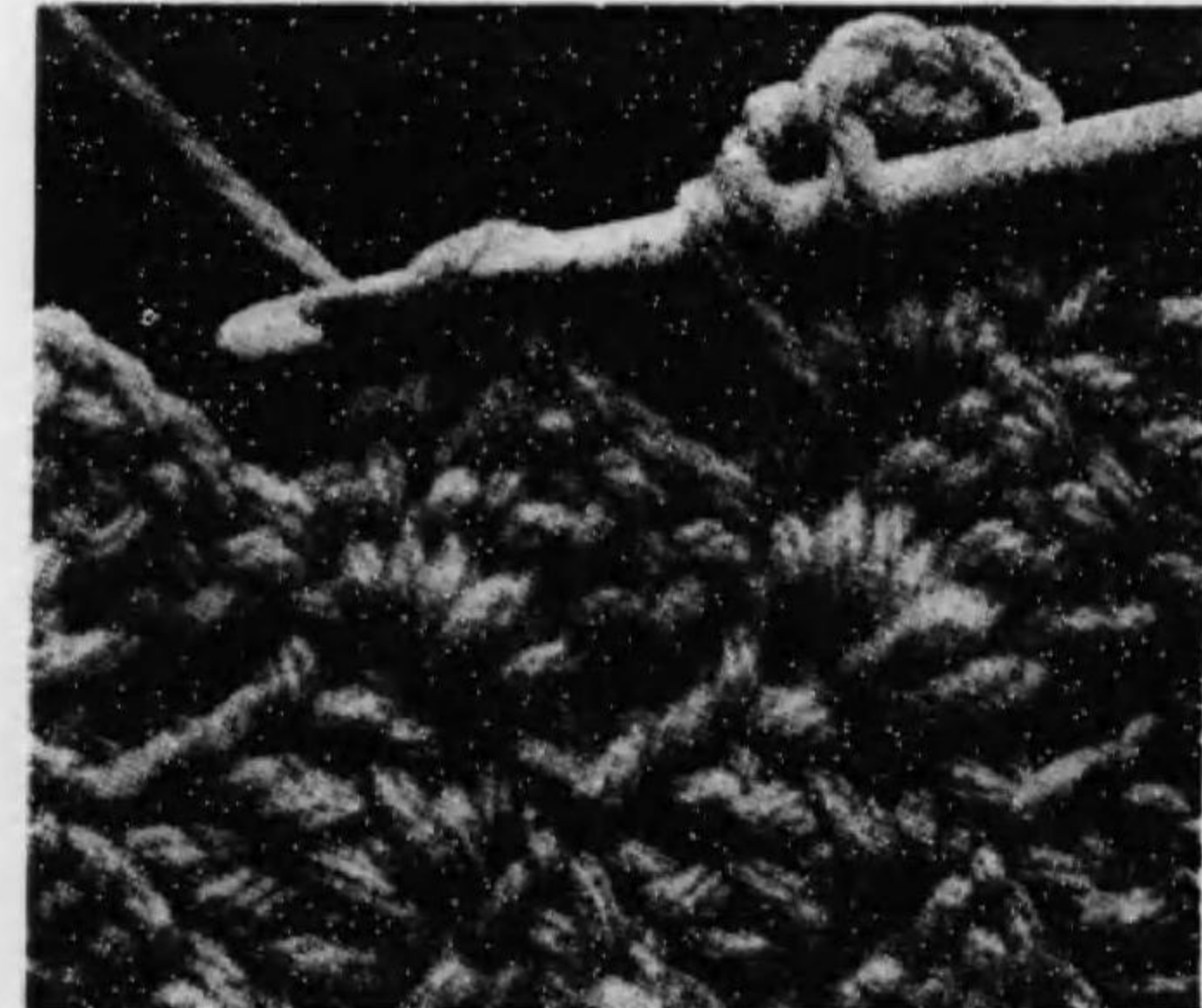
第一段 短編み一つ、鎖編み三つ、同じ短編みの目に長あみ三つ、鎖編みの目三つ置いて短編み一つ、

第二段 鎖三つ、長あみ三つ、これを一段の終りまでつゞけます。

鎖あみ三つ、短あみを第一段の鎖あみの中に入れ、鎖あみ三つ、長あみ三つをくり返へします



ビーン スチッチ



クレージー スチッチ

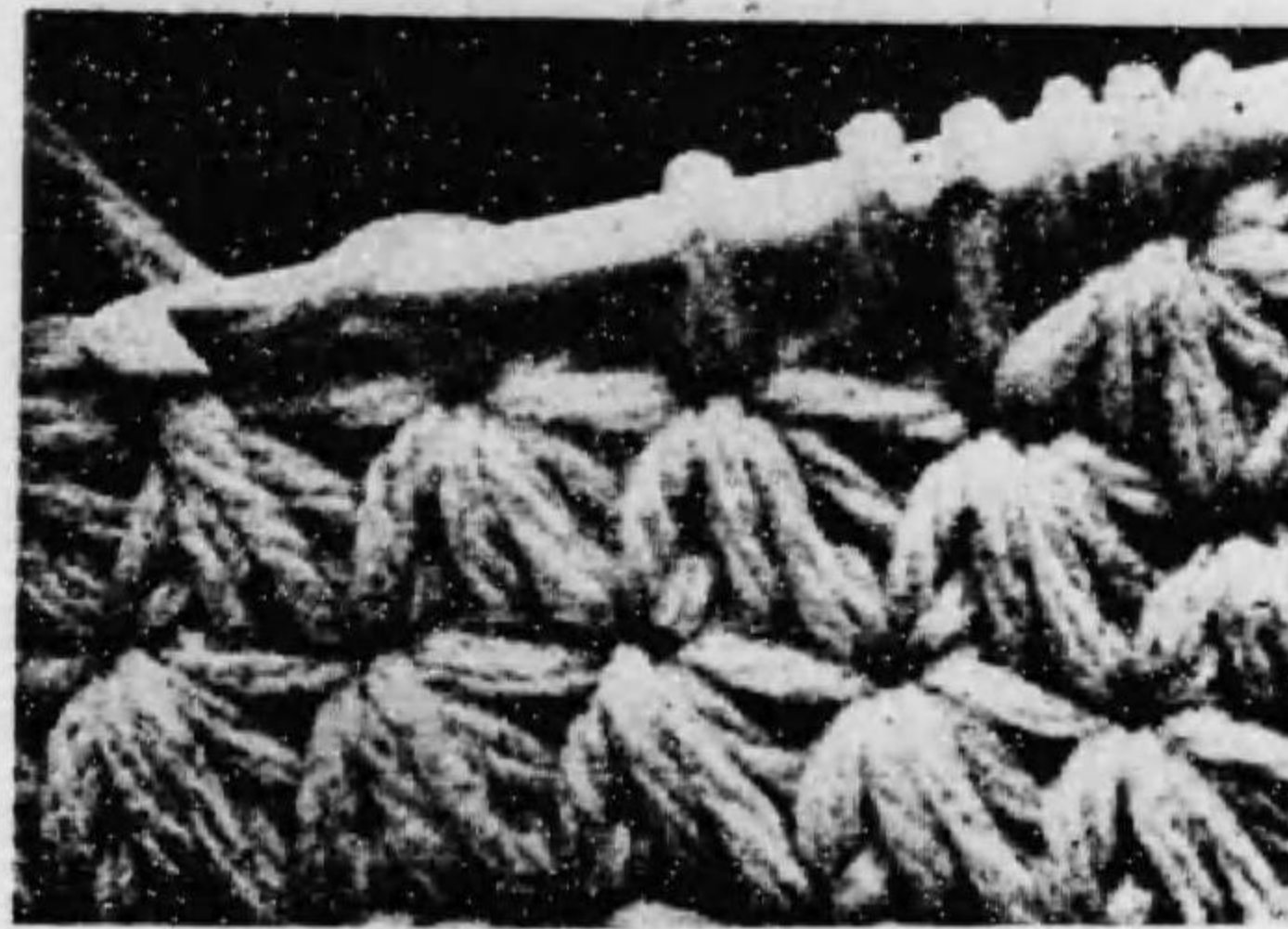
スター スチッチ

くさりをあみます。

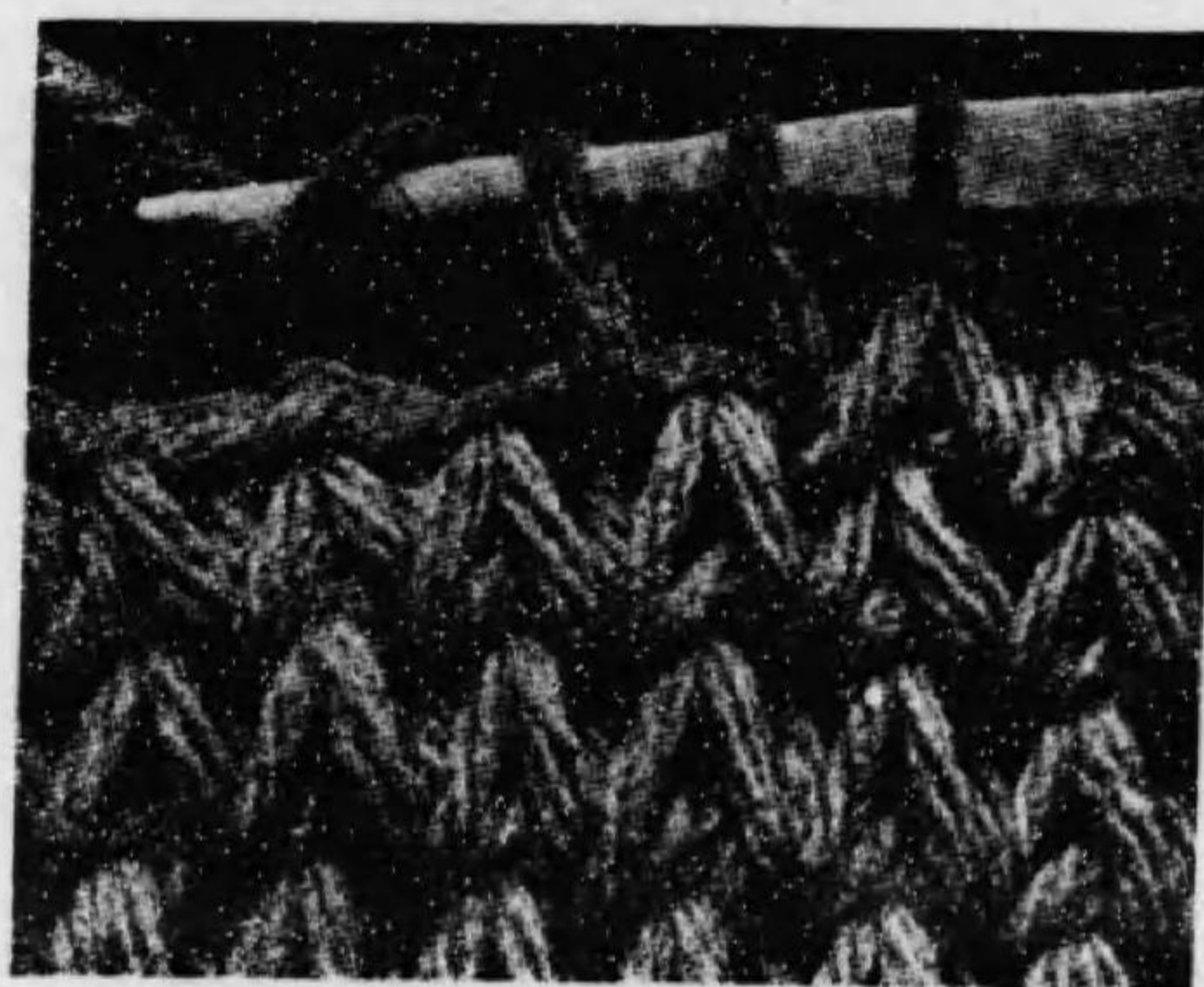
第一段 最初の鎖あみの目に針を入れ、糸をかけて引きぬき、そのまゝ次の二番目の目から五番目の目までいちいち針を入れて糸をかけ引き抜きますと都合六つのがわなが出来きます。それを一緒に

くぐり、鎖あみを一ついたします。次に今編んだ鎖の目と、六つ目のわなのうしろと、五番目の鎖の目、それからそのどなりの六七番目の鎖の目から六つのわなを引き出し一緒にくぐり、鎖あみを一つします。第一段の終りまでこれをつづけて糸を切ります。

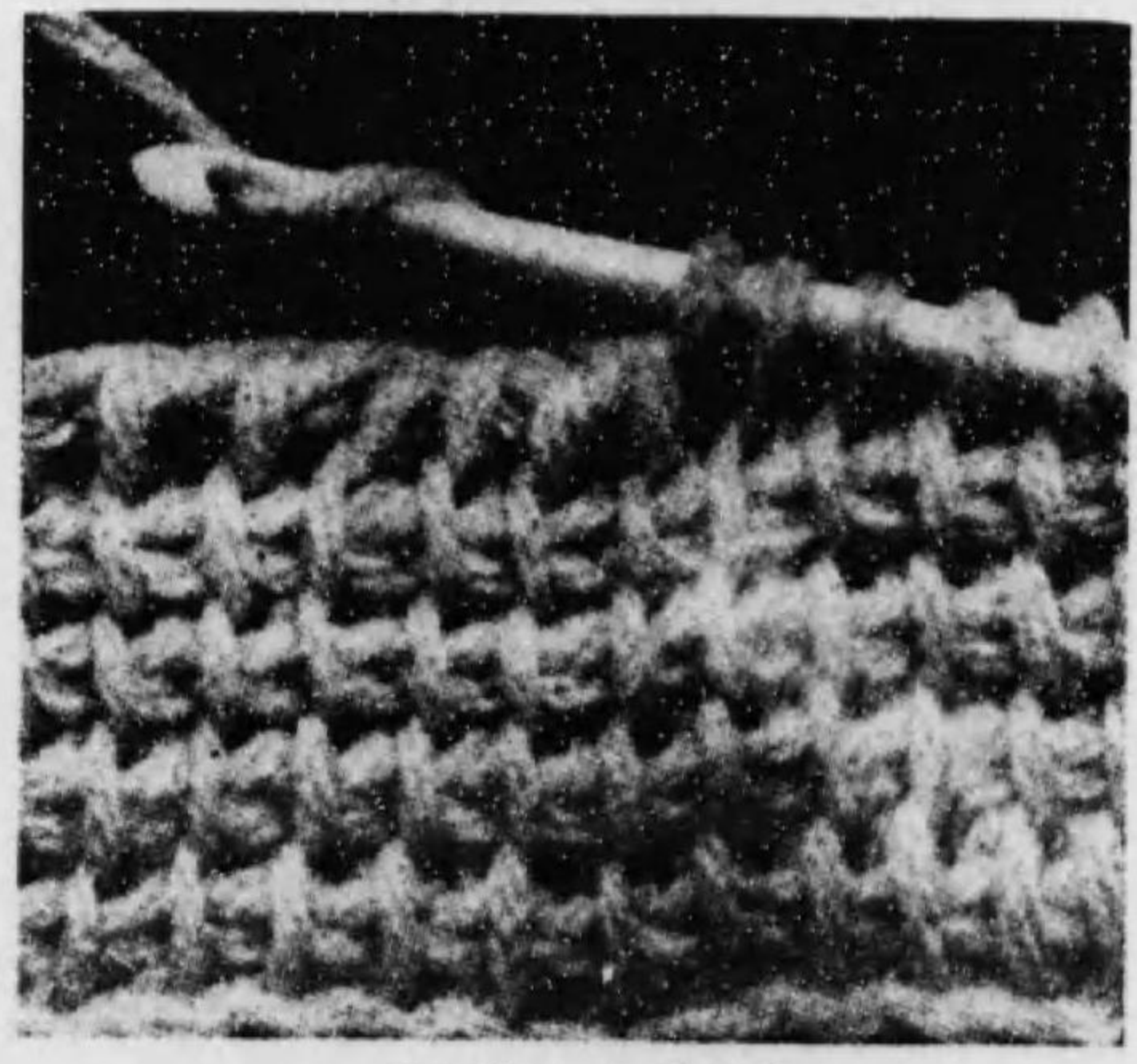
第二段 第一段の最初につくった星形の一片のうしろから糸を出し、鎖あみ三つ、その鎖あみから二つのわなを引き出し、それから糸を初めにつないだところから一つ、星形から二つ、以上六つのわなを引きしめくぐりを一つ編みます。



スター スッチ



パインアップル スッチ



アフガン スッチ

パインアップル スッチ

鎖あみをいたします。

第一段 四番目の鎖あみの中からわなを一つすくひとり、鎖目一つ置いて又一つすくひと、それを一緒に引きしめ、鎖一つ編みます。最後のわなと同じ目と鎖あみの目一つ置いたところの目とからわなを引き出し、一緒にしめます。斯うして一段の終りまで編みましたら糸を切るのです。

第二段 第一段の鎖あみの中から糸を出し、鎖あみを四ついたします。第一と第二の空いたところからわなをすくひと一緒に引きしめるのです。

アフガン スッチ

鎖あみをいたします。

第一段 鎖あみの目全部を拾つて針にかけます。

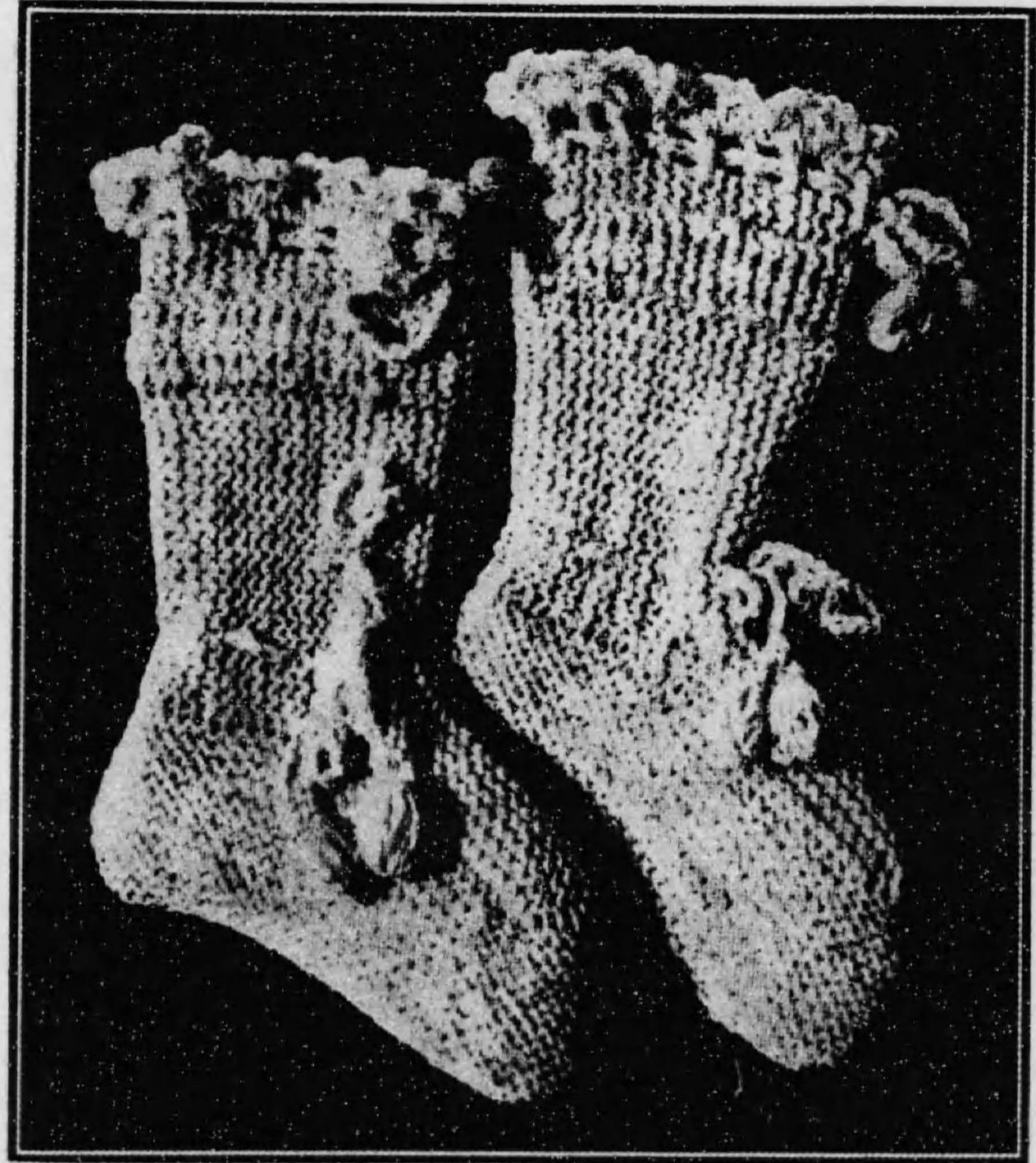
第二段 始めは一つのわなを抜き、次に針に糸をかけては二つづつのわなを抜いてゆくのです。

第三段 第二段のたて糸を全部拾つて針にかけます。

赤坊用靴足袋 三種

その一 材 料

白毛糸一巻
棒針一對、金属製十五番



靴 足 袋

まづ五十四の目をつくりまします。それを第一と第三の針に二十づつ、第二の針に十四とり、表あみと裏あみとを一廻りづつ代るく、十廻りあみ、次にライススチツチを五十廻りあみます。

紐通しのつくり方

二目普通に編み、針に糸をかけて二目一緒にどり、二目普通に又針に糸をかけて二目一緒にどります。これを一廻り編みましたら、十五廻り表あみと裏あみとを代るく、いたします。

足袋の甲の編み方

第二の針の十四の目が甲となるので、それをライススチツチで凡そ三十段編みましたら、第一の針で片側の目十五、第三の針で他の側の目十五を拾ひ、十段普通に編み、十一段目から両端と真中で一つづつ目を四回減します、それから糸を止め底を縫ひつけます。

紐のつくり方

糸を二三本一緒に鎖あみして両端に玉の飾りをつけます。

その二(A圖) 材料 白糸一卷

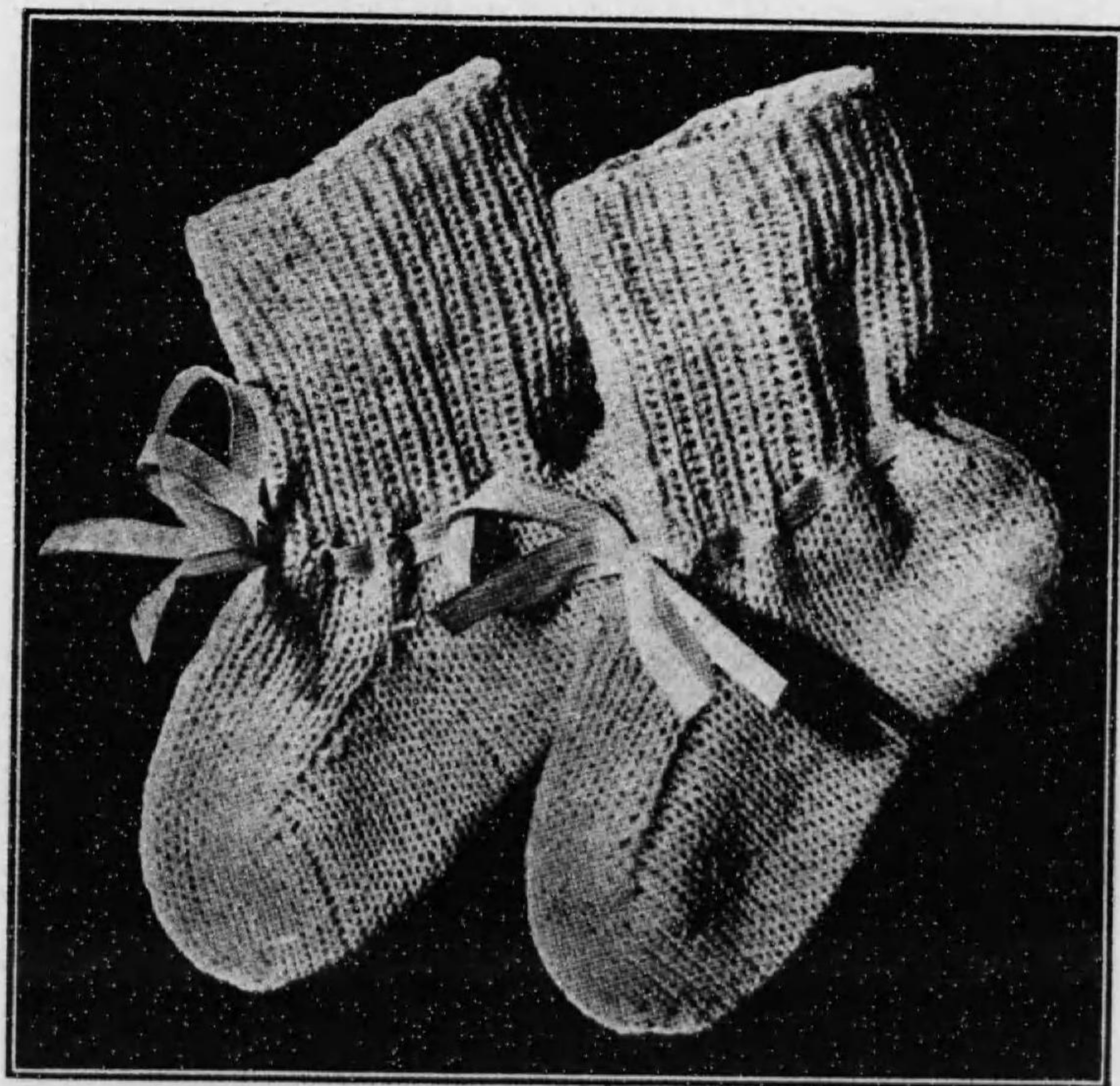
棒針一組、骨或はセルロイド製一番

五十の目を十七づつ、二本の針に、十六を残りの一本にふり分けてかけます。表目二つ裏目二つを代るく編み、凡そ三十段になりましたら針に糸をかけては二目づつ一緒に一廻りだけ編みます。次の四段

は表目ばかりで編むのです。
足袋の甲のあみ方

十六の目をかけてある針だけを表あみ一段裏あみ一段と代るく二十四段編みます。編み始める時は必ず第一の目はあみずにそのまゝ針にとり第二の目から編み始めます。

甲の両側から十二づゝ目を拾ひみんな一緒に十段編み、十一段目からは圖のやうに、前方で一つづゝ二つ、後方で一つづゝ二つ都合四つの目を減します。これを一段置きに三度減しましたら糸を止め底を縫ひつけ、リボンかゴム紐を通して終ります。



靴 足 袋

その三(B圖) 材 料

白毛糸一卷

時色毛糸一卷

棒針一組、金屬製十五番

白の毛糸で三十の目をつくりします。

第一段 白糸で表あみ四つ、時色で二つ、白で四つ、時で二つ、白で十八。

第二段 白で表あみ十八、時で二つ、白で四つ、時で二つ、白で四つ。

以上二段を代るく十四段くり返へします。白糸で編む時は時色の玉を向ふ側へたらしめて置き、時色で編んで居る時は白の玉をむかう側へ除けて置くので、決していちく切りません。

第十五段 十五段目になりましたら、目を十六増し十二段編み、十三段目には十六の目だけ止めて残り三十を十四段あみ止めます。

最後に止めた片側から十四の目を拾ひ、角で二つ、甲のところで十六、甲の先で六つ、都合三十八の目を一本の針にかけます。他の側も同じやうに拾ひ、全段で七十六の目をつくりします。以上を十四段編んでから針の両端と真中で一つづゝ目を減します。これを一段置きに四段だけ減してから、ゆるく止めて底を縫ひつけるのであります。

ふ ち 飾 り

長あみを一つ、鎖あみ一つ、一目とんで長あみ一つ、これを一段編みましたら時色で長あみ三つを鎖あみの中にあみ込み、次の鎖あみの目に短編で止めます。第三段目は短編を一目々々にあみ入れて、それが終つたら糸を切つてリボンか編んだ紐を通します。

ペビーセット 四種

1 ジャケット

材 料

白毛糸二巻。

白とピンクの絹糸入りの毛糸各一巻。

棒針一對三番半同じく両端尖れる棒針一組。

リボン三番三ヤール、一番一ヤール。

白の絹糸入りの毛糸で目を八十二作ります。

第一段 全部表あみ。

第二段 「表あみ二十、次の目で二つ増し、表あみ四十」 印の中のやうにくり返へします。

第三段 ピンクで全部表あみ。

第四段 「表あみ二十、二目増し、表あみ一つ、二目増し、表あみ四十」 印の中のやうにくり返へす。

第五段 白で全部表あみ。

第六段 表あみ二十一、二目増し、表あみ三つ、二目増し、表あみ四十二、二目増し、表あみ三つ、二目増し、表あみ二十一。

ピンクに變へて肩のところの前の方のやうに目を増し、又白にして、ずつと増しつゞけ二百三十八目出来るまで編みます。

絹糸入りでない白の毛糸に變へて、前身頃の方の三十九目のところを一つ置きに一つづゝ増し、肩の四十一目はどぼし、脊の七十八目を一つ置きに一つづゝ増し、肩の四十一目をどぼし、残りの三十九目を一つ置きに一つづゝ増します。それから乳母車掛と同じやうな藤あみで凡そ六吋あんでゆきます。(模様は脊に五つ前に三つづゝのるやうになるのです。)

ピンクの毛糸に變へて四段あみ、白四段、ピンク四段で止めてしまひます。

くび廻り

表を自分の方にむけ、白の絹糸入り毛糸でくび廻りの目を拾ひ、全部裏あみにいたします。次の段は「表あみ一つ、針に糸を二度かけ、二目一緒に編む、表あみ一つ、」印の中のやうに一段だけくり返へしたら、ピンクに變へて全部表あみ、そして止めます。前の目も拾ひ、一段あみ、裏側で止めるのです。

袖

両端の尖つて居る針で肩のところ四十三の目を拾ひ一まはり編みます。一つ置きに一つづゝ目を増し

六十三となし、靴足袋に編んであるやうな小さな藤あみを四時半いたします。

ピンクの糸で終り、白で身頃の時のやうに、ふちをとり最後に圖のやうにリボンを通すのであります。

2 帽子 子 材料 白毛糸一卷。

ピンクと白の絹糸入りの毛糸各一卷。

棒針一對三番半。

絹布の裏一ヤールの四分の一。

リボン三番三ヤール、二番一ヤール。

絹糸入りの白毛糸で六つの目を作り、表あみ二段、糸を切らずにピンクと變へ、一目毎に二つづゝ編んで一廻りし、普通にあみ返へし、今度は白で一目置きに一つづゝ一廻り増し、又普通に編み返へします。斯ういふ風に目を増しながら糸は白とピンクを段々にあみ入れます、目を増す時は、増した目の間々に一つづゝ餘計に目を増すので、一角と一角との中が十六目になりましたら絹糸の混らない毛糸に變へます。

今變へた毛糸で九十目で五角をなして居るところだけを普通に一段あみ、(残りの目は他の棒にうつして置く)次の段では一角のうちを一目づゝ減し、八十六となし、藤あみの模様を九段だけあみます、それからピンクに變へて四段あみ、白で三段あみ止めます。

白糸で下の方の目を拾つて一段表あみ、二段目は裏あみしてから、「表あみ一つ、針に糸を二度かけて二目を一緒にどり」、「印の中のやうに一段だけくり返へします。最後の目だけは二目普通にあみ、ピンクと變へ、一段表あみをいたします。

3 乳母車掛 材料 白毛糸八卷。

ピンク毛糸三卷。

棒針一對五番半。

絹布裏一ヤール。

ピンクの毛糸で百四十九の目をつくり、次のやうにして模様を編みます。

第一段 「裏目二つ、表目一つ、二目一緒に三度、針に糸をかけて一つづゝ編む事五度、針に糸をかけ二目一緒に三度、表目一つ」 「印の中のやうにくり返へし、裏目二つで終ります。

第二段 「表あみ二つ、裏あみ十九」をくり返へし表あみ二つで終る。

第三段 「裏あみ二つ、表あみ十九」をくり返へし裏あみ二つで終る。

第四段 第二段と同じ。

以上の順をくり返へし、ピンクで八段、白で八段、ピンク八段、白八段、ピンク四段、それから白で

模様を二十九編み、又白とピンクの段々を初めの時のやうに編んで糸を止め、裏をつけて終ります。

4 足 袋 材 料 白毛糸一卷。

ピンクと白の絹糸入りの毛糸各一卷。

棒針一組、金屬製十八番。

リボン一番、半ヤール。

ピンクの糸で六十三の目を作り三本の針に二十一目づゝかけます。

第一段 「裏あみ二つ、表あみ一つ、二目づゝ一緒に三度、針に糸をかけて一目づゝ五度、針に糸をかけ

て二目一緒に三度、表あみ一つ、」をくり返へします。

第二、三、四段 「裏あみ二つ、表あみ十九」をくり返へす。

四段だけピンクの糸で、それから白に變へて四段、又ピンク四段それから絹糸の入らない毛糸で模様を十二度作ります。

足の甲になる一本の針だけは模様を四つ、餘計にあみます。それから表あみと裏あみを一段づゝ各段の初めの目を減しながら十段あみます。

ピンクの糸ですつかりの目を拾ひ二段、白に變へて又二段、これを代るく六度編んでから各段の初めで一目づゝ減しながら、二十四段になりましたら、足袋の底をあみ合せます。



ベビーセット (四種)

子供靴下 (四五歳用)

材料

白毛糸二巻。

水色毛糸一卷。

棒針一組、金屬製十五番。

白の毛糸で六十八の目を作り、第一と第二の針に二十四づゝ第三の針に二十とります、これを十段普通に編みましたら水色の糸に變へて二段、白二段、水色四段、白二段、水色八段、白二段、水色四段、白二段、水色二段、白十段編み、次にゴム紐を通すあなを作ります。二目あんでから針に糸をかけて二目一緒にどり、又糸をかけて二目とるのであります。これを一廻りだけ編みましたら、表あみ二つ、裏あみ二つを代るく、凡そ一吋半、次に表あみばかりを十五段いたします。

第一の針で表あみ八つ、一つはすして一つあみ、その上にはすした目をかぶせ、表あみ三つ、次は二目一緒に、表あみ八つ。第二第三の針はそのまゝにして、五段減さずに編み、六段目に、第一の針で表あみ七つ、一つ減し(第一段の時のやうに)表あみ三つ、一つ減し、表あみ七つ。次は表あみ十段。それから踵を編みます。

踵のあみ方

第一の針に第二第三の針から七つづゝ目をとつて、全體で三十二の目といたします。これを表あみ一段、裏返へして始めの一目をはすして針にとり他は全部裏あみ、又裏返へし一目はすし表あみ、斯うして表あみと裏あみを十九段くり返へし減し始めます。

踵の減し方

裏あみ十八、次は二目一緒にどり、裏返へし、始めの一目をはすして、表あみ四つ、一目はすし、一目編んではずした目をその上にかぶせます。裏返へし、第一の目をはすし裏あみ五つ、二目一緒に、又裏返へし第一の目をはすし表あみ六つ、一目はすし、次を編んではずした目をかぶせます。

右のやうにして棒にあるだけの目をすつかり減し十八といたします。それから踵の兩側の目を二十づゝ拾ひ、甲にあたる部分と一緒に二廻り普通に編み、それから一廻り置きに踵の兩側で一つづゝ目を減します、目の總数が四十四になりましたら踵の際から四吋位まで増減をせずに編みます。

爪先の減し方

底の左の方から減し始めます。針の終りから三つ手前まで編み、二目一緒にどり一目編み、次の針では一目編み、一目はすし、一目あみ、はすした目をかぶせます。次の針では終りから三つ目で二目一緒にあみ、一目あんでから最後の針になり一目あみ、一目はすし、一目あみ、はすした目をかぶせます。

つまり靴下を平らに置いて見て両側四ヶ所で正しく目が減つて居ればよろしいので、これを一段置きにくり返へして全體で十二の目になりまししたら止めます。

爪先の止め方

糸を七八寸ばかり残して切り太い縫ひ針に通します。十二の目は二本の針に渡し、先づ手前の針の第一の目に表あみをあむ時のやうに通し目をはずし、第二の目に裏あみの時のやうに針を通し、そのまゝ針の第一の目に裏あみのやうに通し目をはずし、第二の目には表あみのやうに通し、目ははずさず、又手前の編針の第三の目に通します。斯うして終りまで同じ事をくり返へし止めてしまひます。

寢床用足袋



子供靴下

材料 白毛糸 二巻。

鉤針 四番。

編方 短編。

くさり編二十四を作ります。

第一段 くさりあみの目一つに短編をする。

第二段 短編の目を拾ふ。(目を拾ふ時いつも向ふ側の

一本だけの糸をすくふやうにいたします。こ

れをスリツパー スチツチと申します。)

スリツパー スチツチを八畝(二段を二畝と數へ)編

み、くさり二十四をあみ足し、九畝してから二十四の

目は残し置き、他の二十四目を八畝あみ、うしろでつ

ぎ合せます。

底のまはりは、いちく目を拾つて、普通の短編で

十三段あみます。

足袋の上部は短編五十六を九廻り一番上の段は「短



男子用スリツパ



寢床用ピタ

編一つ、くさりあみ二つ、針に糸を三度かけ、短編と同じ目に入れ、わなを二つづゝくゝらせる。」
の印の中のやうにくり返へせば終るのです。

男子用スリツパー

材料 濃海老茶毛糸二巻

鉤針 九番

足袋底 一對

編み方 スリツパースチツチ

編目十一は二時に相當す。

編目五段は一時に相當す。

注意

くさりあみを九つ作ります。

第一段 くさりあみ一目置いて、短あみを七つ、次の目には三つ、同じくさりの反対側に短編七つ。各

段の終りには必ずくさりあみを一つする。

第二段 一目毎に一目づゝ入れる。

第三段 短あみ八つ、次の目には三つ、又八つ。

第四段 第二段と同じ。

右のやうに一段置きに真中で目を増し、十三畝編みます。次の段では十四目あみ、裏返へし、くさり一つ、これを十六段。十七段目からは十九目になるまで一段置きに一目づゝ増し、そのまゝを十段あみ

ます、それから増した時と同じやうに十四目になるまで減し、十六段あみ、つぎ合せます。

長あみ一つ、くさりあみ一つ、二目置いて長あみ一つ、これを一廻りあみ、次の段で「短あみ一つ、長あみ三つ、くさりあみの中に短あみ一つ、くさりあみ一つ。」をくり返へして糸を止めます。

紐のつくり方

くさを二十七時編み、短あみであみ返へしその両端に房をつけます。

房のつくり方

二吋巾の厚紙に毛糸を六度巻いたものを、紐の端に通し、二つに折りかたく結へるのであります。

底のつけ方

底は靴屋に注文して作らせれば結構ですが、普通は足袋底で間に合えます。底をつける時は裏側から針で、こまかにかゝるやうにして、なるべくしつかり縫ひつけます。

婦人用スリツパー

材料

濃ねすみ毛糸二巻。
赤海老茶毛糸一卷。
棒針一對、十三番、鉤針三番。
深紅リボン、三ヤール半。
底 一組。

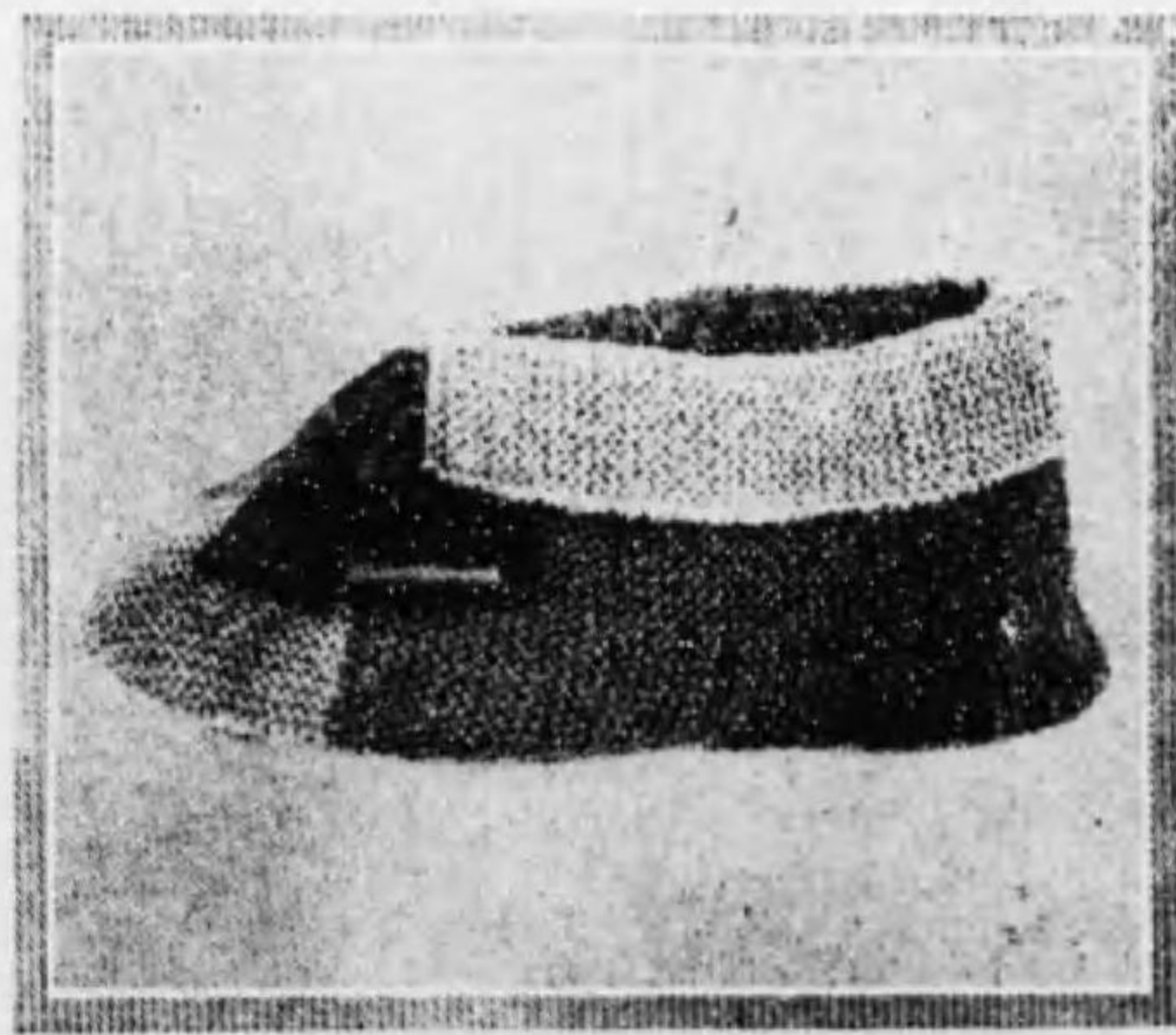
編み方

普通あみ。(表あみと裏あみを交互一段づゝ。)

注意

編目十五は二時に相當す。編目十五段は二時に相當す。
赤海老茶毛糸で二十四の目を作り、四十八段あみ、濃ねすみに變へ二百十段あみ糸を切ります。海老茶色の四角の一端に縫ひ合せます。

スリツパーの上部にあたるところは二畝毎に、長あみ一つづゝ(長あみと長あみの間はくさり一つ)一廻り編み糸を切るのです。



婦人用スリッパ

スカーフ 五種

1 デレーンスカーフ 材料

濃色毛糸四巻。
薄色毛糸一卷。

注意

編目五つは一時に相當す。編目八段は一時に相當す。
濃色で五十の目を作り次の順序であみます。

第一段 表あみ四つ、裏あみ一つ、表あみ五つ、裏あみ一つ、表あみ四つ、裏あみ一つ、「」の印の中
のやうにくり返へし、表あみ五つ、裏あみ一つ、表あみ四つで終る。

第二段 表あみ五つ、「」裏あみ二つ、表あみ一つ、裏あみ二つ、表あみ六つ。「」の印の中のやうにくり
返へし、裏あみ二つ表あみ一つ、裏あみ二つ、表あみ五つで終る。

右の順で二時半あみ薄色に變へ、二段あみ、濃色で六段、薄色四段、濃色六段、薄色六段、濃色六段
薄色四段、濃色四段、薄色二段、次は濃色ばかりで全體の長さ三十時になるまであみます。これだけが



デレーンスカーフ

注意

編目六つは一時に相當す、編目十二段は一時に相當す。
孔雀色の毛糸で五十四の目をつくり、普通に四時編み、ふちの模様を次のやうにして始めます。
孔雀色で六つ、白で六つを交るく一段あみ、これを十二段色をどり變へて又十二段、全體で五つの

スカーフの半分になるのですから、他の半分も同じやうにしてあめばよろしいのであります。
房のつくり方
糸を十二時位の長さに切り、二目に置きに濃淡二色の糸を二本づつ通して結んで置きます。

2 チエツカース スカーフ

材料 孔雀色毛糸四卷。

白毛糸二卷。

棒針一對、四番半。

模様が出来ましたら孔雀色ばかりで十七時半編み、スカーフの半分となし、他の半分も前と同じやうにいたします。

房のつくり方

二色の糸を五時巾のあつ紙に巻きつけて切り、各色二本づつの糸を一目置きに通して結びます。

3 レインボー スカーフ

材料

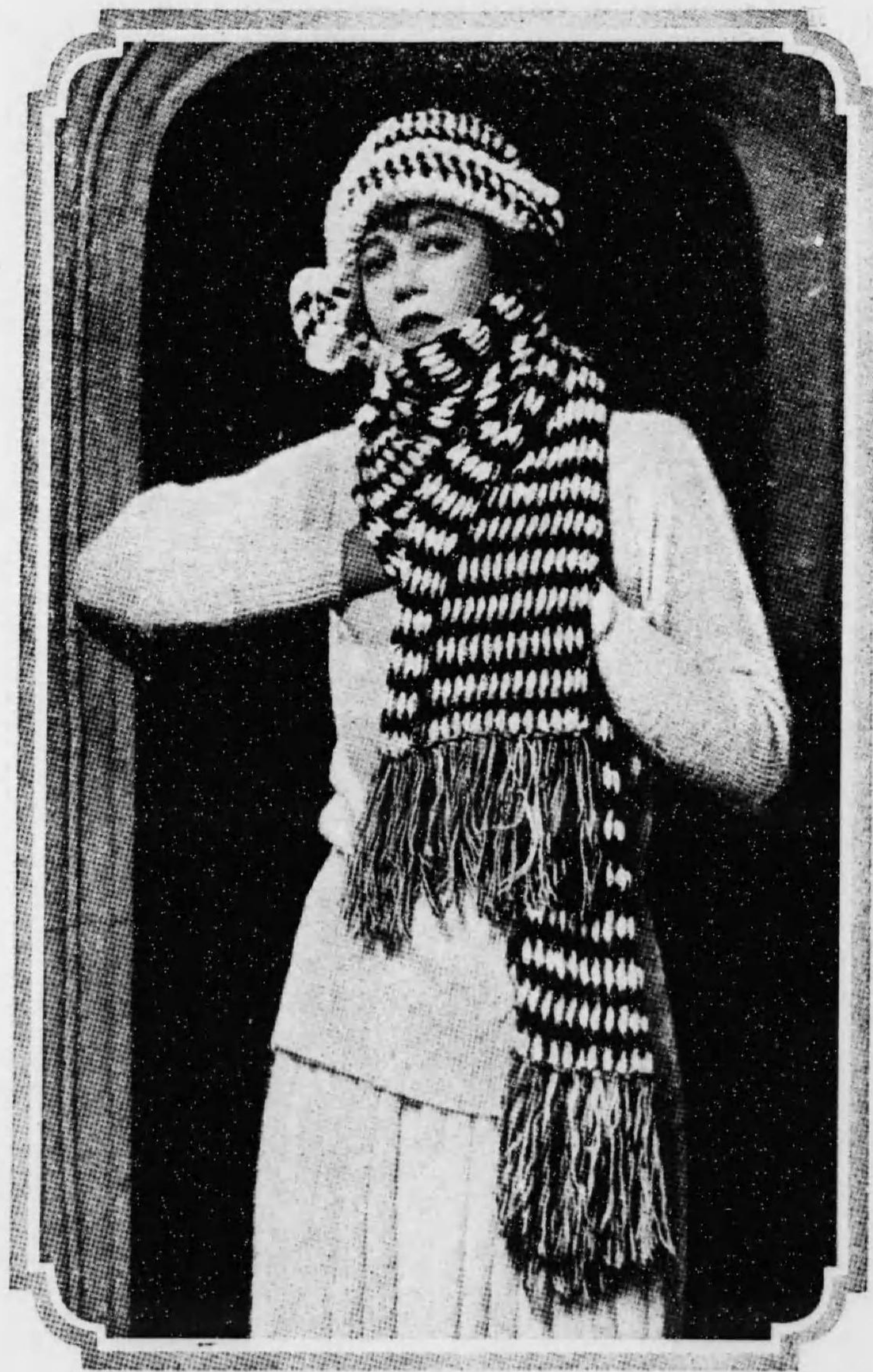
編み方

注意

六色の毛糸各一卷。
棒針一對、六番半。
普通



チエッカーズ スカーフ



ビーンステッチ スカーフ

編目四つは一時に相當す。編目六段は一時に相當す。
 レインボースカーフの一番肝心な事は六色を虹色に工合よく使ふ事でありませう。
 先づ第一色で二百八の目を
 つくり十二段、第二色で
 十二段、第三色で十二段、
 第四色で十二段、第五色で
 十二段、第六色で六段、こ
 れがスカーフの半分になり
 ますから、残り半分も前の
 やうにくり返へせばよろし
 いのです。
 房のつくり方
 毛糸を十二時の長さに切
 り同じ色を二本づつ一目置きに通し結びます、つまり房も六色にいたすのであります。
 4 ビーンステッチ スカーフ 材料 黒毛糸二巻。



レインボー スカーフ

白毛糸二巻
鉤針五番

黒の毛糸で九十八の目をつくり次のやうにして一段あみ、白と變へ、一段、黒白を交互に一段づゝ二ヤールしたら房をつけます。

第一段 くさり編の始めの目から二番目に針を入れ、わなを一つ作り、糸をかけ同じ目に入れわなをつくり、糸をかけ、又同じ目に入れ、都合六つのわなを一緒に引きしめ、くさり編一つ、一目置いて又同じ事をくり返へします。これをピーンスチツチと申して居ります。

5 マルドン スカーフ 材料 白毛糸十四巻

深紅毛糸一巻

棒針一對、五番

白の毛糸で百八十の目をつくります。

第一段 全部表あみ。

第二段 表あみ二つ、他は裏あみ、表あみ二つで終る。

ニヤール四分の一編みしたら糸を止め、縦に折り、両端と共に縫ひます。

深紅の毛糸で玉をつくり圖のやうに両面へつけます。(玉のつくり方はマルドントムを参照。)



マルドンスカーフ及タム

帽 子 二種

1 デヴォーハット 材料

白毛糸二巻

黒毛糸五巻

鉤針四番

針金三十六吋

白の毛糸を二本にして、くさりあみ二つ、第一の目に短あみ二つ、くさり一つ、裏返へし、各段の始

めの目で一つづつ増しながら十七目になるまで編んでは返へし、返へしては編み三角形をつくりまします。
この三角形を白と黒で三枚づつ編み、二色を交互に縫ひ合せ中央のところで、しつかり引きしめまします。
これを帽子の頂上となし、次は黒糸でその周囲を四寸編み、(この時同じ糸を二本にしたものを心に入れながら、編むのです。心止め短編を一段いたします。裏返へして三つ目毎に目を増し、五十四目となし、裏返へし、五十四目をあみ、つづけて頂上の方の目を十あみ、(三つ目毎に増しながら)裏返へし、前のやうに増しながら両端で十づつどり、最後にすつかりの目を拾つてしまふと百四十四になります。裏返へし短あみ八つ、返へし、一段毎に初めの目を一つづつ最後の一目になるまで減し三角形となし止めます。斯ういふ風に白と黒との三角形を交るゝぐるりとつくり手奇麗に縫ひ合せ、針金を外の周囲に心としながら白で短あみ一段して終ります。

2 マルドングム 材

料

白毛糸二巻。

深紅毛糸一卷。

棒針各一對、三番半、五番。

編み方

表あみ一段、裏あみ一段を交互にする。

注意

編目五つが一時に相當す。編目八段が一時に相當す。
五番の針で八つの目をつくりまします。

第一段 各目で一つづつ増す。

第二段 平らに編む。

第三段 「表あみ一つ、次の目で一目増し。」の印の中のやうにくり返へす。

第四段 第二段と同じ。

第五段 第三段と同じ。

第六、第七段 平らに。

第八段 表あみ一つ、「裏あみ二つ、次の目で一目増し。」裏あみ一つ、表あみ一つ。

第九、第十段 平らに。

第十一段 表あみ一つ、「表あみ三つ、次の目で一目増し。」表目二つ。

第十二、第十三段 平らに。

第十四段 表あみ一つ、「裏あみ四つ、次の目で一目増し。」裏あみ一つ、表あみ一つ。

右のやうにつづけて、三段目毎に目を増し、増し目と増し目の間が十六目になりましたら、増した時のやうにして、目を減し、減し目と減し目の間が九目になればよろしいのです。次の段は五六番目

を一緒にあんで減します。毛糸を一本足し、三番半の針に變へ、表あみ一つ、裏あみ一つを一寸編み糸を止めます。中央をかたく引きしめ、縫ひ合せ、圖のやうに玉の飾りをつけるのです。

玉飾りのつくり方
深紅の毛糸一ヤール半を四十本あつめ、一寸半づつに切り真中を出るだけ強く括ります。

男子用スカーフ 三種

1 圖の左から二番目 材料 駱駝毛糸ネヴェーブリュー五卷。

同 赤一卷。

棒針一對、三番半。

ブリューの毛糸で、五十三の目をつくり、二十六段平らにあみ、赤と變へ二段あみます。

第一第三段 「表あみ三つ、裏あみ七つ。」表あみ三つ。

第二第四段 「裏あみ三つ、表あみ七つ。」裏あみ三つ。

第五第七段 裏あみ五つ、「表あみ三つ、裏あみ七つ。」表あみ三つ、裏あみ五つ。

第六第八段 表あみ五つ、裏あみ三つ、「表あみ七つ、裏あみ三つ。」表あみ五つ。

以上を第一段からもう一回くり返へし、ブリューと變へ、十八段平らにあみ、赤で模様を入れ、ブリ

ューを三十四時あみ又赤の模様を入れます。
房のつくり方

毛糸を六時に切り、ブリュー二本、赤一本づつを、スカーフの兩端に、一目置きに通し、結んで置きます。

2 圖の左から三番目 材料 駱駝毛糸クリーム色五卷。

同 褐色一卷。

棒針一對、三番半。

クリーム色の毛糸で五十四の目をつくり、三時平らに編み褐色と變へます。

第一段 「表あみ一つ、一つはづす」をくり返へす。

第二段 全部表あみ。

第三段 クリーム色と變へ、「一つはづし、表あみ一つ。」

第四段 全部表あみ。

第一段から第四段までを四度くり返へし、クリーム色ばかりで十六段平らにあみ、模様を三回入れ
クリーム色で三時平らに、又模様をあみ入れ、房をいつものやうにつくつて通します。

3 圖の左から三番目

材料 駱駝毛糸赤四巻。

同ネヴェーブリュー

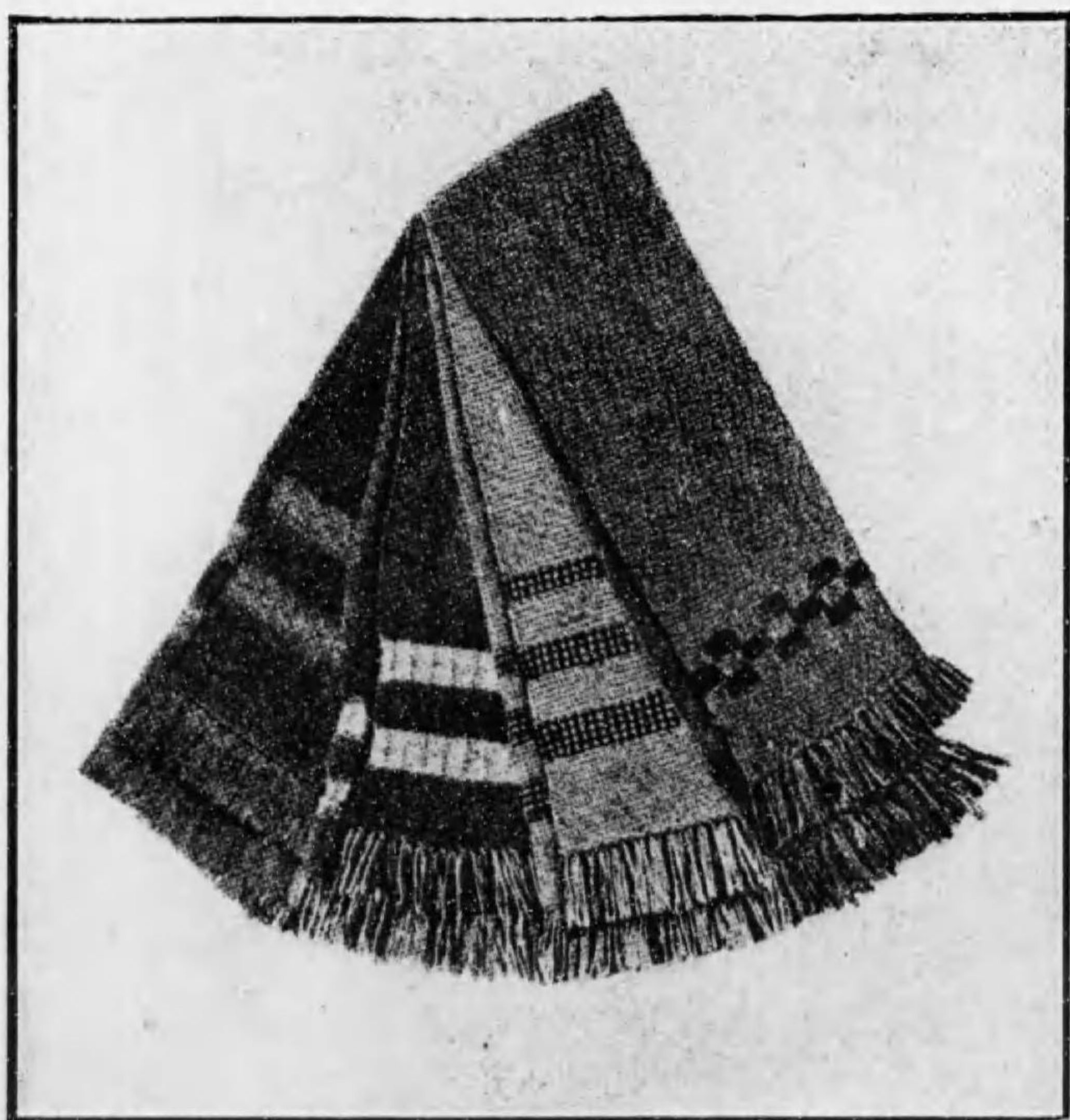
一卷。

棒針一對、三番半。

赤の毛糸で四十九の目を作り、三吋平らにあみ市松模様を次のやうにして入れます。(基礎編第七圖参照)
赤で表あみ七つ、ブリュー七つを交互に十段あみ十一段目にブリューから始めて、やはり十段、赤で三十八吋平らにあみ、模様を入れ、房をつけるのあります。

ヘビーージャケット 三種

1 コレツテチャケット



男児用 スカーフ

材料 白毛糸二巻。

ピンク毛糸一卷。

鉤針三番半。

注意

模様五つは二吋に相當す。十段は二吋に相當す。

白の毛糸で鎖あみ五十三、その上に五十一の長あみを入れ、くさり三つして裏返へします。第二段目は、「三つ目と四つ目の間に短あみを入れ、くさり三つ。」をつづけます。これをすつとくり返へしますと、くさりの上に三つ長あみの出來た角形の模様が出來る事になります。

長あみが十九段になりましたら、肩のどこを模様六つとして、五段あみ、頸で模様を三つ増し、後身と同じ長さにあみます。

模様五つだけを襟あきとして残し、片方の前身をあみます、ピンクの毛糸でチャケットのまはりをつかり短あみし、あき間には、くさり三つ入れます。その上を白で角々に目を増しながらあみ、ピンクでくさりあみをし、白で三角形を二段あみます。

袖

裾から數へて十三番目の模様のところから白糸でくさりあみの段をはじめ、模様十五の長さだけつゞ

けます、これを八段あみ、あとは身頃のやうにふちをとりま
仕上り

ぐるり全體をピンクの毛糸で次のやうな飾りあみをいたしま
す。

鎖四つ二番目のくさりの巾にどめ、鎖一つ短あみ一つをあき
間に入れる。

飾り玉

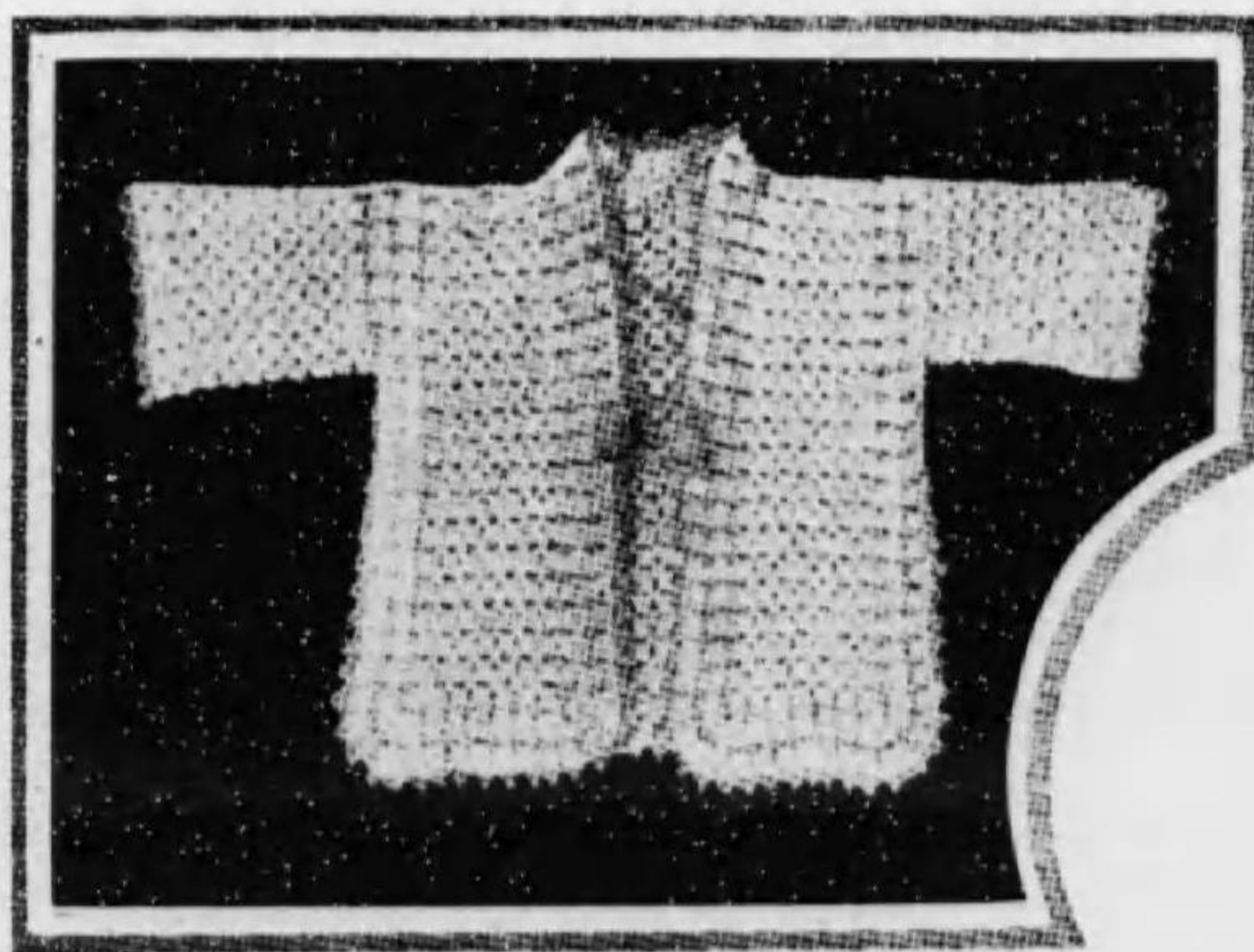
ピンクの糸で鎖四つ作り輪にいたします、その巾に長あみ十
入れ、そのぐるりを短あみで四段次の段は二目づゝ一緒にわな
を一つづゝ引き抜きながらあみ、すつかりのわなを一時にひき
しめて玉をつくるのです、これを二つ作り、鎖十でつなぎます。

2 バベツテチャケット 材料 白毛糸二巻。

ピンク毛糸一巻。

鉤針三番、棒針一對五番。

ピンクリボンニヤール、三番。



コレツテチャケット

編方

普通。

注意

編目六つは一時に相当す。編目十段は一時に相当す
白の毛糸で六十四の目をつくり二段あみまします。

第三段 「表あみ四つ、針に糸をかけ二目一緒、表あみ
四つ。」

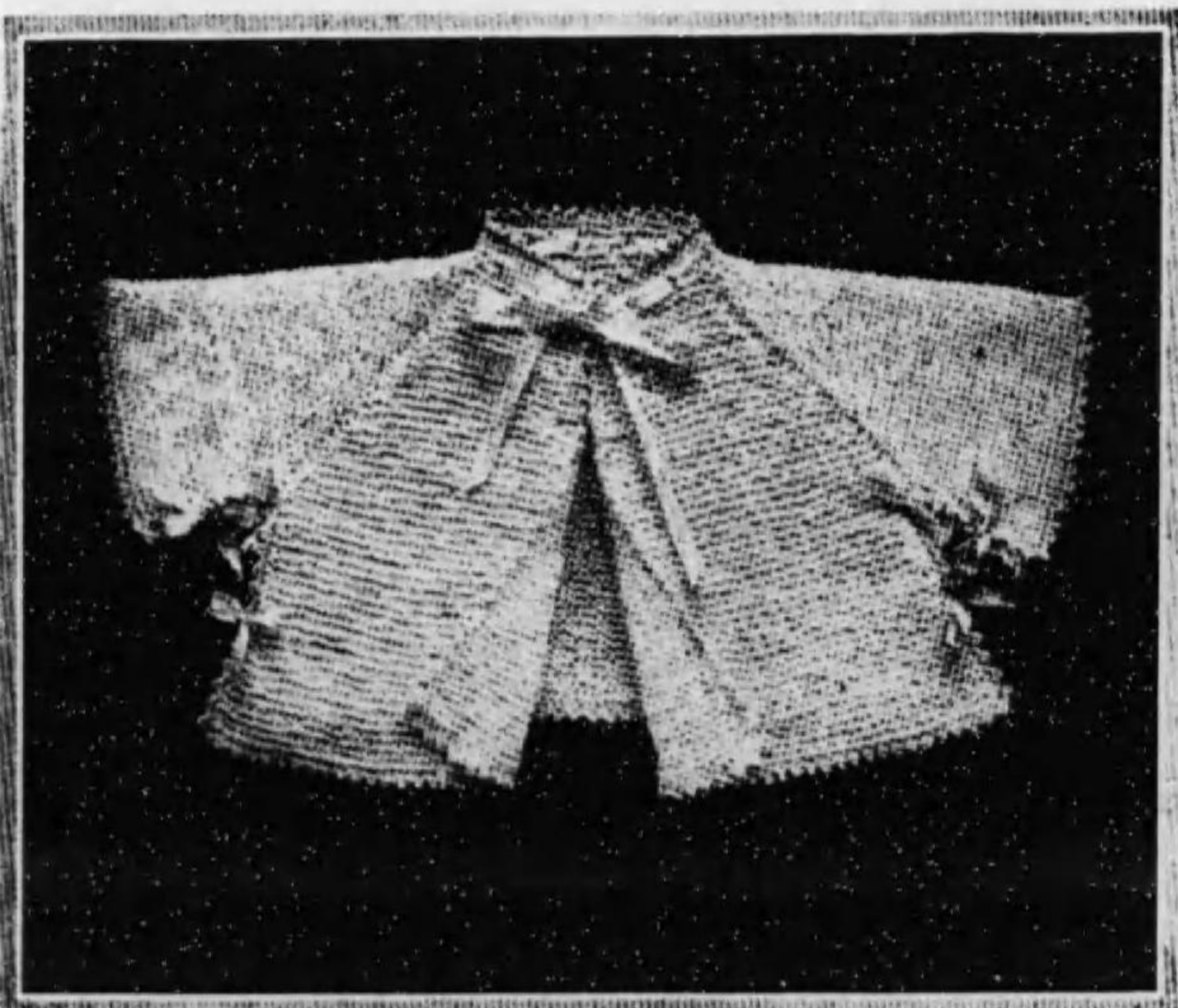
第四段 わなも目も全部編む。

第五第六段 平らに編む。

第七段 二段目毎に、第十五目、二十目、四十四目、五
十目で二つづゝ増し、(これは袖のための増目)
五寸になるまであみます。

十六の目を「五段平らにあみ、他の目は別の棒にと
り置く」六段目には脇下から三番目に一目増し、これを四寸くり返へし糸を止めま
す。

残し置いた目から十六だけどり、前と同じやうな型につくりま
す。五十六目を棒からどり六段目毎に兩



バベツテチャケット

端で一目づゝ増し三吋あみ糸を止めます。七十目を脊とし、棒からとり袖と同じやうに目を増します。ふち飾り

第一段 鈎針を使ひピンクの糸でチヤケツトのぐるりをすつと短あみ。(角々には二目づゝ入れる。)

第二段 「鎖三つ、最後の目に短あみ、短あみ二つ。」をくり返へします。

リボンを圖のやうにつけて終ります。

3 ゲンドリンチヤケツト 材料 白毛糸四巻。

水色毛糸一巻。

鈎針三番。

リボン、一ヤール、三番。

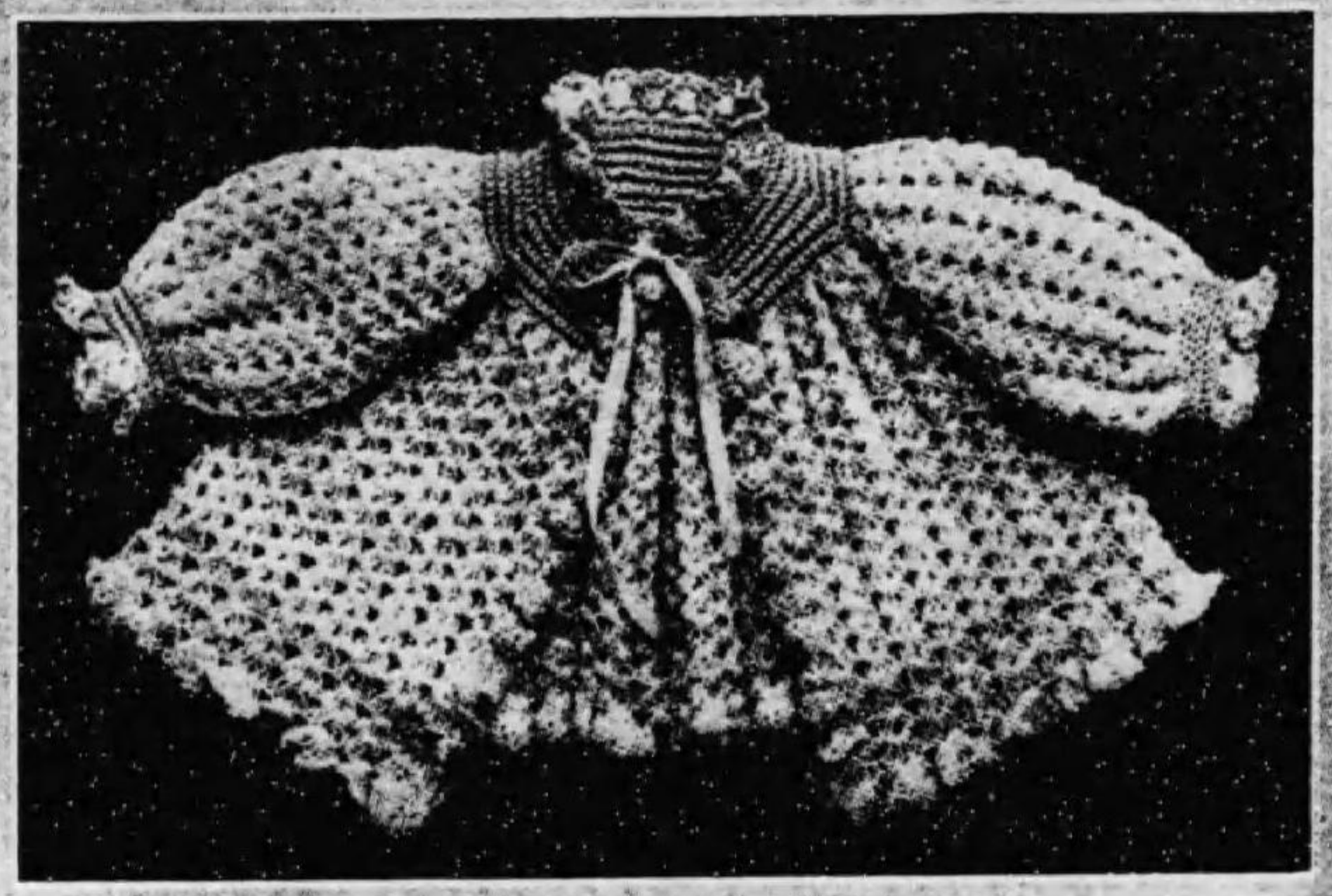
注意

編目五つは一時に相當す。編目八段は一時に相當す。

肩まはり

水色の毛糸で鎖七十二をつくり四段平らにあみます。(編み方はスリツバースチツチ。第五段目で十五目編み次の目で一つ増し、三つあみ、一つ増し、三十一あみ、一つ増し、三つあみ、一つ増し、十五あみます、斯うしてつゞけて増します。十五目づゝを前身とし、三十一目を脊とし、肩のところで増して

ゆき、増目が二十一になりましたら糸を止めます。



ゲンドリン チヤゲット

胴

白の毛糸に變へシエルスチツチですつとあんでゆきます。シエルスチツチは同じ目に、長みつ二つ、鎖一つ、長あみ二つをあみ一目置いて短あみでどめ、次の目にまた長あみを入れるのであります、このシエルを六つ作りましたら、鎖あみ二十四、二十一目とんで後身のところで、二目置きにシエルスチツチをあみ、くさりあみ二十四、二十一目とんでシエル六つ、裏返へし鎖二つ、(裏返へす時はいつも鎖二つあむ)下の段の鎖の中にシエルを入れます、これを十四段平らにあみ水色を一段、白一段、水色一段して糸をどめます。

頸のところは水色で、長あみ一つ、鎖一つ。」を二目置きにあみます

胴の下は「長あみ三つ、鎖一つ、長あみ三つ。」のシエルスチツチ。その上に鎖二つ短あみ一つのピコを

つけます。

くさりの中央からはじめてぐるりとシエルを十六段だけあみその上に短あみを一段いたします。短あみ二つ、一つ減す。」と一段して、水色に變へスリツパーズチツチを六段あみ糸をとめ、白でシエル一段水色でピコ糸をとめます。

ベビーフード 二種

その一 材料 白毛糸一卷、
鉤針二番。

第一段 毛糸を二本にして鎖あみ三つ、輪にしてその巾

に短あみ六つ入れる。

第二段 一目二つづゝ短あみする。

第三段 一目に二つ、次の目に一つ、次は二つ、をぐる

りとあみますと六角になる。

第四段 始めの二目に一つづゝ、次の目に二つ、次の二

目は一つづゝ。」



ベビーフード 1

右のやうにあんで増目と増目の間が十九目になりましたら、六片のうち一片だけを四段短あみいたします。これは後頭部になるのです。残りの五片を次のやうにしてあみます。

第一段 始めの三つには短あみ一つづゝ、次の目には短あみ三つ、三つの目に一つづゝ、三つ目をとばし、三つの目に一つづゝ、をくり返へし、鎖一つ、裏返へす。

第二段 一目とばし、三つの目に一つづゝ、次の目に三つ、三つの目に一つづゝ、二目とばす、をくり返へし、鎖一つ、裏返へす。

第一段 と第二段とをくり返へし、三十六段になりましたら、糸をとめリボンの飾りをつけます。

その二 材料 白毛糸一卷、

ピンク毛糸一卷、

棒針一對、三番半、

リボン一ヤール。二番。

編方

表あみ一つ、裏あみ一つ。

注意

七目は一時に相當す、七段は一時に相當す。

白の毛糸で五十七の目を作り、凡そ十一インチあみします。糸をどめ、四角の一片だけを白の毛糸で七十二目拾ひ、表あみ二つ、裏あみ二つを五段あみ次はリボン通しのあなを「二目あんで針に糸をかけ二目一緒に。」つくります。それから表あみ二つ、裏あみ二つを五段くり返へし、ピンクの毛糸に變へ平らに二十四段表あみをいたします。これが帽子のうしろになるのであります。

白の毛糸で他の一片七十二目を拾ひ、表あみ二つ、裏あみ二つを十一段あみ、ピンクの毛糸に變へ、表あみを三十六段いたします、これが帽子の前になります。両側は引きしめ、ふちのあいて居るところを縫ひ合せます。

玉飾り

各色を一本づつ二吋巾の厚紙に百廻巻き、真中を強くくり、すつかり刈り込み、帽子の両端につけます。

シャツ

赤坊用 材料

白毛糸一卷。

棒針一組、一番。

小ボタン四つ。

うしろ身

五十二の目を作り、表あみにて七吋あみ、それから十三目あんで、頸にあたる十六目はどめます。兩端の十三目づつが前身となるのであります。

前身

十三目を表あみ六段、八目胸のところで増し、三吋半あみ別の棒につて置きます。他の十三目も前と同じやうにあみ、兩方を一緒にして、真中で六目増し四十二段あみゆるくどめます。

袖

肩の兩側から二十二目づつ拾ひ、五十二段あみ、表あみ二つ、裏あみ二つを十二段して糸をどめます。

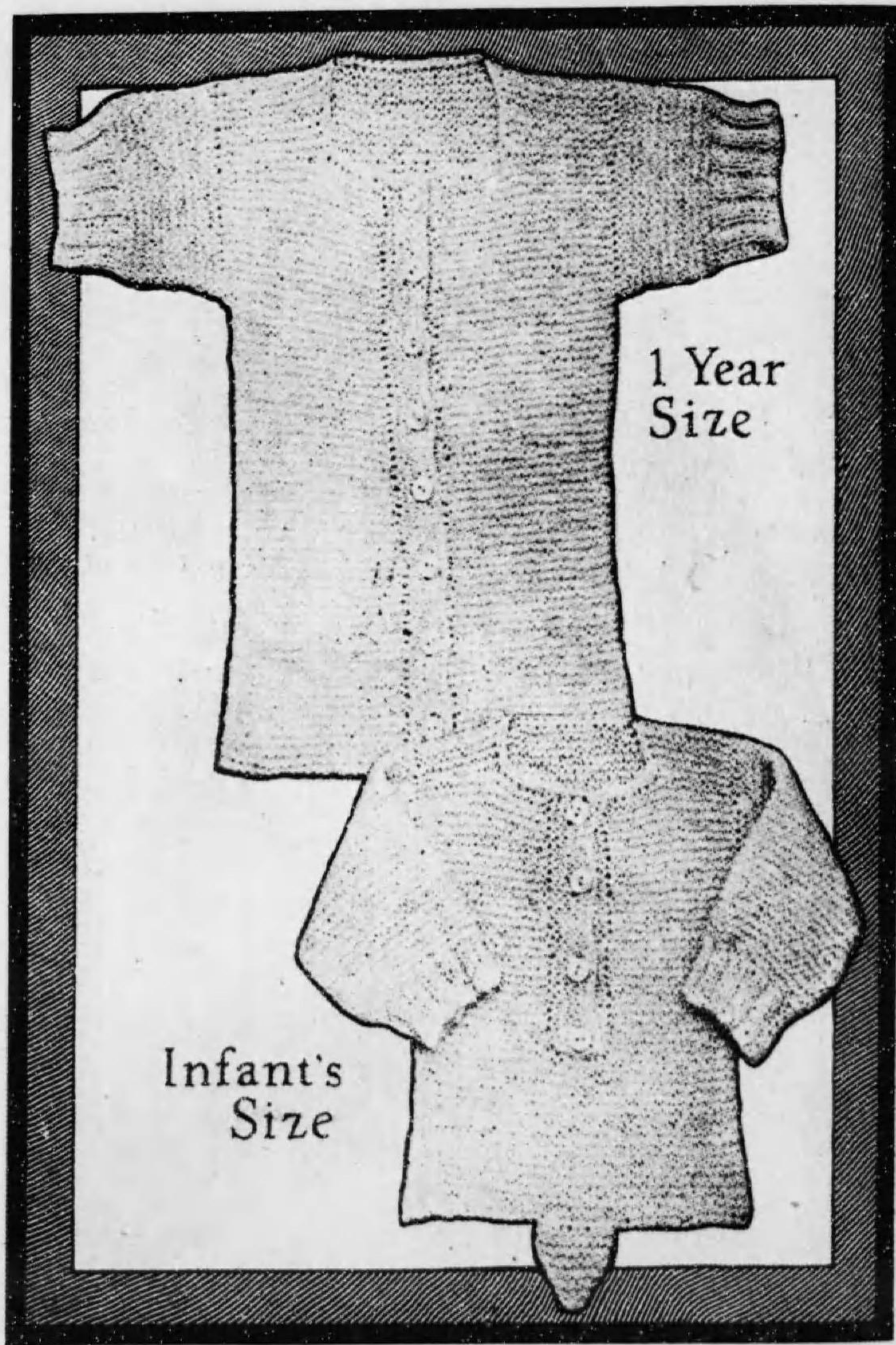
バンド

右の前身の目を拾ひ四段あみ、次の段で表あみ二つ「一目どめ表あみ七つ」をくり返へし、ボタン穴四つをつくるのであります。左側の方もボタン穴なしで同じやうにあみまします。

タブ



ベビーフット 2



一、二歳用シャツ 赤坊用シャツ

前身と後身の真中から十目づゝ拾ひ毛糸を二重にして八段あみ両端で一目づゝ一段置きに減し、四目残して糸をどめます。
 頸まはり短あみ一段だけいたせばよろしいのです。

一二歳用シャツ (短袖)

材料 白毛糸二巻。

棒針一組一番。

小ボタン八つ。

うしろ身

五十六の目をつくり七十六畝(二段が一畝)平らにあみ、次の段で十五目あみ、二十目を頸としてどめてしまひます。十五目づゝが前身となるのであります。

前身

六畝平らにあみ、前で十目増し、七十畝あみ、ゆるくとめます。これと同じやうに他の側も編む。

バンド

前身の右側の目をすつかり拾ひ、二畝あみ、次の段では七目毎に一目づゝとめてボタン穴をつくり

つ、表二つ、裏二つ、表二つ、裏二つ、表二つ、裏二つ、表四つ。

第二段

表六つ、裏二つ、表二つ、裏二つ、表二つ、裏二つ、表十、裏二つ、表二つ、裏二つ、表二つ、裏二つ、表二つ、裏二つ、表二つ、裏二つ、表六つ。

以上、二段をもう二十四段あみ、それから三畝平らにあみまます。

甲

表あみ三十一、(残りの十九目は他の棒にとり置き)それから十二目まであみ返へし、十九目は他の棒にとり、十二目だけを十畝あみまます。次に各段の始めに一目づゝ減し、四畝して八目だけ残します。

爪

先

甲の右側の目を十二拾ひ、爪先の方にあんでゆき、甲の左側の目も(十二目)拾ひ、前に残して置いた目と一緒にして、(全體で七十目)六畝あみ糸をどめまます。底を縫ひつけ、もう一本同じものをつくり二本をあみ合せまます。

リボンのゴム紐を腰のところに通して終るのであります。

ニーレギングス 一三三歳用

材料

白毛糸四巻、棒針一組四番。

膝

六十目作り、表あみ二つ、裏あみ二つを交互に十五段あみ、紐通しの穴を次のやうにしてつくりまます。表あみ二つ、針に糸を二度かけ、二目一緒に、表あみ二つ、をくり返へしまます。

次の段では、針にかけたわなも一目として三十六目あみ、裏返へし、表あみ十二、裏返へし、表あみ十三、裏返へし、十四、斯ういふ風に一目づゝ増して六十目揃ひましたら、二十八畝平らにあみ、次のやうにしてケーブルスチツチをあみ入れまます。

第一段 表あみ四つ、裏あみ四つ、表九つ、裏四つ、表十六、裏四つ、表九つ、裏四つ、表四つ。

第二段 表あみ三つ、裏あみ一つ、表四つ、裏九つ、表四つ、裏一つ、表十四、裏一つ、表四つ、裏九つ、表四つ、裏一つ、表三つ。

第三段 表あみ四つ、裏あみ四つ、次の三つは別の針にてゆるくあみ、又もとの針にて表あみ六つ、それから別にとつて置いた、三つの目をあみ、裏あみ四つ、表あみ四つ、ケーブルスチツチだけをくり返へし、裏あみ四つ、表あみ四つ。

第一段と第二段とを九回くり返へし、それから第三段をあみまます。右のやうにつゞけて、前部の真中

甲 二十六畝出来ればよろしいのです。

真中の目十四を十畝あんでから、他の目も全部拾ひ、五畝あみ、糸をとめ。ゴム紐二吋を圖のやうに底に縫ひつけます。

子供用防寒具 三セット

1 キヤツプ 材料

クリーム色毛糸五巻
鉤針 六番。

第一段 鎖三つを輪になし、その中に短あみを七つ入れます。次の段から編んでは返へり編んでは返へるので決してつゞけてぐるりとはあみません。

第二段 一目毎に二つづゝ入れる。

第三段 「短あみ一つ、次の目に二つ、」をくり返へす。

第四段 「短あみ二つ、次の目には二つ一緒、」をくり返へす。

七角になるやう増しつゞけ、直径七吋になりましたら次のやうにボブコーンスチツチをいたします。一廻りは短編で平らに、次は七片のうち各一片づゝの間にボブコーンを一つづゝ入れます。このスチ



幼児股引ミニレギングス

ツチはいつも裏側からあむので、普通あみは表側からいたします。裏返へす時は必ず鎖一つをあみま

す。
第一段 「二つの短あみの目から、わな一つを引き出し、そのわなから、くさり三つをあみ、三番目の鎖目に針を入れ、わなを引き抜きます、次のポブコーンまで短あみ」をくり返へし、鎖一つして裏返へす。

第二段 短あみばかりをあみます。その時ポブコーンとポブコーンとの間を一目づゝ減します。減す時すぐ一目とばしますと、あながあきますから、やはり目を拾ひ、三つのわなを一緒に引き抜くやうにいたさねばなりません。

第三段 平らにあみ、各ポブコーンの両端でポブコーンを増します。平らに編む時は、必ず減し、角がなくなるまでつゞけてまわります。
バンドの廣さが頭に丁度合ふやうになりましたらポブコーンを二段して終ります。

2マ ツフ

鎖あみを四十作り、ポブコーン一段、平あみ一段を交互にあみ、十八吋したら二つに折り縫ひ合せます、一方の端に裏から始めて、ポブコーン一廻り、裏返へし短あみの段、(五つ目毎に減す)この二段をくり返へして、十吋あみ、最後の段はポブコーンで終るやうにいたします。他の端も同じやうにしてあ



子供用防寒具セット

むのです。

る ス カ ー フ

鎖あみ五十を作り、ポプコーンと平あみを一段づつ交互に三吋あみ、それからポプコーンを一つづつ減し、中央にたぐ一つのポプコーンが残るやうにいたします。(ポプコーンの三角形の模様が出来るわけです) 次はポプコーンの両端で増し、すつかりポプコーンになりましたら、だんぐにポプコーンを減して、三つになし、鎖をあみ、その上に短あみをしてボタンをかけるわなを作ります。

袖なしチャンク

材 料

水色毛糸 二巻

白毛糸 一卷

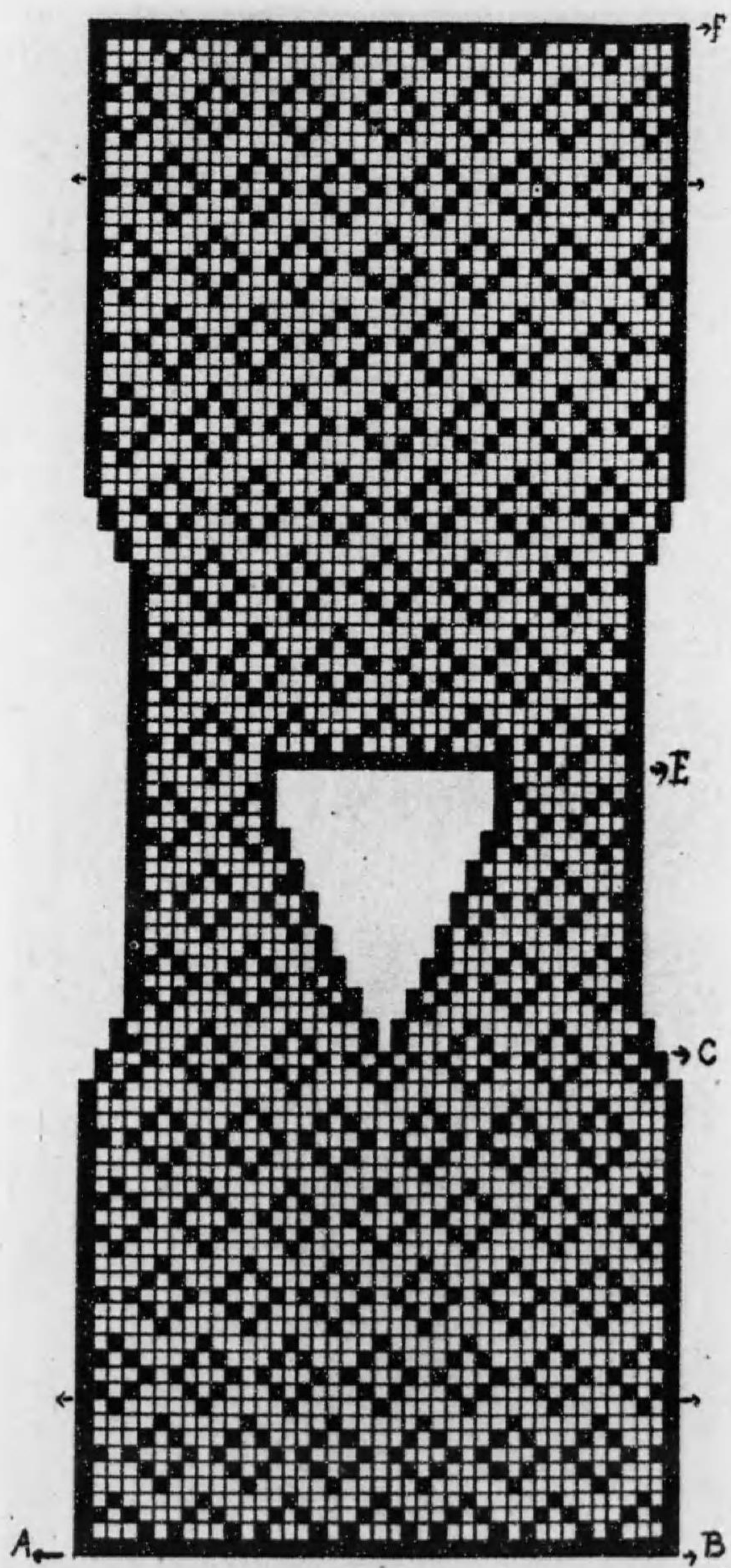
鉤針 一番

前

圖のAからBまでの間はくさり百二十五でボックスは四十一です。圖の通りにCまで編み一方の肩をあみ、鎖あみ四十四、(十五ボックス)を頸とし、他方の肩と一緒にFまであむのです。ふちかざり



袖なしチャンチャン



白の毛糸で頸まはり、短あみとピコとを一段あみします。それから腕まはり及び矢のしるしのついて居るところは短あみとピコ一段、くびまはりど胴の兩側の下には鎖あみの紐と玉とをつけます。

コートとボンネット 四五歳用

材料

- ピンク毛糸 三巻。
- 白毛糸 四巻。
- 棒針各一對 五番、二番、六番。
- 白ボタン 三つ。

うしろ

五番の針を用ひ、白の毛糸を二本にして、百五十の目を作り、三吋普通にあみします。一本の糸を捨てその代りにピンクを加へて一段あみ次の段から模様を入れます。

第一段 表あみ二つ、裏あみ二つ、表あみ四つ、をくり返へし表あみ二つで終る。
第二段 普通にあむ。

第一第二段を交互に八十八段(凡そ九吋)あみします、次の段では、表二つ、裏あみ二つ、表あみ二つ、一緒、又二つ一緒をくり返へし、表あみ二つで終ります。一段普通に、次は「表あみ二つ一緒、裏あみ二つ」をくり返へし、普通あみを十畝、各畝の兩端で一目づ増す事三回、それから兩端に袖のため三八目づ作る。二十五畝普通にあみ、次の段で六十七目あみ、次の二十五目(頸になります)をどめ、六

十七目づつを前身といたします。
前

五畝普通にあみ、十二目胸のところで作り、十六畝普通に、次の段で袖の三十八目をどめまします。それから脇下各段毎に一目づつ三度減し、十畝普通に編みます。脇下から始め、「最初の一目の前後から一目づつとどり、表あみ二つ、」を一段くり返へし、第二段で表あみ二つ、裏あみ二つをくり返へす。
第三段 表あみ四つ、「次の二目の前後から一目づつ、表あみ二つ、」をくり返へし表あみ四つで終る。
第四段 表あみ二つ、「裏あみ二つ、表あみ四つ、」をくり返へし、表あみ二つで終る。
次に模様を後と同じやうに入れ、ふちは糸を二重にいたします。

バンド

六番の針を使い、白の毛糸を二本にして、左の前の目を拾ひ、八畝、普通にあみ、裏から糸をどめまします、右の前も左と同じやうですが、三畝目に次のやうにしてボタンあなを作ります。頸の方からあみ始めて表あみ五つ、「三つとどめ、表あみ十一、」を三つのボタン穴が出来るまでくり返へし、次の段で、前段でどめた三つの目を増します。

カフ

二番の針を使い、白の毛糸を二本にして、手頸のどこの目を拾ひ、十六畝普通にあみ、表側でどめ

ます。

カラ

カフと同じ針と毛糸とで頸まはりの目を(裏から)拾ひ、表あみ十畝糸を表からどめまします。

ボンネット

第一段 ピンクと白の毛糸を二本づつ一緒にして八つの目を作り、各目の前後から目をどります。

第二段 普通にあむ。

第三段 一目置きに増す。

第四段 普通にあむ。

第五段 「裏あみ二つ、次の目は前後から一目づつとどる」をくり返へす。

第六段 普通にあむ。

第七段 「裏あみ二つ、次の二目の前後から一目づつとどり」をくり返へす。

第八段 普通に。

第九段 「裏あみ二つ、次の目で増し、表あみ二つ、次の目で増す」をくり返へす。

普通あみの段と増す段とをつゞけ、(増す時は必ず裏あみ二つの両端でいたします。)中央から端まで四時になりましたら、二畝増し目なしで(裏あみは入れます)編み、裏あみの両端で目を減し、始め、角



コートとボンネット

と角どの間の目が十一になればよろしいのです。

ふち

白糸ばかりを二重にして、裏あみなしで二畝あみ、一畝置きに一目増し、ふちが八畝になりましたら
 両端で十目づつとめ、中央のところだけを十二畝になるまで編み、とめてしまひます。終りに縫ひ合す
 べきところは、縫ひ合せ、帽子用の針金をふちにあて、短あみであみつけます。

圖のやうにリボン飾りをつければよろしいのであります。

パンチングセツト

材料 白毛糸 十五巻

棒針一組 四番。

スエーター

- 第一段 「表あみ二つ、裏あみ二つ。」
- 第二段 「表あみ二つ、裏あみ二つ。」
- 第三段 「裏あみ二つ、表あみ二つ。」
- 第四段 「裏あみ二つ、表あみ二つ。」

六十の目を作り以上四段を三度あみ、それから表あみばかりを六段、六段目の終りに十目作り、十段平らにあみ、模様三段、又十段平らにあみ、二十二目どめ残り、十段あみ、二十目新たに作り、八段平らにあみ、模様を三段入れ、五十段平らにあみ、模様三段、八段平らに、次は二十二目どめ、十段平らにあみ、二十二目つくり、又十段平らにあみ、模様を三段入れ、十段あみ、十目どめ、十四段平らにあみ糸をどめ、肩のところを縫ひ合せます。

五十の目を作り八段目毎に両端で減す事十回、それから全體が八時の長さになるまで平らにあみ、表あみ二つ、裏あみ二つを、二吋あみ、ゆるくどめ、縫ひ合せます。この袖をつける時は縫目が脇下の真下になるやうにいたします。

カラー

五十六の目を作り、十二段平らにあみ、裏あみばかりで一段、平らに六段あみます。次の段は表あみ一つ「二目一緒に、表あみ一つ、その次の段は表あみ一つ、糸を針にかけて表あみ一つ。それから平らに六段あみます。

模様一段、平らに二段あみゆるく糸をどめます。カラーが出来上りましたら、その真中が後身頃の真中になるやうにして縫ひつけます。前身頃には一

吋半位づゝの間を置いてボタン穴をあけねばなりません。

模様

- 第一段 表あみ二つ、裏あみ二つ。
- 第二段 表あみ二つ、裏あみ二つ。
- 第三段 裏あみ二つ、表あみ二つ。
- 第四段 裏あみ二つ、表あみ二つ。

注意

六目が一時に相当し、十一段が一時に相当す。
七十二の目をつくり、表あみ二つ、裏あみ二つを四段あみます。
第五段 「表あみ二つ、裏あみ二つ、表あみ一つ、針に糸を二度かけ、二目一緒に、裏あみ一つ、」をくり返へす。

第六段 「表あみ二つ、裏あみ二つ、表あみ一つ。」

八段平らにあみ、表あみ二つ、裏あみ二つを一段いたします。
普通あみで八目あみしたら裏返へし、又八目裏返へして十六目、裏返へし十六目、裏返へし二十四

目あみます。斯うして残りの目もすつかりあんでしまひます。

六十四段平らにあみます。

模様を一段あみ、それから普通あみで、目数四十四になるまで、各段の始めで一目づゝ減します。表あみ二つ、裏あみ二つを三十六段、普通あみ六段いたします。二十八目あみ裏返へし十二目あみます。十二段平らにつゞけます。

第十三段では第六と第七の目を一緒にあみ減し、次の段は平らに、第十五段に第十三段と同じです。甲とそのまはりの目を拾ひ、十二段平らにあみ、糸をとめます。以上は股引の半分だけですからもう半分を作り、縫ひ合せます。

ガセツト

十二目作り二十六段平らにあみ、糸をとめ、圖のやうに縫ひつけます。

キヤツブ

模様はスエーターと同じです。

七十二の目を作り、六段普通にあみ、一時半模様を入れ、六段普通にあみ、裏あみばかりを一段いたします。表あみ一段、段の終りで一目減します。次に一目あますにそのまゝ針にとり、表あみ一つ、針に糸をかけ、あますに一目とり（裏あみをするやうにして）ます。糸を前に持つてきたまゝ、二目一緒に

表あみ二つの。「印の中のやうに七寸くり返へします。それから「表あみ一つ、裏あみ一つ」を三寸くり返へし（各段の始めで一目づゝ減す）かたく糸をとめ縫ひ合せ、先の方は一緒に引きよせふちに縫ひつけます。房のつくり方
五寸巾の厚紙に、毛糸を五十回巻き、一方の端をかたく結へ、一寸ほどはなして、又結へます。

コートとキヤツブ

(三四歳男児用)

材料

- 白毛糸 六卷
- 白アンゴラ毛糸 八卷
- 針 五番



バンチングセット

木製ボタン型 六個。

コート

このコートは、右袖の手頸からあみ始めるので、編み方は短あみが主になり、六段目毎に、次のやうなボブコートの段を入れるのであります。短あみ一つ、次の目から、わなを引き出しそのわなにくさり三つ、わなを引き抜き、となりの目に短あみ一つ、を一段だけくり返へします。

くさりあみ五十、その上に四十九の短あみをして裏返へし、短あみ五段、ボブコートを一段、をボブコートが五段になるまでくり返へします。次の段になりましたら、五十一の鎖をあみ加へ、前とし、もう一本の糸をつないで後の目五十を作ります。全體で百四十九の目を前と同じやうにあみ、ボブコートを四段、短あみ四段あみます。五段目の時、右前のところで七十二目あみ裏返へし、一目とび、三十五のボブコートスチツチをあみ、頸のところで一目とび、端まで、まつすぐにあみます、手頸から數へて模様十二段になりましたら糸をどめます。

肩のところで五目除いてあとを二吋半だけ模様を入れてあみます、これがコートの真半分になるので、すから、他の半分も同じやうに作りあとで、つぎ合せばよろしいのです。

マチ

前の下端から始めて、(後もその通り)二十一のボブコートスチツチをして裏返へし、一目とび下まで編み、裏返へし、くさり一つ、短あみを端から五つ目まで、をくり返へし、(ボブコートの模様も入れながら)五つの目が残るまであみしたら、糸をどめます。マチは四つとも同じでなければなりません。出来上つてから縫ひ合せるのであります。

パン

左の前の下端から始めて、コートのまはりを全部短あみ、くさり一つ、裏返へし、(角のところは一目に三つあみ入れ)頸の方にあみゆき、また返へり、右の前の下の角でも一目に三つあみ込み、頸のところまでゆき、また返へり、(角では必ず三つ入れる)又ゆき、左側で五つ目をあみ、くさり四つ、四つとび、十目あみ、をくり返へし、ボタン穴を五つ作ります。それからまはりをつづけてあみ、前が六段、下端が十一段になりましたら糸をどめます。

カラ

第一段 頸まはりに、短あみを一目づゝ入れます。
第二段 「短あみ五つ、一目とぶ、」をくり返へす。
第三段 平らにあみませんが、左の方にボタン穴を一つ作ります。

第四段 第二段をくり返へす。

それから平らに四段、アングラ毛糸を二本にしてつなぎ、もう十二段あみます。

カ
フ

カフのまはりは、つなぎ合せてしまはずにカラーの時と同じやうにあめばよろしいのです。
胸の両側のつぎ目のところに、細い皮のベルトを通す、小さい輪を二つ作ります。
木製のボタンには毛糸を編みかぶせ、前の右側につけます。

キ
ヤ
ツ
プ

鎖あみ三つ、輪になし、その中に短あみを十入れ、つなぎ合せず第二段にうつります。

第二段 各目に短あみ二つづゝあむ。

第三段 二目毎に短あみ二つづゝ。

第四段 三目毎に短あみ二つづゝ。

第五段 四つ目毎に短あみ二つづゝあみ入れ、鎖あみ一つ、裏返へし、裏からポプコーンを一段、鎖あ

み一つ、裏返へし、短あみを五段あみます、その時適宜に目を増し、盃形にならないやう注意
いたします。ポプコーン一段、短あみ五段、ポプコーン一段、短あみ二段(増さずに)をあみます。

それからコートのカラーの時のやうに減し、頭のまはりが二十時ほどになりましたら、短あみを、一



コートとキヤツプ

番終りのポプコーンの段から数へて、一時半になるまで平らにあみます。アンゴラ毛糸を二重にして十
二段あみ、とめます。縁はポプコーンの段のところまで、折り返へして置きます。

幼児スリッポバー (二三歳用)

材料 白毛糸 三卷。

ピンク毛糸 一卷。

棒針 一組 三番。

鉤針 一番。

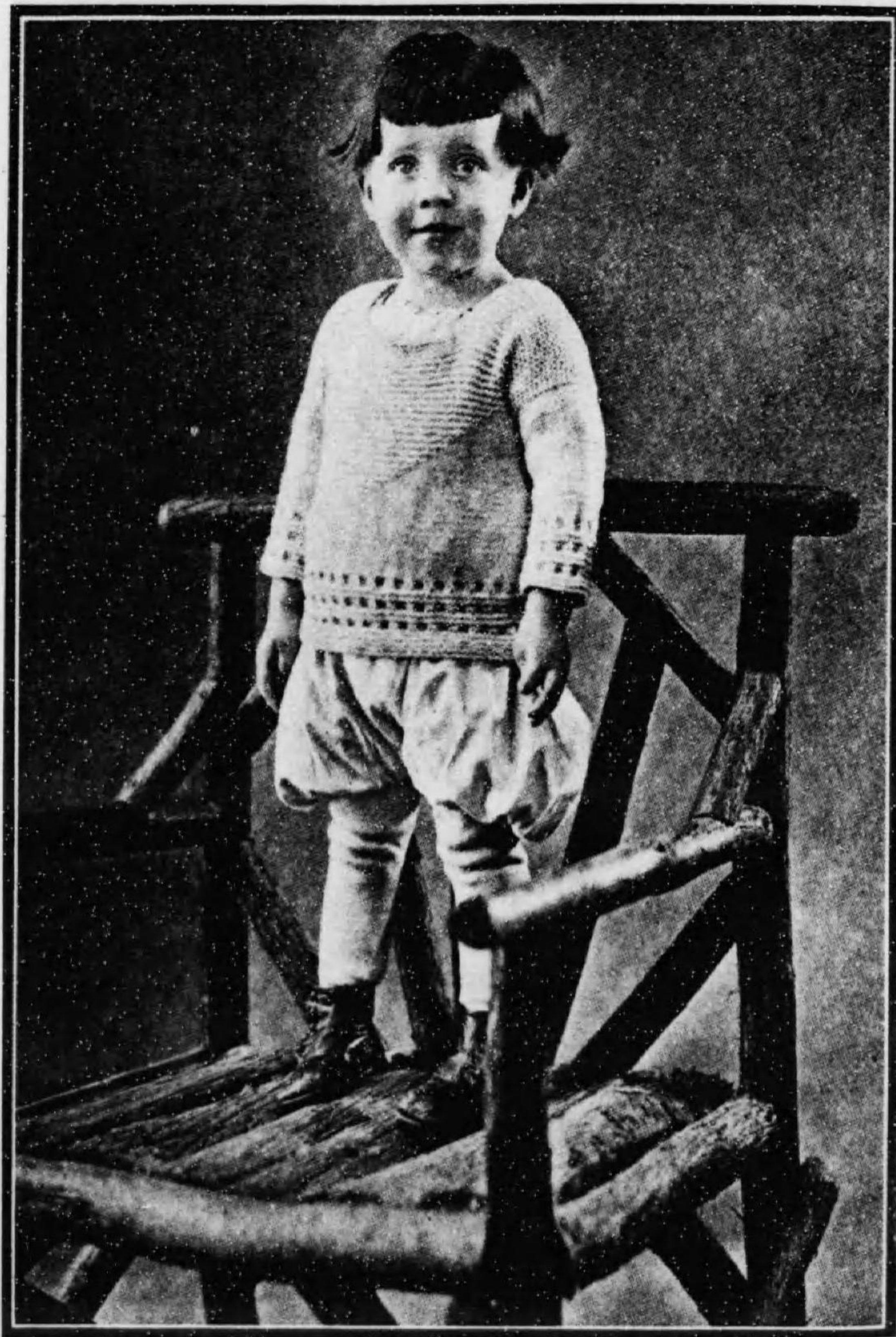
うしろ

白の毛糸で七十八の目を作り、五畝普通にあみ、次の様にして模様を入れます。

第一段 二目そのまゝあまらずに針にとり、「ピンクで表あみ二つ、あまらずに二目とり（白の毛糸）」をくり返へし、白の目を二目だけ、もとの針に残したまゝ裏返へします。

第二段 ピンクでピンクの目を裏あみにし、白の目は二目だけそのまゝ針にとります。ピンクの糸はいつも針の手前にあるやうになります。

第一段と第二段とを、もう一度くり返へしてから、白の毛糸を取り上げ、全體の目を編み、そ



幼児スリッポバー

れから、二畝表あみをつゞけ、模様を二段入れます。ピンクの糸を切り白ばかりで、表あみ一段裏あみ一段を交互に七時編みます。

ヨ
ー
ク

次の裏あみの段のところで、裏あみ三十八、表あみ二つ、裏あみ三十八をいたします。

第二段 全部表あみ。

第三段 裏あみ三十六、表あみ六つ、裏あみ三十六。

第四段 全部表あみ。

第五段 裏あみ三十四、表あみ十、裏あみ三十四。

右のやうに裏目を兩端で二つづゝ減し、すつかりの目が表目ばかりになりましたら、次の段で表あみ二十五、二十八とめ、表あみ二十五いたします。

前

表あみを平らに十二畝あみしましたら他の肩も同じやうにあみ、肩と肩との間に二十八目作ります。それから、裏目の兩端で二目づゝ増して表目をすつかりなくします。表あみ一段、裏あみ一段を後身と合ふまであみ、次に縁をあんで糸をどめます。

袖

兩肩で二十四の目を拾ひ、表あみ一段、裏あみ一段を交互に四時半あみます。ピンクの毛糸で模様を三段入れ、白で二畝あみ糸をどめます。
脇下を縫ひ合せます。
鉤針を使ひピンクの毛糸で頸まはりに、短あみを一段だけいたします。

小兒スリッポオーバー

〔四五歳用〕

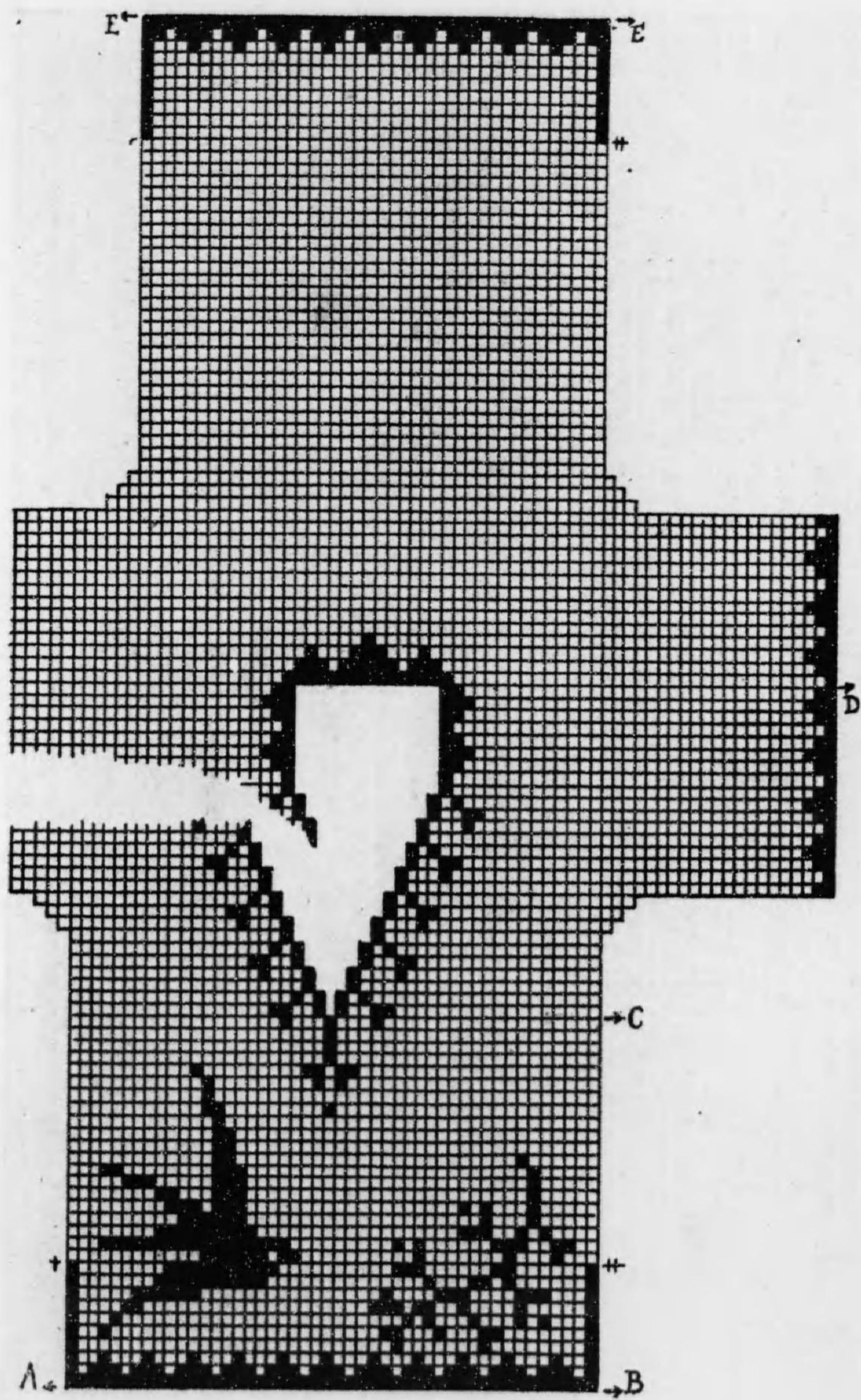
材料 水色毛糸 二巻

鉤針 一番

前

圖のAからBまでは鎖あみ百四十七に、ブロックスを四十七あみ入れたものであります。圖の通りにCまであみしたら、一方の肩と袖とをDまであみます。くさりあみを三十八して頸部とし、他方の肩と袖とを一緒にして、Eまであみます。兩脇はしるしのついて居るところを除き、すつかり縫ひ合せるのであります。

くびまはり、袖口、兩脇のあいて居るところに短あみとピコを一段だけあみつけます。



小兒スリッオーバー圖解



小兒スリッオーバー

フランクリン、スエーター

〔六七歳男児用〕

材料 毛糸 六卷。

棒針 各一對 四番、四番半。

ボタン 七個

注意

編目五つは一時に相當す。七段は一時に相當す。

四番半の針で七十二の目を作ります。

第一段 表あみ十四、「表あみ一つ、裏あみ一つ、」を八つあみ、表あみ二十八、「表あみ一つ、裏あみ一つ、」を八つ、表あみ十四。

第二段 裏あみ十四、「裏あみ一つ、表あみ一つ、」を八つ、裏あみ二十八、「裏あみ一つ、表あみ一つ、」を八つ、裏あみ十四。

以上二段が模様となるので、これをスエーター全體につゞけるのであります。二十四段平らにあみましたら兩脇で十段目毎に一つづゝ三度減し、後が九時半になるまであみつゞけます。それから次のやうにして、ベルトを通すあなをつくりまします。始めの十四の目を十一段あみ、次の八目を十一段、二十八目を

十一段、八目を十一段、十四を十一段あみまします。模様を五時あみ、兩脇で三つづゝ目をどめ、なほ、兩脇で一目づゝ二度減します。そのまゝ四時あみまします、十九目あみ、別の棒にとり、十八目どめます。次の十九目をあみ、これを四段つゞけ頸の方の側で一段毎に一目づゝ八回増します、十二段平らにあみ、袖つけの方で二度一目づゝ増し、次の段で、三目新たに作り、後と同じ長さにあみまします、糸をどめてしまひましたら、他の前の方の目を拾ひ同じやうにしてあみまします。

バンドとカラー

八つ目を作り、スエーターの八つの目と同じ模様で十八時あみ、片側ばかりで、一段毎に一目づゝ増して、二十四の目数になるまでつゞけます。眞直な側から始めて、三つあみ、裏返へし、三つあみまします。次の段では六つあみ、裏返へし六つあみ、その次の段では九つに増します。斯うして、二十四の目をすつかりとつてしまひましたら、平らに三十段あみまします。次の段で二十一あみ、裏返へしてあみかへり、十八あんでかへり、すつかりの目をどつてしまひまします。それから各段の始めで一目づゝ減し、八つの目にいたします。ボタン穴を作り始めまします。二つあみ、三つどめ、三つあみ、三つづゝはなして六つのボタン穴をこしらへまします。

袖

十八目を作り、表あみ一段裏あみ一段を交互にあむので、各段の始めで一目増し、終りで二目作りた

し、五十六の目にいたします、二十二段平らにあみ、六段目毎に、両端で一目づつ、六度減し、六段平らにあみます。四番の針にかへて、表あみ二つ、裏あみ二つを二吋半くりかへします。

べ ル ト
八つの目を作り、バンドと同じあみ方で二十四吋編み、ボタン穴を一つ作り、六段あみ、糸をどめます。ボタンをべルトの片端に縫ひつけ、全體をスエーターの形に縫ひ合せます。カラーとバンドをつけ、壓石を置きます。

ベビーキン、スエーター

〔女児用〕

材 料 白 毛 糸 三卷。

棒 針 一 對 五番。

注 意

編目五つは一時に相當す。五畝は一時に相當す。

五十六の目を作り、表あみ二つ、裏あみ二つを二吋あみ、それから普通に十一吋あみます。十八あみ、別の針にうつして置き、二十目とめ、十八あみ、その目を三畝平らにあみます。十二の目を作り、三吋平らにあみ、別の棒にとつて置きます。

前にうつして置いた十八の目を他の側と同じやうにあみます。

全體の目を一本の針

にかへ、後身を揃へて

あみ、糸をどめます。

両脇を縫ひ合せ、袖付

四吋半だけ残して置

ます。

袖

三十六の目を作り、

表あみ二つ、裏あみ二

つを二吋、七吋平らに

あみ、縫ひ合せ、胴に

つけます。

カ ラ ー

頸のどころの目を拾ひ、三吋半平らにあみ、糸をどめます。



ベビーキン、スエーター

スーザン、スエーター

材料 濃色毛糸 四巻。

白アンゴラ毛糸 一卷。

棒針 一對 五番。

注意

編目六つは一時に相當す。十二段に一時に相當す。

うしろ

濃色の毛糸で六十八の目を作り、普通に十六段(八畝)あみ、次の順序で模様をあみます。

第一段 裏あみ。

第二段 表あみ一つ、「二目一緒にあむ」をくり返へし、表あみ一つで終る。

第三段 「表あみ一つ、目と目との間の目を一つ拾ひあむ、」をくりかへし、表あみ二つで終る。

第四段 表あみ。

第五段 裏あみ。

第六段 表あみ一つ、「二目一緒にあむ、」をくり返へし、表あみ一つで終る。

第七段 表あみ二つ、「目と目との間から一目拾つてあみ、表あみ一つ、」をくり返へす。

第八段 表あみ。

以上八段をくり返へして、十四回半あみます。両袖のために三十八づゝの目を作り、模様を五つ編みます、それから六十四の目をあみ、別の棒にうつして置き、十六目を頸のためにどめ、又六十四の目をあみます。

このところから頸で増した目は、皆表あみ一段、裏あみ一段を交互にあみ、その他の目は模様あみです。

頸のところで四段目毎に一つづゝ十一度増します。袖のために三十八目をどめ、どつて置いた六十四の目を同じやうにあみます。全體の目を一本の針にかけ、模様をあみます。後と同じ長さになりましたらどめます。

カフス

表側を自分の方に向けて、袖口のところで、三十目拾ひ、普通に十二段あみ、アンゴラの糸で、一段あみどめます。

頸は表側を自分の方にむけ、アンゴラで前の方を肩から肩までの目を拾つて一段あみ、どめます。頸の後の方も同じやうにあみ、最後に、形に縫ひ合せます。

ベテ、スエーター 「八九歳用」

材料 濃色毛糸 四巻。

アンゴラ白毛糸 一巻。

棒針各一對 四番。二番。

注意

編目十一は二時に相當す。九段は一時に相當す。
後

四番の針で六十八の目を作り、表あみ十二段いたしましたら、次のやうにして模様を入れます。

第一段 表あみ。

第二段 「表あみ八つ、裏あみ四つ」をくり返へし、表あみ八つで終る。

第三段 表あみ。

第四段 表あみ二つ、裏あみ四つ、表あみ八つ、をくり返へし、裏あみ四つ、表あみ二つで終る。

以上四段を六時くり返へします。最後の段は裏側の方で終るやうに必ずいたします。

次に二番の針に變へて

第一段 「裏あみ二つ、表あみ四つ、」をくり返へし、裏あみ二つで終る。

第二段 「表あみ二つ、裏あみ四つ、」をくり返へし、表あみ二つで終る。

この二段を交互に十四段あみしたら、(最後の段は裏側で終る) 四番の針にかへり、模様を三十二段あみます。

次の八段の各始めで十二

目づゝ作り、(袖のために四

十八づゝの目がいらいます)

四十四段あみます。それか

ら六十八目あみ、別の棒に

とり置き、二十八目どめ、

(頸のうしろとなる) 残りの

六十八を八段編みとめます。これが左の肩になるのであります。

別に取りつけて置いた六十八目で、右肩をあみ、前の頸のところ、四十目作り、三十八段あみます。次

の八段の両端で十二目づゝとめますと、袖が出来上ります。次二段の両端で、一目づゝ減し、三十二段あみます。



ベテ、スエーター

二番の針にかへ、後と同じやうに縦縞を十四段入れます。(表側から表あみ四つで始める)
四番の針で模様をあみ、表あみばかりの段を十一段いたしたら、裏側でとめます。

カ フ ス

二番の針で右から三十目を拾ひ、表あみ四つ、裏あみ二つの縞を二十段あみ、ゆるくどめます。(表あみしところは表あみ、裏あみのところは、そのやうにしてとめる。)それから袖の下端を縫ひ合せて置きます。

カ ラ ー

四番の針を使ひ、白の毛糸で十四の目を作り、表あみばかりで六十四畝、(十五吋)あみ、両端をあみ合せ、頸に縫ひつけます。

メースエーター

〔四歳より七歳まで〕

材 料

水色毛糸 十巻。
灰色毛糸 一卷。
棒針 一對 四番。

注 意

編目八段(模様二つ)は一時に相當す。

胴

水色の毛糸を二つに分けて別々の玉として置きます。それを二本づゝにして胴をあむのであります。先づ七十六の目を作り、次の順序で模様をあみ出すのであります。

第一、二、三段 表あみ一つ、裏あみ一つ。

第四段 普通にあむ。

右の四段をくり返へしながら十吋(模様二十)あみ、六段の各始めに八つづゝ目を作り、次の二段の始めでは二十目づゝ作り、(四十四目づゝが袖になるのです)模様を八つあみます。

次の段で七十二目あみ、別の棒にとり、二十目だけとめ、残り七十二目を四段平らにあみます。頸の前のところで二十目作り、一緒にして模様を八つあみ、次の段で、手頸から數へて二十目だけとめ、その次の三段で八目づゝ減すのであります。

残りの四十八目を他の棒にとり、糸を切ります。もう一方の前も同じやうにあみ、すつかりを一本の針にかけ、後と揃へて模様をあみます。

ふ ち

毛糸を一本にして表あみを十二畝、ゆるくどめます。後の下端も、目を拾ひ同じやうにして表あみを



エリーナスエーター

メースエーター

いたします。

カ フ ス

毛糸を二重にして、手頸の右の方から四十目拾ひ、表あみ一つ、裏あみ一つを四吋つけ、表側で終るやうにいたします。灰色の毛糸に變へて、表あみばかりを五段あみ、とめます。袖の下端と袖口とを縫ひ合せ、圖のやうに、カフスの一部分は下に折り返へし、スエーターの縁は上にむけて折返へして置きます。

カ ラ ー

灰色の毛糸で五十の目を作り、表あみ二十四畝(凡そ五吋)してとめます、裏側からスエーターに、あみつけて終るのであります。

エリーナスエーター

(十歳より十二三歳まで)

材 料

トルコ玉色毛糸 九卷。

白毛糸 一卷。

棒針 一對 四番。

胴

トルコ玉色の毛糸で八十の目を作ります。

第一段 裏あみ一つ、「表あみ三つ、裏あみ二つ、」をくり返へし、表あみ三つ、裏あみ一つで終る。
第二段 表あみ一つ、「裏あみ三つ、表あみ二つ、」をくり返へし、裏あみ三つ、表あみ一つで終る。
以上の二段を交互に十二吋あみ、表あみばかりを十一畝平らに、次の八段は各段の始めに一目づゝ増します。(両端に四目づゝ増す勘定)

両端に袖のため、五十目づゝ作り、平らに五吋あみ、次の段で八十三目あみ、別の棒に移し置き、次の二十二目をとめ、残り八十三の目を三畝あみます。

頸のところで二十目作り、平らに五吋あみ、手頸のところから始めて、五十目とめ、残り五十三目をあんで、他の棒にうつして、糸を切ります。頸のところで、取つて置いた八十三目を、もう一方の前と合せて編み、全部の目を一本の針にかけ、(百六目)各段の始めで一目づゝ減す事八回、十段平らに、両端で一目づゝ増して、百の目を作ります。それから、右側から始めて、後の下端のやうな縞をあみ、糸をとめます。

カラ

白の毛糸で裏側から、頸まはりの目六十を拾ひ、(前の両側で二十目づゝ、両肩で二目づゝ、後で十六目)表あみばかりを二十畝、トルコ玉色で一段表あみ一つ、裏あみ一つを三段、白で八畝、裏側でとめます。

す。

カフス

トルコ玉色で、手頸の目四十六を拾ひ、四畝毎に表あみ一つ、裏あみ一つを一段づゝ入れ、これが十段になりましたら、裏から始めて、白で八段普通に、トルコ玉色で普通に一段、表あみ一つ、裏あみ一つを三段、白で表あみばかりを、十五段あみ、糸をとめます。
形に縫ひ合せ、圖のやうにカフスを折り返へします。

クレストモント、スエーター

- 材料 茶色毛糸 六卷。
- 薄茶色毛糸 四卷。
- 棒針 一對 五番。

編目五つは一時に相當す。七段は一段に相當す。
茶色の毛糸を二本にして、七十二の目を作り、表あみ二つ、裏あみ二つを三吋あみ、一本の糸を切りその代りに薄茶色の糸を一本つなぎ、表あみ一段、裏あみ一段を交互に十三吋あみます。

次の段で始めの十目を表あみばかり、真中にあたる五十二目を表あみ一段と裏あみ一段とを交互に十目は表あみばかり、これを八段くり返へし、両端の五目づつをどめます。

両端の五目づつは袖つけの縁になるのですから、すつと普通にあみつけます。両方のふちの中の目の両端を一目づつ三度減し、二吋平らにあみ、裏側が手前にむかつて居るやうにして終ります。

次の段で、表あみ五つ、裏あみ二つ、表あみ二つを四十六目、それから表あみ五つ、その次の段は表あみ五つ、表あみ二つ、裏あみ二つを四十六目、表あみ五つ。以上二段を二吋くり返へします。

真中の二十二目をどめます。

肩のふちを一時半だけつけます。

もう片方の肩も同じやうにあみます。

真中で二十二目作り、両肩の分と合せて三十八の目を二吋あみ、後と同じふちをあみ、糸をどめます。

サラナック、スエーター

材料 白毛糸 五巻。

棒針各一對 四番。五番。

注意

編目六つは一時に相当す。七段は一時に相当す。

四番の針で六十九の目を作り、初めの目はあまずに針にとり、「針に糸をかけ二目一緒にとる」を三吋あみ、五番の針に變へます。

表あみ一段、裏あみ一段を交互に十二吋あみ、両端で三つづつとめ、それから又両端で一段置きに一つづつ三度減します。四吋半平らにあみしたら、次の段で二十目あみ、十七目とめ、二十目あみます。

最後の二十目を頸のところまで四段目毎に一目づつ増し、肩から四吋半になりましたら、袖付の方で一段置きに一目づつ四度増します。三つ、目を作り、頸のところから三十九目になるまでつけて増します。

片側も同じやうにあみ、前にあんだものと一緒にして後と同じ長さに作り、糸をどめます。

袖
五番の針で袖付のところの目を五十拾ひ、平らに四吋あみ、両端で一時毎に一目づつ減し、ゆきが十三吋になりましたら、胴と同じふちを三吋あみます。

バンド

四番の針で、十六の目を作り、胴と同じ編み方で頸まはりに、しつくり合ふやうになるまであみます。出来上りましたら圖のやうに縫ひつけます。

オザーク、スエーター

クレストモント、スエーター



サラナツク、スエーター



オザーク、スエーター

注

意

材 料

灰色毛糸 五巻

棒針一組(両端の尖れるもの) 五番

編目四つは一時に相当す。八段は一時に相当す。

五番の針で六十八の目を作り、表あみ二つ、裏あみ二つを四吋あみまます。表あみ一段、裏あみ一段を十七吋あみ、両端で五目づゝとめ、三十八段平らにあみまます。

十九目あみ、二十目とめ、(出来るだけゆるく)十九目あみまます。この目を頸のところで一段置きに、一目づゝ三度増しまます。他の側も同じやうに作り、中央に二十五目新たに作り、みんな一緒にして四十分段あみまます、両端に五目づゝ作り、後と揃へてあみとめまます。

袖

袖つけのところで、五十の目を拾ひ、平らに、六吋あみ、両端で八段目毎に一目づゝ、十四吋の長さになるまで減しまます。表あみ二つ裏あみ二つを四吋あみ、糸をとめまます。

カ
ラ
ー

七十二の目を拾ひ(三本の針に二十四目づゝかける)表あみ二つ、裏あみ二つを六吋あみ、とめまます。いつもの通り、スエーターの形に縫ひ合せて終りまます。

マーセル、スーツ 「六七歳男児用」

材料

ネベールリユー毛糸 六巻

白毛糸 二巻

棒針 各一對 四番、五番

両端尖れる棒針一對 四番

鉤針 四番

注意

編目五つは一時に相當す。七段は一時に相當す。模様一表あみ一段、裏あみ一段。

五番の針を使ひ、白の毛糸で七十六の目を作り、表あみ二つ、裏あみ二つを十三段あみます。ブリユーの糸に變へ、表あみ一段、それから表あみ二つ、裏あみ二つを一段、白に變へ表あみ一段、表あみ二つ、裏あみ二つを一段、更にブリユーに變へ、模様を十四時半あみます。二十六目あみ、二十四目(頸のところ)とめ、二十六目あみます、各二十六目が前身となるのであります。

左の前

一段あみ、前襟のために、十二目作り、肩から五時だけあんだら、右の前も同じやうにあみます。(このところで、七目とめます。)みんな一本の針にかけて後身と揃へてあみ、糸をとめます。

五番の針で袖付のところ四十八の目を拾ひ、十時半らにあみ、四番の針に變へて、表側を自分むけの糸で、表あみ一段、次の段は表あみ一つ、裏あみ一つを一段、ブリユーに變へ「」の印の中のやうにくり返へし、白で「表あみ一段、表あみ一つ、裏あみ一つを一段」を一時半あみます。

五番の針を使ひ、ブリユーの糸で頸まはりの目を全部拾ひ、表あみ一つ、裏あみ一つを三時あみ、白に變へ、一段表あみばかり、次は表あみ一つ、裏あみ一つを一時半いたします。糸は裏側でとめるのであります。

バンド

四番の針とブリユーの糸で八つの目を作り、表あみ一段、裏あみ一段を交互に五時して、糸をとめます。前身をあむ時、七目だけとめて置いたところから上にと縫ひつけます。それから同じバンドをもう一つ作り、襟の初めの下側につけ、両方のバンドをぬひ合せます。

タ イ

四番の針と白の糸とで十の目を作り、表あみ一つ、裏あみ一つを一ヤールあみ、両端を折り返へして置きます、圖のやうに、カラーの下、頸の真後のところに縫ひつけるのであります。

ズ ボ ン

五番の針とブリューの糸とで七十の目を作り、表あみ二つ、裏あみ二つを一時半あみ、次の段では一目あみず針にとり、「針に糸をかけて、二目一緒にあむ」を一段して、模様を十時あみます。二十八目とめ、十四目あみ、二十八目とめます、十四目の両端に十六目づゝ作り、前にあんだものと反對に、そこからつゝけてあんでまゐります。

カ フ ス

中央のあいて居るところで五十四の目を拾ひ、表あみ二つ、裏あみ二つを一時半あみます。

ふ さ

糸を二本にして、鎖あみを三十時作り、ズボンの、あな通しのところに通して、両端に小さな房をつけて置きます。

キ ヤ ッ プ

四番の針と白の糸とで七十五の目を作ります。十段あみ、ブリューの糸に變へ、四段、白で二段、



マーセルスーツ

ブリュー八段。

三本の針に七十五の目を分けて五吋平らにあみ、それから第一の針で表あみ一つ、二目一緒、針の終りから、三つ手前まであんで、一目、あまずに、そのまゝどり、次の目はあみ、前の目をその上にかぶせ、その次の目は表あみいたします。第二第三の針も第一の針と同じ様に減します。次の段は平らに第三段目は減すのであります。斯ういふやうに一段置きに減して、各針に、二目づゝだけ残りましたら、一緒にまどめて、糸を引きしぼり、その頂上に玉飾りをつけるのであります。飾り玉は三吋巾の厚板に糸を三十五度巻きつけて、その真中を、かたく糸でくればよろしいのです。キヤップを形に縫ひ合せて終ります。

フアンシエ、パンツ [四五歳男児用]

材料	毛	糸	三卷。
棒針	一	對	四番半。
ボタ	ン		四個。

注意

編目十一は二吋に相當す。八段は一時に相當す。

うしろ

二十八の目を作り十段(五畝)平らにあみ、それから表あみ一段、裏あみ一段いたします。二段目毎にその始めで一目づゝ十度増します、これと同じものを、もう一つ作ります。但し目を増すのは二段目毎の終りでいたすのであります。

増目をした方の側に、四つ新たに目を作り、増した方を真中にして、皆一緒に針にかけます。表あみ一段、裏あみ一段を交互に三吋あみます。それから、段の始めと終りの目六つだけを普通に、その中の目は表あみ一段、裏あみ一段を交互に、凡そ二吋あみます。

第一段 二吋あむのがすみましたら、裏側を自分の方にむけ、表あみ十三、裏あみ二十一、表あみ十二裏あみ二十一、表あみ十三。

第二段 普通にあみます。(偶数になる段は必ず普通あみの事)

第三段 表あみ十四、裏あみ十九、表あみ十四、裏あみ十九、表あみ十四。

第五段 表あみ十五、裏あみ十七、表あみ十六、裏あみ十七、表あみ十五。

第七段 表あみ十六、裏あみ十五、表あみ十八、裏あみ十五、表あみ十六。

第九段 表あみ十七、裏あみ十三、表あみ二十、裏あみ十三、表あみ十七。

第十一段 表あみ十八、裏あみ十一、表あみ二十二、裏あみ十一、表あみ十八。

第十二段 十三どめ、二十一あみ、別の棒にうつし置き、更に十二どめ、三十四あむ。

次の段の始めで十三目どめ、次の二十一の目から肩紐をあみます。裏あみの段の初めと終りの五つは表あみにし、表あみばかりの段の時は、初めと終りで一つづつ減して、針に十の目が残るやうになりましたら、八十段普通にあみ、四つ表あみ、二つどめ、四つ表あみいたします。

次の段では、二つどめた上に、二つ新たに目を作り、一段置きに始めと終りで一目づつ減し、二目になりましたら糸をとめます。他の肩紐も同じやうにしてあみます。前の方も後と同じに揃へ、兩わきを縫ひ合せます。



フアンシエ、パンツ

アライン、スーツ及び帽子 [六七歳女児用]

- 材料
- 毛 糸 五卷。
 - 棒針 一對 五番。
 - スナツフホック 三個。
 - ボタン 型 五個。
 - ゴムテップ 半ヤール。
 - 鉤 針 二番半。

注意

編目六つは一時に相當す。七段は一時に相當す。

パンツの後

八十四の目を作り、表あみ一段、裏あみ一段を交互に八時あみます。四十二の目をあみ、別の棒にうつし、残りの四十二目を、内側で一段置きに、一目づつ七度減します。裾の折返へしのために二段あみ、それから、内側で四段目毎に、三度増し、四段目毎に、一目づつ二度減して糸をとめます。別の棒の四十二目も同じやうにあみます。

前

カフ(裾)から始めます。三十六の目を作り、四段目毎に、一つづつ二度増し、四段目毎に一つづつ三度減せば、カフが出来上ります。カフを折返へし、内側で、一段置きに七度増しきす。もう一つ同じものを作り、すつかりを(八十四目)一本の棒に通し、両端で、一時半毎に一目づつ五度増しきす。(九十四目)次の順序で模様をあみします。

第一段 表あみばかり。

第二段 「表あみ四つ、裏あみ五つ、」をくり返へし、表あみ四つで終る。

第三段 一段と同じ。

第四段 二段と同じ。

第五段 一段と同じ。

第六段 二段と同じ。

第七段 表あみばかり。

第八段 裏あみばかり。

以上の模様を七段あみ、それから四十七目だけ模様をあみ、残りの目は別の棒にうつして置きます。八時半平らにあみ、頸のところを二十四目とめます。

袖
もう一方の前も同じやうにあみ、中央に、三十九の目を作り、みんな一緒にして、十時半あみとめます。

五十六の目を作り、四時あみ、袖口は裾の時と同じやうにあむのであります。十八段あんでとめ、一時の四分の一だけ折り込みます。両側を縫ひ合せ、股引の後、丁度腰のところを一時の四分の三だけ折り込み、九時のゴムテップを通します。両端に、二つのボタンをかける穴を作り、前に小さなボタンを縫ひつけます。ボタン型を被ひ、右前にボタンかけを作ります。

カラ

頸のまはりで八十五の目を拾ひ、表あみ一段、裏あみ一段を五時あみ、半時だけ縁を折り込みます。

帽子

八十一の目を作り、表あみ一段、裏あみ一段を一時あみ、ブラウスと同じ模様を三時半あみます。又



アライン、スーツ及び帽子

表あみ一段、裏あみ一段を八時くり返へし、次の段では、ずつと二目づゝ一緒にあみ、それをぎゆつと引きしめてから、わきを縫ひ合せ、房をつけます。房は六十本の糸で四時の長さだけあればよろしいのです。

バベット、スーツ

〔八九歳女児用〕

材料 灰色毛糸 九卷。

オールドローズ毛糸 一卷。

灰緑色毛糸 一卷。

棒針 一對 四番半。

鉤針 三番。

ポタン 型 六個。

注意

編目十一は二時に相當す。七段は一時に相當す。

灰色の糸で九十三の目を作り、表あみ一段、裏あみ一段を十段くり返へし、表あみばかりを三段いたします。これはヘムの折り返へしの山をつけるためであります。次は表あみ一段、裏あみ一段を十五

段つくりします。十二段目に兩端で一つづゝ目を減します。

十六段目から、オールドローズと灰緑色の糸を使って、ばらの花の模様を始めます、糸色を使ひます時は、各別の玉にして置いて決して途中で切らないやうにしますので。普通、地になる糸は右指にかけ、糸色は左指にかけ、地系であむ時は糸色を一緒にあみ込み、糸色であむ時は地系をあみ込みます。

第一段 灰色十七、緑色一つ、灰色二十七、緑色一つ、をもう一度くり返へし、灰色を十七で終る。

第二段 裏あみ灰色十八、緑色一つ、灰色一つ、緑色二つ、灰色二十四、緑色一つ、灰色一つ、緑色二

つ、を一度くり返へし、灰色十三で終る。

これからは模様の圖案を参照してあむのですが、十段目毎に兩端で一目づゝ、八度減す事を忘れないやうにいたします。

模様が出来上りましたら、十段あみ、帯を通す穴を作ります。表あみ八つ、裏返へして、裏あみ八つこれを十一段だけあみ、別の棒にうつして置きます。「次の十一の目も同じやうに十一段あみ、前の八つの目の棒にうつし、次の十七の目も、十一段あみ、又別の棒と一緒にして置きます。」の印の中のやうに、もう一度くり返へします。それから次の十一と最後の八つも同じやうにいたします。(全體で八十目。)

すつかりの目を一緒にして一段あみします。最後に目を減してからは、ドレスの長さが、ヘムを折り返

へしても十四時になるまで平らにあみまます。

両袖のために十九づゝの目を作り、三時半あみ、それから四十七目あみ、別の棒に取り、十九目どめ、四十七目を四時半平らにあみ、十九目どめます。脇下のところで増しながら(後で減したのに合わせる)九段あみまます。

別の棒にうつして置いた、四十七の目も同じやうにあみまます。別の玉にしてある糸で十九目を作り三時あみまます。

第二の肩の目と、中央の十九目と第一の肩の目を一緒にして、あみ出し、後に揃へて、減す代りに増してあみまます。

両脇を縫ひ合せまます。裾のへムも折り込みまます。

灰色の糸で、頸のまはりに短あみを一段し、その上を、オールドローズで、又一段短あみをするので、袖口にもやはり同じ飾りをいたして置きます。

ポ タ ン

オールドローズで、くさりあみを三つ作り、輪になし、その中に短あみを入れ、その上は一目毎に二つづゝ編み込みまます。次の段は平らにあみ、ボタン型を包み、裏で、一緒に糸を引きしめ、一時づゝ間を置いて、三個づゝ縫ひつけまます。一番下になるボタンは、頸あきの下端にあたる位のところへつけま

す。

ポ タ ン かけ の 穴

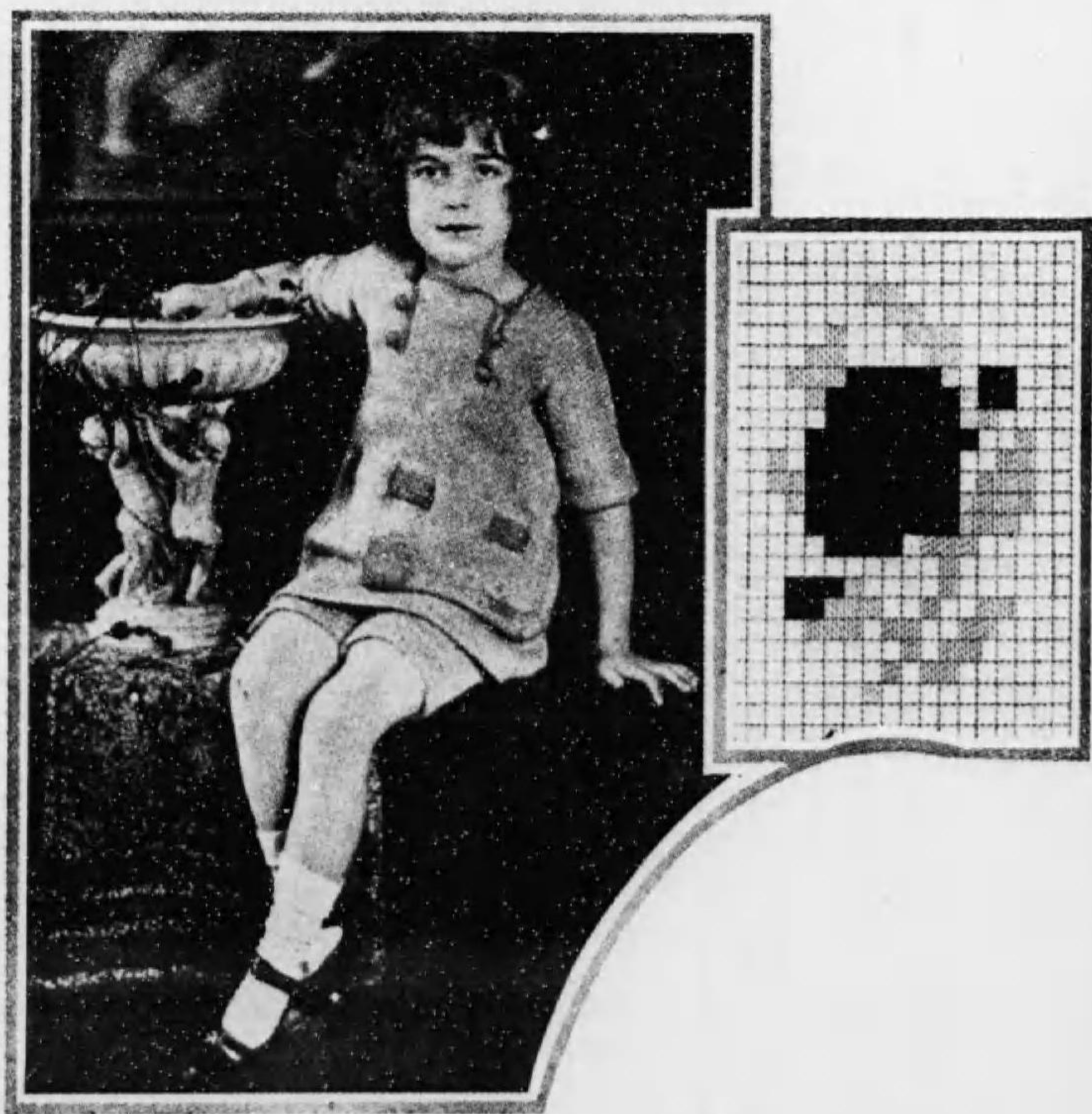
ローズ色の糸を、前の中央の上のところにつなぎ、鎖を十二作り、輪にいたしまます、それから下に短あみを六つして輪を一つ作り、又同じやうに六つあみ下げて輪をあみまます。他の側にも、やはり同じにボタンかけの輪を作ります。

帯

ローズ色で十の目を作り、表あみ一つ、裏あみ一つをくり返へして四十二時あみ、どめます。

パ ン ツ

灰色で七十二の目を作り、表あみ



パ ベ ッ ト ス ー ツ

二つ、裏あみ二つ、」を四段いたします。

第五段 「表あみ二つ、裏あみ二つ、表あみ一つ、針に糸を二度かけ、二目一緒に表あみ、裏あみ一つ、」をくり返へす。

第六段 「表あみ二つ、二番目のわなは落し、初めのわな一つだけを裏あみ、又裏あみ一つ、表あみ二つ、裏あみ二つ、」をくり返へす。

表あみ二つ、裏あみ二つを十一段あみます。

表あみ一段、裏あみ一段を交互に八時あみ、次に三十一目あんで、別の棒にうつし、十目どめ、三十目を一時あみ、どめます。初めの三十一目も又同じやうにあみ終へます。これでパンツの半分が出来上つた事になりますから、もう半分を作り、一緒に縫ひ合せます。

へムを折ります。

灰色の糸で四十八の鎖をあみ、二本にして、振り、腰のところの紐通し穴に、通すのであります。

海水浴着 [男女児用]

材料

スカーレット毛糸 三巻
白毛糸 一巻

注意

棒針(両端尖れるもの一組) 五番

編目五つは一時に相當す。七段は一時に相當す。模様——表あみ一段、裏あみ一段を交互にあむ。

足の 白の糸と、二本の針で、三十二の目を作り、表あみ二つ、裏あみ二つを、二段あみ、スカーレットに変へ、二段、白で二段、スカーレット二段、白一段、スカーレット四段、次は模様をあみます。四段目毎に両端で一つづつ九度増して、全體の目が五十になればよろしいのです。もう一方の足も同じやうにあみ、一緒に縫ひ合せます。

すつかりの目を三本の針にかけます。(第一第二の針には三十三目づつ、第三には三十四目。)表あみ三十二段、白の糸で一段、スカーレット四段、白二段、スカーレット四段あみ、次の段ではスカーレットで二目、白で二目を代るく、二段いたします。

次の段は白で始めて二目、スカーレット二目を二段いたします。縞をもう一度くり返へしてあみますと、丁度脊のあきのところになります。

全體の目を二分して、半分を後とし、他を前といたします。

表あみ一段、裏あみ一段を二十段あみ、両端に袖のため、五つづゝ作り、二十四段あみます。
 二十四目あみ、十二目どめ、二十四あみます。この二十四づゝが後となるのであります。

後
 肩のどころを十二段あみ、頸の
 ところで、九目作ります。

ボタン穴

表あみ二つ、二つどめ、表あみ
 一つ。次の段ではどめた目の上で
 二つ新たに作ります。二十四段あ
 み、袖のどころ五目どめ、ボタン穴
 をもう一つ作り二十段あみます。

他の側も同じにあみます。但し
 ボタン穴を作る必要はありません
 糸をどめて切る時、一ヤールほど残して置きます。

残して置いた、糸をダーニング、ニードル(めごの大きい毛糸織ぎもの用の針)に通し、手前の針の第



着浴水海

一の目に、丁度裏あみをする時のやうに、刺し、それから後の針の第一の目に、表あみする時のやうに通し、更に手前の針の第一の目に、表あみのやうに通して、その目をはずします。

「手前の針の第二の目に、裏あみのやうにダーニング、ニードルを通し、後の針の第一の目に、裏あみのやうに通して、その目をはずします。次の目に表あみのやうに通し、手前の針の目に、表あみのやうに通し、目をはずします。」これをすつかりの目がなくなるまでくり返へし、裏側でどめ、両脇も縫ひ合

三角形の片

二目からあみ始めて、各段毎に両端で一目づゝ七度増し、それから増した時の順序で減します。これを両足の上のつき合せ目、(胴どつながるどころ)に、縫ひつけるのであります。
 二つのボタン型に、いつもの通り毛糸を被せ、しつかりと縫ひつけます。

ヴィヴィ、ドレス

〔五六歳より十二歳まで〕

材料

- 灰色毛糸 四巻
- 黄褐色毛糸 一卷
- 棒針 一組 五番

注意

編目六つは一時に相當す。八段は一時に相當す。模様——表あみ一段裏あみ一段、五番の針と灰色の糸で、九十の目を作り、模様を平らに六吋あみ、八段目毎に兩端で一目づゝ六度減します。

ドレスの長さが十四吋になるまで平らにあみ、兩側へ袖のため、二十目づゝ作り、三時半あみます。褐色に變へ一時あみ、それから四十四目あみ、三十目ゆるくどめます。終りの四十四目を四段あみ、他の四十四目も揃へてあみ、中央に三十五の目を作り、みんな一緒にして、一時あみます。灰色の糸に變へ、三時半平らにあみ、兩側で、二十目づゝどめ、あとは後身と同じやうに編み終へます。但し減す代りに増すのであります。



ヴィヴィドレス

カフス

表側を自分の方にむけ、褐色の糸で、袖口のところの目を拾ひ、十二段あんで、どめます。袖口は半分ほど折返へして置きます。

ベルト

褐色で十六の目を作り、五十四吋あみ、縫ひ合せ、脇下から、二時半のところに、片方を十六吋の長さにして、つけます。

アニタ、ドレス [六七歳用]

材料 駱駝色毛糸 四巻。

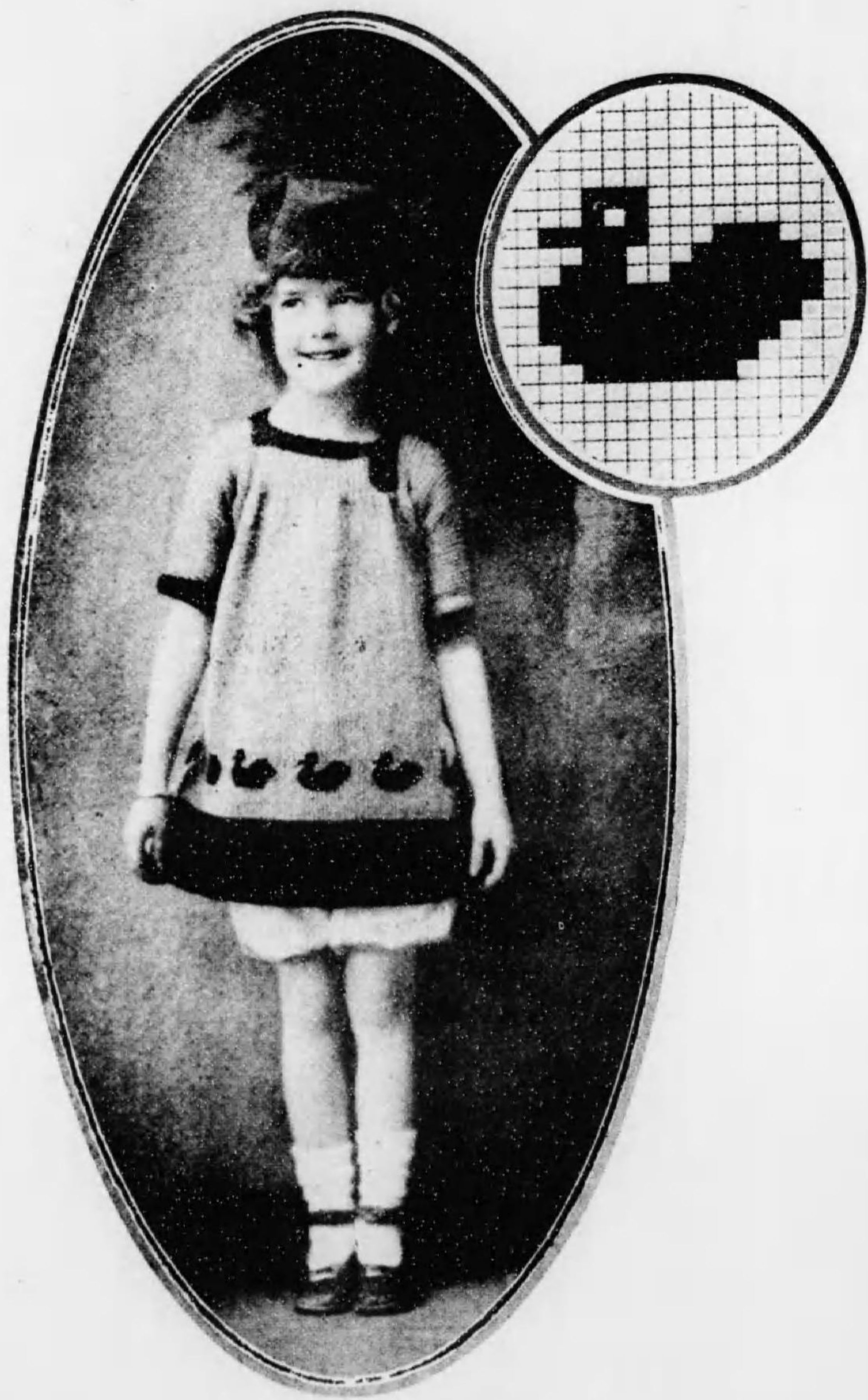
栗色毛糸 二巻。

棒針各一對 四番。五番。

注意

編目十一は二時に相當す。七段は一時に相當す。

四番の針と、栗色の糸で、九十一の目を作り、三十六段(十八畝)普通にあみ、五番の針と、駱駝色の



アンタドレス 雙模様圖案

糸に變へます。表あみ一段、裏あみ一段（ストツクイネット、スチッチ）を八段あみ、それから鴨の模様を入れます、色糸の使ひ方はバベツト、スーツのところを御参照下さい。

第一段 駱駝色で表あみ七つ、栗色七つ、駱駝色十一をくり返へし、栗色七つ、駱駝五つで終る。

第二段 駱駝裏あみ四つ、栗色九つ。駱駝九つをくり返へし、栗色九つ、駱駝六つで終る。

三段目からは模様圖案に依つて、あんでゆきます。模様が出来上りましたら、栗色の糸を切り、駱駝色で、最初の段で一目減し、スカートが、十五吋半の長さになるまで、表あみ一段、裏あみ一段を平らにあみまます。

袖のために両端で二十目づゝ作り、十三段平らに編みます。最後が裏あみの段で終るやうにいたします。次に三十目あみ、「二目一緒に」を三十五度、又三十目あみまます。（針に九十五の目数があればよろしいのです。裏あみ一段、表あみ一段を七段づゝけ、駱駝色で三十六目あみ、栗色で二十四、駱駝色の別の糸で、三十六目あみまます。

次の段は駱駝で裏あみ三十六、栗色で表あみ二十四、駱駝で裏あみ三十六。斯うして、二色を使ひながら、中央の二十四目は表あみばかり、両端は表あみ一段、裏あみ一段を七段あみまます。それから駱駝色で裏あみ三十六、栗色で表あみ四つ、を、別の針にとつて置き、十六目どめ、表あみ四つ、（栗色）裏あみ三十六（駱駝）あみまます。この四十目を右前として、七段平らにあみまます。（頸の方を栗色で四目づゝ

あみつゞける。

頸のところ、二十の目を作り、頸の二十四目は、栗色で普通に、他の目は駱駝で表と裏とを一段づゝ七段いたします。

八段目は、駱駝で五十六、栗色で四つ、を十一段あみ、別の棒針にうつして置きます。

左の肩のところ、左の前をあみ始めます。栗色で頸の方の目四つ、他は駱駝で二十六段つゞけ、栗色を切ります。次に前を一緒にしてあみます。その時、栗色であんだ右前の四目を左前の四の上に重ね

丁度一つの目のやうに二つづゝあんでまゐります。

次の段で袖の二十目をとめ、十目あみ、三十五目毎に一目づゝ増し、終りの三十目をあみます。

もう一方の袖の二十目をとめ、前を後と同じにあみ揃へ。糸をとめます。

カ
フ
ス

四番の針と栗色の糸とで、裏側を自分の方にむけ、袖口の目四十を拾ひ、十段あみ、(五畝)とめます。それから兩脇を縫ひ合せます。

ポリアナ、スエーター

〔女學生用〕

材 料 珊瑚色毛糸 九卷

灰色毛糸 二卷
棒針各一對 五番 三番

注 意

編目五つは一時に相當す。五畝は一時に相當す。

身 頃

五番の針を使い、珊瑚色の毛糸を二本にして七十五の目を作り(十五吋)ます。表あみばかりを五畝あみ、糸を一本にして、もう五畝、次に表あみ一段、裏あみ一段、表あみばかり十段、表あみ一段、裏あみ一段、(一)を一度だけくり返へし、表あみばかりを十吋あみます。

次の十二段の各段の始めに十目づゝ作り、(六十目づゝが各袖となる)平らに五吋(二十五畝)あみます。八十八目あみ、別の棒針にうつして置き、十九目とめ、次の八十八を一方の前身として、あみ始めます。

頸のところ、一段置きに一目づゝ十五度増し、十畝平らにあみ、袖巾が手頸から五十畝ほごになりましたら、手頸の方から十目づゝ一段置きに六度減し、片袖を作り上げます。

残りの四十三目を後のやうに十吋あみ、表側で終るやうにして、裏あみ一段(裏側で)表あみ十一段、を二度くり返へします。糸を二本にして、十一段あみ、裏側でゆるくとめます。

片方の前も同じやうに揃へて作ります。



ポリアナ、スエーター

前身まへみのふち

珊瑚色さんごいろの糸いとを二本ほんにして、左ひだりの前まへの表側おもてがはの目めを拾ひろひ、頸くびのところところで一段だん置きおきに一目めづゝ減へらしながら十段だんあみ、裏側うらがはでとめます。

右みぎの前身まへみは下端したはしから始はじめて、左ひだりと同じおなやうにあみます。但たゞし六段だんめ目こ毎ご五ごつのボタン穴あなを次つぎのやうにして作つくります。

頸くびのところところから始はじめて、第一だいいち第二だいいちの目めを一しよ緒じゆにあみ、二目めあみ、「三さんつとめ、十じゆあみ」を三度さんくり返かへし、もう一つボタン穴あなを作つくり、あとはすつと平たひらにあみます。次つぎの段だんでとめた目めの上うへにその數かずだけ新あらた目めを作つくります。

カ
フ
ス

三番さんばんの針はりと珊瑚色さんごいろの糸いとで袖口そでぐちの表側おもてがはから目めを拾ひろひ、四十八目よんじゅうはちめあみ、表おもてあみ三さんつ裏うらあみ三さんつを七段だんつゞけ、「灰色はいろの糸いとで表おもてあみ一段だん(表側おもてがは)珊瑚色さんごいろで裏うらあみ一段だん、表おもてあみ三さんつ、裏うらあみ三さんつを二段だん、「これをもう一度さくり返かへし、次つぎに灰色はいろで表おもてあみ一段だん、珊瑚色さんごいろで裏うらあみ一段だん、それから表おもてあみ三さんつ、裏うらあみ三さんつを六段だんしてとめます。とめる時とき表おもてあみのところところは、表おもてあみにして、とめ、裏うらあみのところところは、裏うらあみにしてとめるのであります。

カ
ラ
ー

五番の針と灰色の糸で四十五の目を作り、表あみばかりで、一畝置きに片方で一目づゝ十五度減し、九畝平らにあみますと、カラーは四吋四分の三の長さになります、これだけでは半分ですから、もう半分作れば出来上るのであります。

タム (女學生用)

材料 濃紅色毛糸 四卷。
針 七番。

鎖あみ三つを輪に作り、その中に短あみを七つあみ込みます。ぐるりとあんでしまはず、編んではかへるやうにしますので。

第二段目 各目に二つづゝあみ入れる。

第三段目 「第一の目に一つ、次の目に二つ」をくり返へす。

四段目からは、適宜に目を増して、平らな皿のやうに作り、(同じところで、目を増したり、三角のやうな形にならないやう氣を付けます) 直径が十一吋になりましたなら、目を増すのをやめて、十段(又は三吋半)平らにあみまします。

次の段で一目置きに目を減し、全體の目の半分どなし、その次の段でも同じやうに目を減して四十五



タム (女學生用)

目どいたします。六段平らにあみ。最後の段は「短あみ一つ、鎖あみ二つ、短あみ一つ」をくり返へします。

ふさ 五吋巾の厚紙に毛糸を三百度巻きつけたものを、圖のやうに、二本の糸を振つた紐の先に通し、タムの頂上につけます。

リーダー、スエーター (中學生用)

材料 ネベープリュウ毛糸 九卷。
棒針 各一對 五番。二番。

注意

編目六段は一時に相當す。

身頃

二番の針で八十四の目をゆるく作り、表あみ一つ、裏あみ一つを交互に十四段あみます。

五番の針に變へ、表あみ一つ、裏あみ一つを十二時つけ、次の段では「表あみ一つ、裏あみ一つ、表あみ一つ、二目一緒、裏あみ一つ、表あみ一つが段の終りになるやう。」をもう一度くり返へします。

(表あみで二目一緒にあんだところは、裏あみで一緒にあむのです)斯うして各段の始めで一目づゝ減して、兩端で四つ減りましたら表あみ一つ。裏あみ一つを平らに三十段(五吋)あみます。

二番の針に變へ、表あみばかりを平らに五畝あみ、次の段の二十六目をあみ、(残りの目は別の棒にうつして置く。)頸のところで、一畝置きに、一目づゝ四度増し、最後の段は袖つけの側で終ります。

五番の針に變へ、表あみ一つ、裏あみ一つを一段あみ、十七目作り、裏返へし、その上に裏あみ一つ表あみ一つを一段いたします。平らに三十段、あみ、一段置きに、袖つけから四つ目のところで、四度目を増し、(後のやうに)十段平らにあみ、最後の段は、前の端のところで終るやうにいたします。糸をどめ、別の針にうつし、二十四目はカラーの後になるのですから、別に取つて置き、残り二十六目を左の前として、右前に揃へてあみます。最後の段は、脇下で終るやうにいたします。もう一段前の端の方にあみ、八つ目を作り、右前からずつとあみます。この百十の目を後と同じ長さになるまで平らにあみつ

づけ、それから細い針に變へ、ふちを十四段あみ、(後のやうに)ゆるくとめます。その時表あみのところは表あみで、裏あみのところは裏あみで、いたします。

袖

五番の針で七十八の目を作り、表あみ一つ、裏あみ一つを平らに十四段あみます。「次の四段の各段の初めで目を減し、(第三、第四の目を一緒にあむ)十二段平らにあみます。」の印の中のやうに、二度くり返へし、それから、袖の長さが十五吋になるまで平らにあみます。

二番の針に變へ、表あみ一つ、裏あみ一つ、表あみ一つ、裏あみ一つ、表あみ二つ一緒、裏あみ二つ一緒を一段くり返へし、五十の目といたします。

表あみ一つ、裏あみ一つを、二十二段あんで、とめます。やはり表あみのところは表あみで、裏あみのところは裏あみにいたします。

ボケツト

五番の針で二十五の目を作り、表あみ一つ、裏あみ一つを、二十二段あみ、二番の針に變へ、表あみばかりで、極くかたく、九段あみ、糸をどめます。出来上りましたらスエーターのふちの、すぐ上のごころから縫ひつけます。

前のふち、及びカラー



リーダー sweater

二番の針で十の目を作り、四十八畝(少し伸して七寸あればよろしい)あみます。これは右の方の、ふちとなるのですから、別の棒に取つて置き、左のふちを同じやうに作ります。

ボタン穴は十二畝目の時、三つあみ、四つとめ、すつと普通にあみ、次の段で、とめた目の上に四つ新たに目を作ります。十二畝はなして、もう二つボタン穴を作り、最後のボタン穴から、九畝あみましたら、それに左前の頸のところで作つた十七目、肩の八畝のところの八目、後の頸のために作つた二十四目、肩のところの八目、左の前の十七目、左のふちの十目を一緒にして、(全體で九十四目)なるべく固く、表あみばかりで四畝、ボタン穴のある側で終ります。

次の畝でボタン穴を一つ作り、もう二畝あみ、裏側でとめます。

前のふちをスエーターに縫ひつける時は、少し、つり氣味にいたします。

ボタンは右のふちの縫ひ合せ目から、二目置いたところにつけるのが工合がよいやうです。

ライテング、フード、ケープ [七八歳用]

材料 濃紅色毛糸 八卷

棒針 一對 五番

鉤針 四番

注意

編目六つは一時に相當す。十五段は二時に相當す。
二百四十二の目を作ります。

模様

第一段 全部表あみ。

第二段 表あみ十「裏あみ六つ、表あみ六つ、表あみ十で終ります。

右の二段をくり返へして。十二段あみます。

次の二段は表あみばかり、以上十四段で、一つの模様を作つて居るのであります。

模様を十三あみます。

「表あみ一つ、三つ一緒に、針に糸をかける」を一段くり返へします。(この段は表あみ一つで終る)

キヤツプ

七十五の目を作り、普通に七吋あみます。次の段では、二目づゝ一緒にあみとめます。

キヤツプのとめた端を、ケーブルのとめた端に、ケーブルの両端が、キヤツプより六吋づゝ出るやうに縫ひつけます。

ひつけます。

キヤツプのとめた方の端を二重に折ります。形に縫ひ合せます、

キヤツプの前の端の目を七十四拾ひ、模様を一つあみ、とめます。

糸を三本に――、四番の鉤針で、長さ四十五吋の鎖あみをいたします、それをケーブルの頸のところへ

通します。

四吋幅の厚紙に、糸を二十五度巻きつけて房を作ります。この房はすつかりで三つ入用です。二つは



ライディングフードケーブル

ケーブルの紐の両端に、もう一つは、鎖あみ七つの紐につけて、キャップの頂上に縫ひつけなす。

手袋 「腕ぬき付」

材料 白毛糸 三巻。

金屬棒針各一組 十番。十二番。

鉤針 二番。

カ

第一段は十番の針で六十一の目を作り、「表あみ二つ、裏あみ二つ、」をくり返へし、表あみ一つで終ります。これを四段つゞけ、次の段でリボン通しの穴を作ります。「表あみ二つ、右手の針に糸を二度かけ、二目一緒にあむ、」をくり返へすのであります。

第七段は、表あみ二つ、裏あみ二つ、(針に糸をかけて作った二つのわなは、一つだけあむ。)をつゞけて五時だけあみます。

次の段では「表あみ二つ、二目一緒に、」をくり返へして、四十六の目となし、十二番の針三本に分ちます。第一第二の針には十五目づつ、第三の針には十六目。(カフは、わなに縫ひ合せます。)第四の針を使ひ、表あみ一つ、裏あみ一つをぐるりと十六廻りあみ、それから表あみばかりを、十目毎に一目づつ減

しながら、一廻りいたします。(四十二目となる。)

手 表あみばかりを十六廻りいたします。六目あみ、その中に糸を通し、かたく、結んで、別にいたして置きます。(これが拇指のもとになる。)

残りの目を十五廻りあみ、次に、「表あみ四つ、二目一緒に、」を一廻り、平らに四廻りいたします。

「表あみ三つ、二目一緒に、」を一廻り、平らに三廻り。

「表あみ二つ、二目一緒に、」を一廻り、平らに二廻り。

「表あみ一つ、二目一緒に、」を一廻り、平らに一廻り。

次は二目づつ一緒に一廻りあんで、八つの目となし、これを二分して靴下の先を、どめた時と同じやうにとめます。

拇指

糸を抜き、二本の針にかけ、両端で餘計な目を拾つて十四目となし、三本の針に分ち、十五段平らにあみ、それから次の順序で減するのであります。

第一段 「表あみ三つ、二目一緒に。」

第二段 「表あみ二つ、二目一緒に。」

第三段 「表あみ一つ、二目一緒。」
残りの六目をとめます。

ふ ち。

鉤針でカフスの上に短あみ一つ、鎖あみ二つ
「同じ目からわなを引き出し、一目とび、又わな
を出し、針に糸をかけて、三つのわなを一緒に
引き抜き、鎖三つ」を一廻りあんで糸をとめます

リボン通しの穴には、リボンか又はゴムテツプを通して置きます。
手袋を みます時は注意して、右と左を間違ひないやうにいたします。



手 袋

トリアノン、ベッドジャケット

材 料 白 毛 糸 二卷。

ピンク毛糸 三卷。

棒針各一對 五番。十一番。

リ ボ ン 三ヤール。十二番。模様——表あみばかり。

五番の針と白の糸とで四十の目
を作り、十段平らにあみ、ピンク
の糸に變へ、二十八段平らにあみ
ます。

二目毎に一目づゝ増します。

十一番の針に變へ、百段
平らにあみ、五番の針に變
へます。第二第三目毎に一
緒にあんで、目を減し、白
の糸に變へ、十段平らにあ
みゆるくとめます。

カフスのところを四時だ
け縫ひ合せます。

五番の針と白の糸とで、
カラーの真うしろの目二十



トリアノン、ベッドジャケット

を拾ひ、両端で一目づゝ増し、十段平らにあみ、とめます。
 リボンを圖のやうにつけて終ります。

ウエーヴェリー、ベッドジャケット

材料 白毛糸 三巻。

棒針各一對 五番。十一番。

リボン ニヤール、十六番。

注意

編目四つは一時に相當す。四段は一時に相當す。模様——表あみ一段、裏あみ一段。

五番の針で三十の目を作り、表あみばかりを五時いたします。

次の段では両端で一目づゝ増し、十一番の針に變へ、表あみ六つ、裏あみ四十八、表あみ六つ、その次の段は表あみばかりいたします。この二段を十時くり返へし、一方の端に、六目作り、表あみ十二、裏あみ」をつゞけ、表あみ六つで段を終る。六段目毎に一目づゝ六度増し、五段平らにあみます。

これでスカーフの半分が出来上りましたから、もう半分をあんて目を増すところは減すのです。糸をとめます。

カフスのところは、五時だけ縫ひ合せるのです。

カラー

不揃ひの段を折り返へして、カラーとなし、リボンの飾りを圖のやうにつけます。

スエーター、スカーフ

材料

ネベープリユーム糸十巻

棒針一組 六番。

鉤針 針 四番。

飾りボタン 五個。

ひだ

百二十の目を作り、次の順序で



ウエーヴェリーベットジャケット



スエーター scarf

あみます。

第一段 「表あみ九つ、裏あみ一つ、」をくり返へす。

第二段 「表あみ二つ、裏あみ八つ、」をくり返へす。

第三段 「表あみ七つ、裏あみ三つ、」をくり返へす。

第四段 「表あみ四つ、裏あみ六つ、」をくり返へす。

第五段 「表あみ五つ、裏あみ五つ、」をくり返へす。

第六段 「表あみ六つ、裏あみ四つ、」をくり返へす。

第七段 「表あみ三つ、裏あみ七つ、」をくり返へす。

第八段 「表あみ八つ、裏あみ二つ、」をくり返へす。

第九段 「表あみ一つ、裏あみ九つ、」をくり返へす。

第十段 表あみばかり。

第九段から第一段までくり返へします。

第二十段、裏あみばかり。

以上の二十段を、模様が四つ半出来上るまでくり返へします。(凡そ九十段)

中 央

二十五畝普通にあみ、次の段でポケットをつけるどころを、前の端から左の方へ数へたところを作ります。スカーフの真中のふちから始めて三十目あみ、二十目とめ、七十目あみます。次の段でとめた目の上に二十目作ります。

百四十畝になるまでつづけ、それからスカーフの他の端を同じやうにしてあみます。

ポケット

ポケットのために、あけて置いた目を拾ひ、五吋あみ、糸をとめて、スカーフの後に平らに縫ひつけます。

ベルト

毛糸を二重にして、八つの目を作り、九十五畝あみ、次の段で中央の四目だけとめて、ボタン穴を作り、もう五畝つづけて糸をとめます、ベルトの真中の四時つづを、スカーフの真中に縫ひつけます。ふちのまはりに短あるを一段し、右前にボタン穴を四つ作り、ボタンを圖のやうにつけるのであります。

モーニングサイド、スエーター

材料 白毛糸 十三卷。

緑色毛糸	二卷。
黒毛糸	四卷。
棒針	一對。
五番。	
鉤針	五番。
ボタン	型 (直徑二吋) 一個。

注意

編目五つは一時に相當す。五畝は一時に相當す。

身頃

白の糸で百四十の目を作り、(二十八吋)表あみばかりで、一畝毎に兩端で一目づつ減しながら、(第二第三の目を一緒にあむ)十畝あみます。次の段で小さい穴を作ります。表あみ一つ針に糸をかけて、二目一緒にあむ、一段あみ、次は普通にあみ返へります。

九畝平らにつづけ、十畝目に兩端で一目づつ増します。

次の段で、三十一目あみ、裏返へし、その上を端まであみ返へり、又あんでゆきます。この三十一の目が九畝になりましたら、糸を切り、次の六十目も九畝あみ、残りの三十一目を九畝いたしましたら全體の目(百二十二目)を一緒に一段だけあみます。

次の段と、それから、十畝目毎に、兩端で目を増し、ベルトのあきから、六十畝(十二吋)になるまでつけます。

次に五十八目あんで別の棒にうつして置き、二十目どめて、頸の後どなし、残り五十八目を平らに、八畝あみ、それから頸のところ、四畝毎に一目づゝ十六度増します。

ベルトを通す、あなを次のやうにして作ります。

前の端から數へて、初めの四十四目を、平らに九畝あんで糸を切り、残り三十の目も平らに九畝つゞけてから、七十四目を一緒に十畝だけ平らにあんで、最後の段は前のところで終るやうにいたします。

同じ針で前の端の目(下の方の二十五畝)を拾つてあみ、裏返へし、「二目一緒にあみ。針に糸をかける、」を十一度くり返へし、表あみ一つ、(角の目)針に糸をかけ、二目一緒にあむ」を最後から段の端までくり返へします。

次の段では針に糸をかけて作つたわなも、普通の目どみて、平らに表あみばかりで十畝つゞけ、(各畝毎に前のふちで一目づゝ減し、角の目の兩側で一つづゝ、側の端で一つ、目を増す)糸をどめます。

他の一方の前も同じやうに作ります。

スエーターの兩側は、右から始めて、すつかり目を拾ひ、次の段で、小さなあなを作り、一畝毎に兩端で一目づゝ十度増し、糸をどめます。角のところを縫ひ合せます。

カラー

緑色で二つの目を作り、一方の端で一畝置きに、二十六度目をまし。七十五畝(十五吋)平らにあみ、それから、増し目をした方の端で。一畝置きに一目づゝ、二目残るまで、減します。糸をどめます。

黒の糸で二つの目の真中に短あみ、一つあみ、それから次のやうにして、カラーのふちをあみます。

「初めの二畝の間の上の目に、短あみ一つ、次は、端から奥に三つ下つたところに短あみ一つ。」をぐるりとつけてあみ、糸をどめ、身頃に縫ひつけます。

ベルト

緑色の糸で二つの目を作り、一畝毎に兩端で一目づゝ増し、十二目になりましたら、三十五吋平らにあみ、次の畝で、ポタン穴を作ります。四つあみ、四つどめ、終りまであみます。次の段でどめた目の上に、その數だけの目を作り添へます。

次は各段の始めで一目づゝ減し、二目だけになりましたら糸をどめます。

黒糸で短あみをする事は、カラーの時と同じであります。

出来上りましたベルトは、前に作つて置いた穴に通します。

ポタン

緑色の糸で鎖あみを、三つ作り、輪になし、その中に短あみを六つあみ込み、次は各目は二つづゝあ



モーニングサイドスエーター

み、黒の糸に變へ、各目に一つづゝ短あみをいたします、ボタン型をその中に包み、一緒に糸を引きしめます。

ダルトン、ヴェスト

材 料 濃草色毛糸 四卷。

棒針各一對 三番。四番。

注 意

編目八つは一時に相當す。九段は一時に相當す。模様——表あみ三つ、裏あみ一つ。

前 五つの目を作り、表あみばかりであみ返へります。

第一段 一目増し、表あみ一つ、裏あみ一つ、表あみ一つ、一目増す。

第二段 一目増し、表あみ一つ、裏あみ一つ、表あみ四つ。

第三段 一目増し、表あみ二つ、裏あみ一つ、表あみ三つ、一目増す。

第四段 一目増し、表あみ三つ、裏あみ一つ、表あみ一つ、裏あみ一つ、表あみ一つ。

第五段 一目増し、「表あみ三つ、裏あみ一つ、」をくり返へし、表あみ一つ、増し目一つで終る。

第六段 一目増し、表あみ一つ、裏あみ一つ、「表あみ三つ、裏あみ一つ、」をくり返へし、表あみ二つで終る。

第七段 一目増し、裏あみ一つ、「表あみ三つ、裏あみ一つ、」をくり返へし、増し目一つで終る。斯うして奇数の段の時は両端で目を増し、偶数の時は、初めだけで増して三十四段まであみまます。

第三十五段 表あみ二つ、裏あみ一つ、「表あみ三つ、裏あみ一つ、」をくり返へし、表あみ三つで終る。

第三十六段 一目増し、「表あみ三つ、裏あみ一つ、」をくり返へし、表あみ三つで終る。

以上の二段のやうに、四十段まで目を増し、四十一段からは平らに九時あみまます。短い方の側がチヨッキの前になるのであります。

袖付のところを四つとめまます。こゝからは最初の目を一つだけいつもあみまます。両端で一目づゝ四度減し、次は各段の始めで一目づゝ三十二目になるまで減します。

袖付の側では四段目毎に一目づゝ減し、前の側では二段目毎に一目づゝ減し、二十六目までになりましたら、今度は二十目になるまで四段目毎に両端で一つづゝ目を減します。

袖付の側は平らに、前の方だけで四段目毎に一目づゝ減し、十二目となし、六段平らにあみ、糸をとめまます。

バンド

三番の針で十の目を作り、平らに表あみばかりで十時あみまます。

六つあみ、裏返へし、あまらずに一目どり、五つあみ、裏返へす。

五つあみ、裏返へし、あまらずに一目どり、四つあみ、裏返へす。

四つあみ、裏返へし、あまらずに一目どり、三つあみ、裏返へす。

三つあみ、裏返へし、あまらずに一目どり、二つあみまます。十目になるまで、同じやうにくりかへし、

次の段で「三つあみ、四つとめ、三つあみまます。次の段では、四つ目を作り、それから二時四分の一平らにつゞけます。」の印の中のやうに、ボタン穴が五つ出来るまでくり返へします。

四段平らにつゞけ、次の曲がりをおみまます。四時平らにあみ、八つあみ裏返へし、あまらずに一目どり

七つあみ、裏返へし、前にいたしましたやうに、二目になるまであみつゞけます。十目になるまであみ返へします。

六時半平らにつゞけ、八つあみ、裏返へし、あまらずに一目どり、七つあみ、裏返へし、あまらずに一目どり、六つあみ、裏返へし、あまらずに一目どり、五つあみまます。裏返へし、あまらずに一目どり、十あみ糸をとめまます。

ボタン穴なしで、もう一方のふちをおみまます。

ボタン穴のついて居るふちを左側の方に縫ひつけ、他のを右側につけます。



ダルトン、ヴェスト

後うしろ

百十四の目を作り、四十六段平らにあみます。四十の目をとめます。五十四目になるまで、二段目毎に一目づゝ減し、二十段平らにつゞけ、とめます。

後の目を拾ひ同じやうにあみます。

三番の針で十の目を作り十七時平らにつゞけ、とめ、後の下端に縫ひつけます。

ポケット

四番の針で二十四の目を作り、模様を三時あみ三番の針に變へ、十段普通にあみとめます。チヨッキの脇から三時のところに縫ひつけます。

もう一つ同じやうにポケットを作り、終るのであります。

ドニーブルーク、ヴェスト

材料

駱駝毛糸 十卷。

棒針 一對 三番半。

ポタン 五個。

注

意

編目六つは一時に相當す。十二段は一時に相當す。

う し ろ

毛糸を二本にして、百の目を作り、二十四段平らにあみ、糸を一本にして、後の丈が二十一寸になるまで、平らにつまげます。

三十四目あみ、別の棒にうつし、三十三目とめ、三十四目あみまます。これを十段平らにつまげ、それから頸のところで、四十四目になるまで六段目毎に一目づつ増します。五十目になるまで、四段目毎に目を増し、後と揃ふまで平らにあみまます。

別に取つて置いた三十四目も同じやうにあみ、それから袖付のどころを八寸だけ残して、兩脇を縫ひ合せまます。

バ ン ド

二十二の目を作り、表あみ一段、裏あみ一段を交互に二寸あみ、第一のボタン穴を作ります。

「四つあみ、四つとめ、五つあみ、四つとめ、三つあみまます。次の段は裏あみばかり、目をとめたところでは、その数だけ目を新たに作ります。表あみ一段、裏あみ一段を三寸つまげまます。」の印の中のやうに、五つのボタン穴が出来るまでくり返へしまます。

それからバンドが、前の他の端に届くまで平らにあみ、二枚に折つて、チヨッキに縫ひつけまます。そ

の時、ボタン穴が、二つちやんと重なるやうに注意いたしまます。

ボタン穴をかまります。

ポケット(二個)

三十の目を作り、三十六段平らにあみそれから、糸を二本にして、八段平らにつまげまます。糸をとめチヨッキの下端から二寸、脇から一寸半のところに縫ひつけまます。

ポケット(二個)

二十六の目を作り、三十六段平らにあみ、糸を二本にして、八段平らにあみ、糸をとめまます、チヨッキの一番上のボタン穴と同じ高さ、脇から一寸半のところに縫ひつけまます。

フラットスポルグ、スエーター



ドニーブルークヴェスト

材料

カーキ色毛糸 七巻。

棒針 一對 七番。

金屬棒針 一對 八番。

注意

編目五つは一時に相當す。六段は一時に相當す。

うしろ

七十八の目を作り、表あみ二つ、裏あみ二つを四吋あみます。

表あみ一段、裏あみ一段を交互に十一吋半あみます。

次の二段の始めで、二目どめ、その次の二段の始めで一目どめます。(兩袖つけのところで三日づゝどめた勘定)

七吋平らにつゞけ、表あみばかりで、五畝あみ、最後の段は裏側で終るやうにいたします。

次の段で二十五目あみ、別の棒にうつして置き、二十一目どめて、頸のうしろとなし、残りの二十五目(左の肩)を表あみばかりで七畝あみ、最後の段を頸のところで終へ、糸をきります。

左前

同じ針を使つて、十六の目を作り、表あみばかりを、四段あみます。次の段で二つのボタン穴を左の

やうにして作ります。

二目あみ、三つどめ、六目あみ、三つどめ、残りの目をすつとあむ。

次の段では、どめた目の上に、その数だけ、目を作ります。

頸の前どころで二十二の目を作り、左肩から針に取つて置いた二十五目も一緒に(六十三目五畝)あみ、表側で終るやうにいたします。

次の段では、「裏あみ九つ、表あみ七つ、裏あみ五つ、表あみ三十、裏あみ五つ、表あみ七つ、裏返へし、普通に一段あむ。」を四度くり返へします。但し三畝目の時、右の端に(第一のボタン、穴から八畝

下)ボタン穴を一つ作るのがあります。ボタン穴は九畝毎に圖のやうに、右端に、つけるのがあります。が、いちしく申し上げません。

中央の三十目の模様が五段出来ましたら、次のやうに兩端で五日づゝ減すのであります。

裏側からあみ始めて、「裏あみ九つ、表あみ七つ、裏あみ十、表あみ二十、裏あみ十、表あみ七つ、裏返へし、表あみばかり一段。」これを四度くりかへします。

中央の模様の兩端で五つづゝ減し、次のやうにあみます。

「裏あみ九つ、表あみ七つ、裏あみ十五、表あみ十、裏あみ十五、表あみ七つ、裏返へし、表あみばかり一段。」これを四度くり返へします。

「裏あみ九つ、表あみ七つ、段の終りの七つの目まで、裏あみ、終りの七つの目は表あみ、裏返へし、表あみ一段、」これをもう一度くり返へしますと、丁度前のふちが肩から袖つけまで、五時半になります。次の段では袖つけのところで一目増します。(七目の表あみばかりのバンドは両側とも圖のやうにスイーターの下ふちのところまでつけてあみます。)表あみばかりで一段あみ、脇下のために二目作り、それから後と同じになるまで平らにあみます。表あみ二つ、裏あみ二つのふちが後とよく合ふやう氣をつけ、糸をどめます。どめる時、表あみのところは表あみで、裏あみは裏あみでいたすのです。

右前

右肩のために残して置いた二十五目を、七畝あみ、最後の段が頸のところまで終るやうにして裏返へします。六つ目をどめ、「表あみ十、裏あみ九つ、裏返へし、表あみばかり一段、」を肩の畝から三十四段、(五時半)になるまでくり返へします。

袖付けのところで一目まし、表あみ一段、次は脇下で二目作り、それから左の前に合せてあみどめす。

脇下を縫ひ合せます。

八番の金属製針で五十二の目を作り、表あみ二つ、裏あみ二つを四時つゞけます。

七番の針に變へ、表あみ一段、裏あみ一段を三時あみ、次は七段目毎に兩端で一目づゝ七十度増し、全體の目を七十二といたします。袖丈が二十一吋になるまで平らにあみます。つぎは各段の始めの三目をどめ、終りの二目を一緒にあんで、三十六目となし、糸をどめ、縫ひ合せます。袖を付けます時、その縫ひ合せ目が、スイーターの脇縫から半吋手前に入るやうにいたします。目をとめた部分が表側に出ないやうに注意いたします。



ブラットスボルグ、スエーター

頸まはりには、裏側から短あみを一段あみます。

サーヴィス、スエーター

材 料 鼠色毛糸 十二巻。

棒針 一對 五番。

金屬棒針 一對 十番。

注 意

編目六段は一時に相當す。

身頃(後)

五番の針で九十二の目をつくり、表あみ二つ、裏あみ二つを十五段つづけ、それから表あみ一つ、裏あみ一つを後の丈が十八時になるまであみます。

次の二段の始めで、二目づつとじめ、次の四段では終りから三つ目と四つ目とを一緒にあんで減す。もう一度くり返へしますと、袖付のために八目づつ減つた事になります。

表あみ一つ、裏あみ一つを七時(四十二段)つづけ、次の段で、二十七目あみ、別の棒にうつして置き二十二目とじめ、残りの二十七目を、表あみ二段、次の二段で一目づつ増し。(頸のところから三つ目のと

ころで増す)を十度くり返へします。

頸のところ増し目をした最後の同じ段で袖付の目を増し始めます。前の端は真直にして、「袖つけから、三つ目のところで目を増し、平らに二段あむ。」を二度くり返へし、脇下で十一目作り、後と揃ふまで、つづけてあみ、裏側でゆるくとじめます。

もう一方の前も同じやうにあむのであります。

袖
十番の針で五十二の目を作り、表あみ二つ、裏あみ二つを四時つづけ、五番の針に變へます。表あみ一つ、裏あみ一つの編み方で、三つ目毎に、一目づつ増し、一段いたしますと、六十九の目になります。平らに二十段あみ、次の各二段の終りから三つ目で一目増し、十二段平らにあむ。を五度くり返へし、十五段平らにあみます。

次の二段の始めで六目とじめ、それから各段の始めで三目とじめ、終りで一目減す事十四度、次の二段の始めで八目とじめ、残り九目を裏あみ一段、表あみ一段を交互に、三十段つづけ、糸をとめます。これは肩の方に裏側から縫ひつけるのです。

前のバンドとカラー

十番の針で十二の目を作り、表あみばかりで、十六時あみ、それから一畝置きに片方ばかりで二十四



サーヴィススエーター

度、目を増します。(二番目のところで増す)

真直の端の方から、始めて、三つあみ、裏返へし、初めの目はあまらずにとり、終りまであみ、九目あみ、裏返へし、初めの目はあまらずにとり、終りまであみます。斯うして、三目づゝ増しながらつゞけて全體の三十六目をあんでしまひます。

二十八畝(六吋)平らにつゞけ、真直の端から始めて、三十三目あみ、裏返へし、初めの目はあまらずにとり、終りまであみ、三十目あみ、裏返へし、初めの目をあまらずにとり、終りまであむ。以上のやうに三目づゝ減して、遂に三目だけ残るまであむのであります。

全體の目三十六を一段平らにあみ、斜の端の方で、一畝置きに一目づゝ、二十四度減し、第一のボタン穴を作ります。(四目あみ、四目どめ、四目あむ。)次の段では、どめた目の上に、その数だけの目をつくります。

十六畝づゝはなして、もう四つのボタン穴を作り、それから兩方のバンドが同じ長さになるまであみつゞけます。

バンドとカラーの斜の端をスエーターに縫ひつけます。その時少し伸し氣味にして、最初のボタン穴が、カラーの斜の端から二吋半下つたところに、つくやうにいたします。

ポケット

五番の針で二十九の目を作り、表あみ一つ、裏あみ一つを二十五段つゞけ、十番の針に變へます。四番目と五番目の目を一緒に、一段だけ減し、表あみばかりを九段あみ裏側でとめます。圖のやうにポケットをスエーターに縫ひつけます。

スポーツ、スエーター

材料 紺色毛糸 九卷。

棒針各一對 五番。三番。

注意

編目七段は一時に相當す。

身頃

三番の針で百十六の目を作り、表あみ一つ、裏あみ一つを二吋つゞけます。五番の針に變へ、全體の丈が十八吋になるまであみます。

次の八段の各始めで、一目づゝ減し、表あみ一つ、裏あみ一つを八吋平らにつゞけます。

三十三目あみ、別の棒にうつし、四十二目とめ頸の後となし、残り三十三目を、表あみ一つ、裏あみ一つで、十段あみます。

「次の二段は頸のところから、三つ目で、増し、六段平らにあむ。」を五度くり返へし、一段置きに三度増し、頸と袖つけのところ、五度増し、最後の段は脇下で終ります。

糸を切り出來上つた五十八目を、別の棒に取つて置き、もう一方の前を同じやうにあみます。これは最後の段が、頸のところ、終るやうにいたすのであります。

頸の前で六つの目を作り、みんな一緒にして後と揃へてあみます。最後の二吋は三番の針を使ふので、とめる時は、表あみのところは表あみのやうに、裏あみのところは、裏あみのやうにいたします。

袖

三番の針で、カフのために六十六の目を作り、表あみ一つ、裏あみ一つを四吋あみます。

五番の針に變へ、三段普通に、次は三つ目毎に増して、八十八の目といたします。

表あみ一つ、裏あみ一つで、十段平らにつゞけ、次の二段では、終りから三つ目で増す。」を九度（百二十八目）くり返へし、六段平らにあみますと、袖丈が、凡そ二十二吋になります。

次の八段の初めで十目とめ、次の段の初めで二十四目とめ、次の九目を表あみ一つ、裏あみ一つであみ、最後の十五目をとめて、糸を切ります。

紐

針に残つて居る九目に、糸をつなぎ、表あみ一つ、裏あみ一つを、五吋半つゞけ、糸をとめます。（九



スポーツスエーター

つは奇数ですから、表あみで始めますと、最後まで表あみで終るやうになりますから、自然表あみの上に裏あみ、裏あみの上に表あみが重なります。これをモス、スチツチと名づけて居ります。(もう一方の袖も同じやうにあみます。袖を身頃につけます時は両方の縫ひ目が合ふやうにいたします。肩紐はスエーターの表側につけるのであります。)

バンド

三番の針で九つの目を作り、モス、スチツチで二十七吋(伸さずに)あみ、糸をどめます。出来上りをしたらスエーターの頸に、工合よく伸して縫ひつけます。

ポケット

五番の針で、三十五の目を作り、表あみ一つ裏あみ一つを(モス、スチツチでなく)三十段つゞけ、三番の針に變へ、表あみ一つ、裏あみ一つ、表あみ一つ、裏あみで二目一緒に、表あみ一つ、裏あみ一つ、表あみ一つ、裏あみ一つ、表あみ一つ、裏あみ一つ。]を一段くり返へし、(三十一目)十段モス、スチツチであみ、糸をどめます。

圖のやうにポケットをスエーターに縫ひつけます。

レーキサイド、スエーター

材 料

水浅黄色毛糸 七卷。

黒毛糸 一卷。

灰色毛糸 一卷。

棒針各一對 六番。二番。

注 意

編目九つは二時に相當す、五畝は一時に相當す。

身 頃

六番の針と、浅黄色の糸で八十七の目を作り、(凡そ十九時半)次の順序で、縞を入れます。

浅黄色 十畝

黒色 一畝

灰色 二畝

黒色 一畝

浅黄色 五畝

黒色 一畝
灰色 二畝
黒色 一畝
浅黄色 十八畝

二番の針に變へ、表あみ三つ、裏あみ三つをくり返へし、表あみ三つで段を終ります。裏返へし、裏あみ三つ、表あみ三つ、を一段つゞけます。以上の二段を交互に、二時半あみます。

六番の針に變へ、十二畝平らにあみ、次の二段の始めで四つづゝとめ、次の四段の始めで二つづゝとめ、それから、各段で一つづゝ(二番目と三番目を一緒にあむ)八度減します。これで袖付のために十二目づゝ出來た事になります。

五時半平らにつゞけ、次の段で、十二目あみ、別の棒にうつして置き、三十九目とめて、頸の後どなし、残りの目十二(左肩)を六畝平らにあみ、最後の段が頸のところを終るやうにいたします。

次の六畝は頸のところまで一目づゝ増し、頸のところまで四目づゝ三度作り、それから、六目作ります。この三十六目を平らに二十三畝つゞけ、次に袖付のところまで各畝毎に一目づゝ四度増し、次の二畝で、二目づゝ作り、それから四目作ります。これで袖あきがすつかり出來上つたのであります。(目數五十)。

十二畝平らにあみ最後の段が前で終るやうにして糸を切ります。



レーキサイドスエーター

もう一方の前も同じやうにあみ、最後の段が脇下で終るやうにいたします。
 頸の前のところで五つの目を作り、全体を一緒にして、(百五目)二番の針を使ひ、表あみ三つ、裏あみ、三つを二吋半あみます。後の模様ど、しつくり合ふやうに氣をつけます。
 六番の針に變へ、後と揃へて縞を入れます。最後の淺黄色の縞は十九段だけあんで、裏側でゆるくどめるのであります。

袖あきの縁

六番の針と、黒の糸とで表側から、袖あきのまはりの九十五目を拾ひ、裏返へし、裏側からもう一段あみ、灰色に變へて、四段平らにあみ、黒で一段、それから裏側でゆるくどめます。
 兩脇を縫ひ合せます。

頸と前の縁

黒の糸で右前の端を四十二目拾ひ(角のところを一目餘計に)頸の側で三十三目、頸の後で十九目拾ひ裏返へし、あみかへります。灰色に變へて四段、黒で一段あみ、裏側で糸をどめます。
 残り半分の縁も同じやうにあみ、頸のうしろで、手ぎれいに縫ひ合せます。
 縁の兩端は、折り重ね、腰のところで、五目増したところに縫ひつけます。

シエルシア、スエーター

材 料 水色スコッチ 十卷。
棒針 一對 五番。

注 意

編目五つは一時に相当す。九畝は二時に相当す。

う し ろ

九十の目を作ります。

表あみ六つ裏あみ六つを四段くり返へす。

第五段目は「始めの三日はあみせずに、両端の尖れる短い棒にうつし置き、次の三日を表あみ、別の棒に取つて置いた三日を表あみ、六日裏あみ」をくり返へす。

表あみ六つ、裏あみ六つ、七段くり返へす。

第十三段は第五段と同じ。

最後にあんだ八段をくり返へして、模様十二を作り、表あみ六つ、裏あみ六つ的一段で終ります。

次の段で「表あみ四つ、二目一緒」をくり返へします。(目数七十五) 表あみばかりで平らに十二畝つ

だけ、次の二段の始めで、四目づゝとめ、次の八段の始めで一目づゝ減します。(第二第三の目を一緒にあむ。)

三十畝(凡そ六時半)平らにあみ、次の段で、十七目あみ、別の棒にうつして置き、二十五目をとめ頸の後どなし、残りの目十七を左肩として四畝平らにつゞけます。

頸のところ各畝毎に一目づゝ二十五度増し、最後の段は、頸の方で終るやうにして、糸を切りまです。この四十二目を別の棒に、うつして置き、右肩を左と揃へてあみ、最後の段は脇下で終るやうにいたします。

全體の目を一緒にして五畝平らにつゞけ、次の八段の各始めで、一目づゝ増し、次の二段の始めで四目づゝ作ります。

十四畝平らにあみ、最後の段は裏側で終るやうにいたします。次の段で「表あみ六つ、七つ目で増す」をくりかへします。百十四目になるまで、斯うして、目を増すのであります。

全體が百十四目になりましたら、ケーブルスッチの模様を、裏側から始めます。表あみ六つ、裏あみ六つをくり返へし、表あみ六つで、段を終り、次の段で、三日別にどり、三日あみ、別の棒の三日をあむのをいたします。

ケーブルスッチの模様を十一作りましたら表あみ六つ、裏あみ六つを、三段つゞけゆるくとめまです。



シエルシアスエーター

どめる時は表あみのところは、表あみのやうに、裏あみのところは、裏あみのやうにいたします。
 両脇を縫ひ合せて終ります。

市松模様スエーター

材	料	薄鼠色毛糸	九卷。
		白毛糸	三卷。
		黒毛糸	二卷。
		ボタン型(一寸)	四個。
		棒針	一對。
		鉤針	三番。

注意

編目五つは一寸に相當す。五畝は一寸に相當す。

身頃

薄鼠色の糸で八十五の目を作り、表あみばかりで平らに十八寸(九十畝)つゞけます。
 次の五畝の各兩端で一目づゝ増し、次の十二段の始めで、十目づゝ作ります。